

(受地福7-1)

宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)

建築図			機械図		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	——	M-01	機械設備工事特記仕様書-1	——
A-01	共通特記仕様書	——	M-02	機械設備工事特記仕様書-2	——
A-02	建築改修工事特記仕様書1	——	M-03	衛生機器表(現況・撤去・改修)	——
A-03	建築改修工事特記仕様書2	——	M-04	衛生設備 系統図(現況・撤去)	——
A-04	建築改修工事特記仕様書3	——	M-05	衛生設備 系統図(改修)	——
A-05	建築改修工事特記仕様書4	——	M-06	衛生設備 1階平面図(改修)	1/100
A-06	建築改修工事特記仕様書5	——	M-07	衛生設備 R階平面図(現況・撤去)	1/100
A-07	建築改修工事特記仕様書6	——	M-08	衛生設備 R階平面図(改修)	1/100
A-08	建築改修工事特記仕様書7	——	M-09	換気設備 1階平面図(改修)	1/100
A-09	付近見取図、配置図兼仮設計画図(参考)	1/300・1/2500	M-10	換気設備 2階平面図(改修)	1/100
A-10	(改修)1階平面図	1/100	M-11	換気設備 3階平面図(改修)	1/100
A-11	(改修)2階平面図	1/100	電 気 図		
A-12	(改修)3階平面図	1/100			
A-13	(改修)R階平面図	1/100			
A-14	(改修)東面立面図	1/100			
A-15	(改修)北面立面図	1/100			
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-16	(改修)西面立面図	1/100	E-01	電気設備工事特記仕様書-1	——
A-17	(改修)南面立面図	1/100	E-02	電気設備工事特記仕様書-2	——
A-18	(改修)中庭部分 立面図	1/100	E-03	外構電気設備図	1/200
A-19	断面図-1	1/100	E-04	照明器具・誘導鈴姿図・既設分電盤図	——
A-20	断面図-2	1/100	E-05	電灯設備 1階改修図	1/100
A-21	(改修)矩計図-1	1/50	E-06	電灯設備 2階改修図	1/100
A-22	(改修)矩計図-2	1/50	E-07	電灯設備 3階改修図	1/100
A-23	(改修)矩計図-3	1/50	E-08	電灯設備 R階改修図	1/100
A-24	(改修)屋外階段詳細図	1/50	E-09	電灯設備 1階撤去図	1/100
A-25	(改修)避難用すべり台詳細図	図示	E-10	電灯設備 2階撤去図	1/100
A-26	(改修)建具配置図	1/200	E-11	電灯設備 3階撤去図	1/100
A-27	(改修)建具リスト-1	1/100	E-12	電灯設備 R階撤去図	1/100
A-28	(改修)建具リスト-2	1/100	E-13	弱電設備 3階改修図	1/100
A-29	(改修)建具リスト-3	1/100	E-14	弱電設備 R階改修図	1/100
A-30	(改修)建具リスト-4	1/100	E-15	弱電設備 2階撤去図	1/100
A-31	屋根各部詳細図	1/10	E-16	弱電設備 3階撤去図	1/100
A-32	防水各部詳細図-1	図示	E-17	弱電設備 R階撤去図	1/100
A-33	防水各部詳細図-2	図示	E-18	西面立面図(改修)	1/100
A-34	防水各部詳細図-3	図示	E-19	東面立面図(改修)	1/100
A-35	3階建具改修詳細図	1/50	E-20	南面立面図(改修)	1/100
A-36	(現況・撤去・改修)中庭詳細図	1/100	E-21	北面立面図(改修)	1/100
A-37	(現況・撤去・改修)外構計画図-1	1/200	E-22	西面立面図(撤去)	1/100
A-38	(現況・撤去・改修)外構計画図-2	1/50	E-23	東面立面図(撤去)	1/100
A-39	外構各部詳細図-1	図示	E-24	南面立面図(撤去)	1/100
A-40	外構各部詳細図-2	図示	E-25	北面立面図(撤去)	1/100

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A-00
			担当	担当	担当	担当		縮 尺 -	
							図面名称 表紙・図面リスト		

A 工事概要

1 工事名称	(受地福7・1) 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)
2 工事場所	宇治市宇治琵琶45番地
3 工事期間	入札通知書による。
4 規模構造	鉄筋コンクリート造3階建て
5 建築面積	930.20㎡
6 延床面積	2,353.64㎡
7 工事範囲	屋上防水改修工事 一式 外壁改修工事 一式 外構改修工事 一式 上記に伴う機械設備工事 一式 上記に伴う電気設備工事 一式 上記に伴う撤去・処分 一式

B 特記仕様書

1 共通事項	<p>a 施工基準</p> <p>本工事は契約書及び 質疑回答書 現場説明書 特記仕様書 設計図 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編）及び公共建築工事標準仕様書（建築工事編 機械設備工事編・電気設備工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）により施工する。なお、設計図書間に相違がある場合の優先順位は上記記載の順とする。</p> <p>b 監理基準</p> <p>本工事は建築改修工事監理指針及び建築・機械設備・電気設備・各工事監理指針（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修令和4年版）により監理する。</p> <p>c 提出書類等</p> <p>契約書及び設計図書に定められた提出書類等を監督職員の指示により、定められた期日までに提出する。受注者は、下請契約を締結する場合には、下請金額に関わらず、施工体制台帳を提出する。また、施工体系図においては、すべての下請負人及び警備業者を記載する。なお、施工体制台帳には監督職員が指示する書類を添付して提出する。</p> <p>d 建設業退職金共済制度</p> <p>受注者は建設業退職金共済制度（建退共）に加入の上、掛金収納書を提出する。工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」を掲示し、工事完成時には「建退共運営実績報告書」、「労働者の就労日報」及び「共済証紙受払簿」を提出する。また、下請負人に対しても同共済制度加入を奨励する。</p> <p>e 工事実績情報</p> <p>受注者は受注時、変更時及び完成時の各時点において、あらかじめ登録内容について監督職員の確認を受けた上で、それぞれ10日以内に（一財）日本建築情報総合センターへ工事実績情報サービス入力システム（CORINS）の登録申請を行う。また、登録後、直ちに登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する（作成、登録等に伴う費用は受注者の負担とする）。</p> <p>f 建設工事保険等</p> <p>受注者は、工事目的物・工事材料等を建設工事保険等（第三者保険を含み、火災による損害が見込まれる場合は火災保険を含む）に付し、その保険証書の写し又はこれに代わるものを提出する。なお、その保険の加入期間は、工事着工の時から、工事完成期日後14日迄とする。</p> <p>g 労災補償に必要な法定外の保険契約について</p> <p>受注者は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」（令和元年法律第35号）に基づき、公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険（法定外の労災保険）に付する。</p> <p>h 工事写真・完成写真</p> <p>工事写真撮影ガイドブック（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版）を参考に、着工前・工事中の各段階の工程の内容が充分把握できるよう撮影する。工事完成時には、完成写真を撮影し、着工前・工事中と共に工事用アルバムに整理の上1部提出する（データ共）。</p> <p>なお、着工前・完成写真は、着工前・完成を一对（左右または前後）として整理すること。</p> <p>i 不正軽油使用防止の徹底</p> <p>受注者は建設機械等の燃料としての軽油はJIS規格軽油以外のものを使用してはならない。また、下請負人等に対しても不正軽油使用防止の指導・監視を徹底する。受注者は、京都府税務調査員による燃料検査に協力しなければならない。</p> <p>j 一般事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 軽微な変更については、請負金額の増減は行わない。 工事現場には、仮囲いを行い同現場の安全に十分配慮する。特に、工事車両の出入り及び時間等については、当該施設運営管理者等と十分打合せを行い交通安全管理に配慮する。 騒音・臭気等が発生する工事については、作業時間・日時について当該施設運営管理者と協議し、施設の運営管理等に支障をきたさぬよう配慮する。 既存部分については、受注者において汚染・損傷の無いよう十分な養生を行う。万一損傷等が生じた場合は、監督職員に報告の上受注者の責任において、現状復旧する。 使用材料は、設計図書に記載されたもの又は同等品とする。同等品とする場合は、事前に監督職員にカタログ等資料を提出し、承認を受ける。 工事完成時には、社内検査を実施する。 本工事は市の行う完成検査に合格し、工事目的物引渡書の提出をもって完了とする。 使用機器については、環境負荷の軽減に努めるものとし、排出ガス対策型機器・低騒音型機器 低振動型機器・低燃費型機器の使用を促進する。また、電動工具類は、整備された工具を使用し、安全性に責任を持ち管理する。 交通誘導警備員は、現場説明書による。 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めに従って、各下請負人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げ、所定の様式により監督職員に提出する。 受注者は、宇治市が指名停止処置を行っている第三者に対して宇治市の契約についての全て、若しくは一部を下請、受託させてはならない。 <p>k その他</p> <p>受注者は本工事における材料等の搬出入に伴う、工事車両の過積載防止について、十分注意を払うと共に、下請負人への指導を徹底する。</p>
--------	---

m 官公庁その他への手続き

工事の施工に必要な官公庁その他への手続きは、受注者の責任において速やかに行うものとする。なお、これに要する費用は受注者の負担とする。

n 技術者及び現場代理人

受注者は、主任技術者及び監理技術者並びに現場代理人について、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者から選任し、配置しなければならない。

o 工事完了時の整地

受注者は工事完了時に、工事敷地内及び車両通行部分は、必要に応じ砂を搬入し、整地を行う。既設コンクリート舗装、アスファルト舗装等の損傷箇所については、原状復旧する。

p 建設発生土の処分

- 建設発生土を搬出する場合は「残土処理計画書（報告書）」を提出する。同計画書には処理場所の位置図及び経路図、受入承諾書を添付する。同報告書には処分したことが判明する資料（受入証明書）及び写真等を添付する。
- その他の建設発生土の取扱いについては、現場説明書による。

q 解体等工事の事前調査

- 受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第1項・第4項に基づき、改修工事対象となる全ての部材について、特定建築材料の使用の有無について調査し、その結果を発注者に説明する。また、第18条の15第3項・第4項に基づき、事前調査結果の記録を作成し、保存しなければならない。調査方法は、分析による調査、目視、設計図書等による。
- 受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第5項に基づき、事前調査結果を公衆の見やすい場所に掲示する。

2 発生材等処分

工事に伴う撤去材

- 撤去材・発生材は、場外搬出し関係法令を遵守し処理するものとし、「廃棄物処理計画書（報告書）」を適時提出する。同計画書には、当該廃棄物の処分業の許可証の写し、受注者と処分業者の契約書の写しに加えて、処分地の位置図及び経路図を添付する。また廃棄物を委託して運搬する場合は、該当する収集運搬業の許可証（搬出地と搬入地）の写しと受注者と運搬業者との契約書の写しを添付する。同報告書には処分したことが判明する資料として、運搬管理表(又はマニフェストの写し)及び写真等を添付する。
- 本工事の施工により発生するアスファルト塊、コンクリート塊及び木材は再資源化施設に搬出する。
- その他の建築副産物の取扱いについては、現場説明書による。
- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」による産業廃棄物の収集運搬車に係る表示及び書面添え付けを行う。
- 工事完了時に産業廃棄物の収集運搬車商への表示状況が確認できる写真を提出する。

産業廃棄物税

「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税（以下「産廃税」という）は京都府内の最終処分施設に搬入される産業廃棄物について課税されるものである。また、中間処理施設に搬入された産業廃棄物においてもリサイクル後の処理残滓（ザンサイ）等が最終処分場に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税される。なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。（産廃税も本工事に含む）

3 仮設工事

工事電力・工事用水
工事用電力設備
の保安責任者

設置・維持管理
仮囲い

内外足場・養生等

現場説明書による。
工事用電力設備の保安責任者を定め報告する。当該施設に電気主任技術者が専任されている場合はその指示を仰ぐ。持込電動機器は整備された機器以外は持込させてはならない。また、仮設分電盤内に漏電遮断器を取り付け事故の防止に努める。
現場説明書による。
施工範囲・資材置場等に対しての侵入防止策を講じる。（フェンスバリケード（シート貼り共）等）
詳細については仮設計画図による。
足場等は、労働安全衛生法・建築基準法・建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い適切な材料および構造のものとし、適切な保守管理を行う。高所作業車使用時含む。また、仮設計画を作成し監督職員と協議を行う。近接する他の部材や工作物の部分を損傷しないようメッシュシート又は工事用シート等で養生を行う。外部足場については、手摺先行型枠組本足場（W=600以上）とする。足場の設置に関しては、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 平成15年4月制定・平成21年6月1日改正）」に基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり専用足場型とするか、または改善措置材材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保する。また、外部足場には昇降足場を設置する。
受注者は、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則等の改正（平成31年2月）に伴い、高所作業を行う場合には、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき、墜落、転落による労働災害の防止に努める。

4 その他

ホルムアルデヒド等の
放射量測定について

「学校環境衛生基準」により、工事着工前及び工事完成時において、当該居室における空間のホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレンの濃度を測定し分析結果を監督職員に提出する（検査方法・判定基準とも「学校環境衛生基準」（平成20年4月10日施行）による）
分析機関・測定器具については、国土交通省住宅局「ホルムアルデヒド、トルエン、パラジクロロベンゼン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレン用パツパツ採取機器（サンプラー）」一覧表（学校用）」による。（平成20年4月1日改訂版）
測定場所：―――箇所―――

電気・機械設備工事

工事で工に際し、事前に必要な機器（照明機器・放送設備・空調機器・受信設備等）器具の機能確認を行い、その結果を書面にて監督職員に報告する。

5 完成図書

完成に際しては以下の図書を提出する。

名称	内容	サイズ	部数
完成図（背張り製本）	特記仕様書・完成図・施工図	A2版	2部
完成図書	機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類（写）	A4版	2部
諸官庁提出書類	副本		一式
完成図データ	CADデータ（ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する）、PDF	C D - R	1部

記 事	-----		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 01
	-----			担当	担当	担当	担当		縮 尺 -	
	-----			図面名称		共通特記仕様書				

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
② 仮設工事	⑤ 工事用水 ⑥ 工事用電力 ⑦ 仮囲い等 8 設計 G L	構内既存の施設 利用できない 現場説明書による 利用できる (有償 無償)	② 土・鉄筋・コンクリート工事	10 構造体強度補正値 (6.3.2)	気温による構造体強度補正値 (S) (表6.3.2)	③ 防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーシクロス (70g/㎡程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 窯業系パネル 類 (一般地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材 種 () 設置数量 (1箇所 / _____ ㎡) 伸縮目地 成形伸縮目地材 _____ 成形緩衝材 R-フック 類製造所の指定品 _____ 屋上排水溝 図示による _____ 屋根露出防水密着工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 M 4 A S 工法 AS-T1 AS-T2 表3.4.1 AS-J2 屋根露出防水絶縁工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 M 3 A S 工法 AS-T3 AS-T4 表3.4.2 P 0 A S 工法 AS-J1 AS-J3 屋根露出防水絶縁断熱工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 M 3 A S I 工法 AS1-T1 表3.4.3 M 4 A S I 工法 AS1-J1 P 0 A S I 工法 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 _____ 断熱材 (屋根露出防水絶縁断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材 種 () 設置数量 (1箇所 / _____ ㎡) 防湿層 (屋根露出防水絶縁断熱工法) 設ける 設けない 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 P 0 S 工法 S(I)-F1 S 4 S 工法 PC部材入隅増張 (有り 無し) P 0 S I 工法 S(I)-F2 S(I)-M1 ● S 4 S I 工法 ● S(I)-M2 表3.5.1 S 3 S 工法 S(I)-F1 表3.5.2 S 3 S I 工法 PC部材入隅増張 (有り 無し) S(I)-F2 表3.5.3 M 4 S 工法 S(I)-M1 S(I)-M2 M 4 S I 工法 P 1 S 工法 S-C1 S-F1、S-M1、S-M2の仕様 非歩行仕様 軽歩行仕様 断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____ S I - M 1 及び S I - M 2 の場合の防湿用フィルム 設置する
	① 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)	A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) ● B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め その他 (材料 _____ 工法 _____) 建設発生土 (盛土材) の外部からの受入土量 (m3) _____ 発生場所 () _____		11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5) 12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3) 13 寒中コンクリート (6.11.1) 14 暑中コンクリート (6.12.2)	フレッシュコンクリートの試験 省略する 常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1種 2種 施工箇所 _____ 気乾単位容積質量 _____ t/m3 予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート) による。 暑中における構造体強度補正値 (S) 地 域 日平均気温が25度を超える期間 (打設日) 補 正 値 北 部 地 域 7月11日 - 8月31日 6 N/mm2 中 部 地 域 7月21日 - 8月31日 3 N/mm2 南 部 地 域 7月1日 - 9月10日 受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。		④ 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4) ⑤ 合成高分子系R-フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)
② 土・鉄筋・コンクリート工事	① 建設発生土の処理 (3.2.5) 下記に定めるほかは、現場説明書による 構外指示の受入場所に処分 受入場所 (一財) 城陽山砂利採取地整備公社 現場説明書による 土壌調査 行う (受入場所指定の検査) 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法 仮置場所 _____ 構内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所にたい積 (表5.2.1)	① 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5) 既存保護層の撤去 行う (範囲 ● 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 ● 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 行う (M4S M4AS1 M4C M4D1 L4X) ● 行わない	② 既存下地の処理 (3.2.6) 既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 図示による _____	③ 防水改修工事	③ 屋根保護防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 P 1 B 工法 B-1 B-2 表3.3.3 P 1 B I 工法 BI-1 BI-2 表3.3.4 P 2 A I 工法 AI-1 AI-2 表3.3.5 AI-3 P 2 A 工法 A-1 A-2 表3.3.6 A-3 屋根露出防水工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 M 4 C 工法 C-1 C-2 表3.3.7 C-3 C-4 M 3 D 工法 D-1 D-2 表3.3.8 P 0 D 工法 屋根露出防水絶縁断熱工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 D1-1 D1-2 表3.3.9 M 4 D I 工法 屋内防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 P 1 E 工法 E-1 E-2 表3.3.10 P 2 E 工法	③ ① 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5) ② 既存下地の処理 (3.2.6) ③ アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5) ④ 設計基準強度 (Fc) 打 設 部 位 Fc(N/mm2) スラブ(cm) 備 考 構造体 基礎 2.4 1.5 1.8 上部 2.4 1.5 1.8 土間スラブを含む 土間コンクリート ● 1.8 ● 1.5 1.8 側溝・犬走り 捨コンクリート ● 1.8 ● 1.5 1.8 軽量コンクリート 2.1 2.1 1.8 無筋コンクリート 1.8 1.5 1.8 標仕6.14.1による 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 { Fc + 構造体強度補正値 (S) } N/mm2 (6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない) ⑤ セメントの類別 (6.3.1) 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 (適用箇所 _____) シリカセメント フライアッシュセメントB種 (施工箇所 _____) ⑥ 骨材 (6.3.1) 粗骨材 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H 細骨材 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 銅スラグ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A (無害) _____ ⑦ 混和材料 (6.3.1) 混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の 種 (JIS A 6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、 種若しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207) コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)	
記 事		MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲 主査 担当 担当 担当 担当	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事 (その 2) 図面名称 建築改修工事特記仕様書 2	作成年月日 R06.03 縮 尺 -	図面番号 A - 0 3

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																						
3	<p>内とい(V.P管は使用しない)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>たてとい及び横走り管 SGP</td> <td>径 75mm</td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修標仕 表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの</td> </tr> <tr> <td>防露巻き</td> <td>改修標仕表3.8.3による</td> </tr> </table> <p>掃除口を設ける(開放性のある自転車置き場のといを除く) 発生鉄管を設ける(径 _____ 厚さ _____ 長さ _____) 既存といの撤去及び養生 (_____) 網管製といの防露巻 (改修標仕表3.8.4による _____) たてとい受金物 (_____)</p> <p>(表3.9.1)(表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面 処理</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>250 形</td> <td>250</td> <td>1.6</td> <td>AB-1種 AB-2種</td> <td rowspan="4">隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>AC-1種 AC-2種</td> </tr> <tr> <td>350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>BA-1種 BA-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>BB-1種 BB-2種</td> </tr> <tr> <td>曲げ材</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>BC-1種 BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オープン形式</td> <td></td> <td></td> <td>C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ｼｰﾙ形式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>既存笠木等の撤去 行う (範囲 図示 _____) 行わない _____)</p> <p>下地補修の工法 図示 _____) 板材折曲げ筋の笠木取付方法 図示 _____) 建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による _____)</p>	材 質	そ の 他	たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm	とい受け金物、足金物	改修標仕 表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの	防露巻き	改修標仕表3.8.3による	種 類	幅	板厚(mm)	表面 処理	備 考	250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。	300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種	350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種				BB-1種 BB-2種	曲げ材		2.0	BC-1種 BC-2種		オープン形式			C種		ｼｰﾙ形式					④	<p>(4.1.4) (4.3.5) ~(4.3.8)</p> <p>モルタル塗り仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない 抜き取り個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 _____) 抜き取り部の補修方法 図示 _____) Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 _____) ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>④ 外壁改修工事</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	④	<p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書表4.4.2による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない</p> <p>④</p>	<p>アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>1箇所の面積 (㎡)</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>0.25未満</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書4.5.1による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない</p> <p>抜き取り部の補修方法 図示 _____) セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法(4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p>	工 法	1箇所の面積 (㎡)	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)		タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																											
材 質	そ の 他																																																																																																												
たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm																																																																																																												
とい受け金物、足金物	改修標仕 表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの																																																																																																												
防露巻き	改修標仕表3.8.3による																																																																																																												
種 類	幅	板厚(mm)	表面 処理	備 考																																																																																																									
250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。																																																																																																									
300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種																																																																																																										
350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種																																																																																																										
			BB-1種 BB-2種																																																																																																										
曲げ材		2.0	BC-1種 BC-2種																																																																																																										
オープン形式			C種																																																																																																										
ｼｰﾙ形式																																																																																																													
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																										
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																										
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																										
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																										
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																										
工 法	1箇所の面積 (㎡)	材 料	施 工 箇 所																																																																																																										
タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																																											
タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																																											
12 アルミニウム製笠木 (3.9.2)(3.9.3)		③	<p>(4.1.4) (4.4.5) ~(4.4.6)</p> <p>タイル張り仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 長さ500mごと及びその端数につき1個 _____) 抜き取り部の補修方法 図示 _____)</p> <p>③ 欠損部改修</p> <p>④</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	<p>④ 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.3.11)~(4.3.16)</p> <p>モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカービン (本/㎡)</th> <th>注入口 (箇所/㎡)</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アカービン部分I[※]樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン全面I[※]樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン全面I[※]樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分I[※]樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン全面I[※]樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン全面I[※]樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン全面I[※]樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン全面I[※]樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン全面I[※]樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>吸水性 (72時間) (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00 充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 既製目地材 使用する(形状 _____) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____)</p> <p>④</p>	工 法	アカービン (本/㎡)	注入口 (箇所/㎡)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	アカービン部分I [※] 樹脂注入工法	16		25			アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	13	12		25		アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	13	12		50		注入口付アカービン部分I [※] 樹脂注入工法	9		25			アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	16					注入口付アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	9	9		25		アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	16	16				注入口付アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	9	9		50		アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	16	16				広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	<p>5 目地改修工法 (4.1.4)(4.4.5)(4.4.16)</p> <p>タイル張り仕上げ 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 位置 改修標準仕様表4.4.2による 図示による 寸法(幅×深さ) L[※]打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上×10mm以上 その他 10mm以上×10mm以上</p> <p>6 樹脂注入工法 (4.2.4)(4.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>建築補修用注入エポキシ樹脂</th> <th>低粘度形</th> <th>中粘度形</th> </tr> <tr> <td>ひび割れの幅 (mm)</td> <td>0.2~0.3未満</td> <td>0.3~0.5未満</td> </tr> <tr> <td>注入孔の間隔 (mm)</td> <td>200程度</td> <td>300程度</td> </tr> <tr> <td>注入量 (CC/mm)</td> <td></td> <td>300程度</td> </tr> </table> <p>自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 手動式エポキシ樹脂注入工法 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 (抜き取り個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 _____) (抜き取り部の補修方法 _____)</p> <p>7 Uカットシール材充填工法(4.2.6)</p> <p>シーリング材の上にポリマーセメントモルタル 行う</p> <p>8 アカービン注入工法(4.3.5)</p> <p>アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>9 注入口付アカービン注入工法(4.3.5)</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度</p> <p>10 モルタル塗替え工法 (4.3.5)</p> <p>モルタル 現場調査材料 既調査材料(_____) 既製目地材 使用する(形状 _____)</p>	建築補修用注入エポキシ樹脂	低粘度形	中粘度形	ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	注入量 (CC/mm)		300程度
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																										
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																										
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																										
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																										
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																										
工 法	アカービン (本/㎡)	注入口 (箇所/㎡)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																								
アカービン部分I [※] 樹脂注入工法	16		25																																																																																																										
アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	13	12		25																																																																																																									
アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	13	12		50																																																																																																									
注入口付アカービン部分I [※] 樹脂注入工法	9		25																																																																																																										
アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	16																																																																																																												
注入口付アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	9	9		25																																																																																																									
アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																											
注入口付アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	9	9		50																																																																																																									
アカービン全面I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																											
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																								
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																								
建築補修用注入エポキシ樹脂	低粘度形	中粘度形																																																																																																											
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満																																																																																																											
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度																																																																																																											
注入量 (CC/mm)		300程度																																																																																																											
① 施工数量調査 (1.6.2)	<p>調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲</p> <p>調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 _____) 調査報告書の部数 2部 _____) 施工に先立ち、建築士上診断技術者(BELCA)による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p>	③	<p>(4.1.4) (4.2.4) ~(4.2.7)</p> <p>● コンクリート打直し仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない (注入状況確認方法 _____) 抜き取り個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 _____) 抜き取り部の補修方法 図示 _____)</p> <p>● Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 _____) ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	③	<p>(4.1.4) (4.3.9)</p> <p>モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル塗替え工法</td> <td>改修標仕表4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____)</td> </tr> </table> <p>③</p>	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		モルタル塗替え工法	改修標仕表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____)	<p>(4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~(4.4.15)</p> <p>④</p>	<p>校閲</p> <p>主査</p> <p>校閲 担当 担当 担当 担当</p> <p>主査 担当 担当</p> <p>工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)</p> <p>図面名称 建築改修工事特記仕様書 3</p> <p>作成年月日 R06.03</p> <p>縮 尺 -</p> <p>図面番号 A - 04</p>																																																																						
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																										
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																										
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																										
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																										
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																										
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																											
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																												
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																												
モルタル塗替え工法	改修標仕表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____)																																																																																																											
② ひび割れ部改修 (4.1.4)(4.2.4)~(4.2.7)		③	<p>(4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>● コンクリート打直し仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない (注入状況確認方法 _____) 抜き取り個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 _____) 抜き取り部の補修方法 図示 _____)</p> <p>● Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 _____) ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	③	<p>(4.1.4) (4.3.9)</p> <p>モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル塗替え工法</td> <td>改修標仕表4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____)</td> </tr> </table> <p>③</p>	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		モルタル塗替え工法	改修標仕表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____)	<p>(4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~(4.4.15)</p> <p>④</p>	<p>校閲</p> <p>主査</p> <p>校閲 担当 担当 担当 担当</p> <p>主査 担当 担当</p> <p>工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)</p> <p>図面名称 建築改修工事特記仕様書 3</p> <p>作成年月日 R06.03</p> <p>縮 尺 -</p> <p>図面番号 A - 04</p>																																																																						
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																										
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																										
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																										
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																										
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																										
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																											
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																												
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																												
モルタル塗替え工法	改修標仕表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____)																																																																																																											
④	<p>① 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲</p> <p>調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 _____) 調査報告書の部数 2部 _____) 施工に先立ち、建築士上診断技術者(BELCA)による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p>	③	<p>(4.1.4) (4.2.4) ~(4.2.7)</p> <p>● コンクリート打直し仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※]樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない (注入状況確認方法 _____) 抜き取り個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 _____) 抜き取り部の補修方法 図示 _____)</p> <p>● Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 _____) ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	③	<p>(4.1.4) (4.3.9)</p> <p>モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル塗替え工法</td> <td>改修標仕表4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____)</td> </tr> </table> <p>③</p>	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		モルタル塗替え工法	改修標仕表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____)	<p>(4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~(4.4.15)</p> <p>④</p>	<p>校閲</p> <p>主査</p> <p>校閲 担当 担当 担当 担当</p> <p>主査 担当 担当</p> <p>工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)</p> <p>図面名称 建築改修工事特記仕様書 3</p> <p>作成年月日 R06.03</p> <p>縮 尺 -</p> <p>図面番号 A - 04</p>																																																																						
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																										
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																										
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																										
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																										
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																										
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																											
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																												
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																												
モルタル塗替え工法	改修標仕表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 _____)																																																																																																											



株式会社 前田都市設計
一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎

校閲	主査	工事名称	宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日	R06.03	図面番号	A - 04
担当	担当	担当	担当	図面名称	建築改修工事特記仕様書 3	縮 尺	-

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																		
④ 外壁改修工事	11タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)	<p>施工箇所及びタイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>形状寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐清り性</th> <th>工法その他</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>磁器 せつ器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>既調合モルタル () タイルの試験張り 行わない 行う (施工箇所) タイルの見本焼 行わない 行う (範囲、仕様は図示による) 施工後の確認及び試験 (タイル部分張替え工法を除く) 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による接着力試験を行う 行わない</p>	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐清り性	工法その他	図示	磁器 せつ器 陶器	無釉 施釉	有り 無し	標準 特注	有り 無し			4 外壁改修工事	15 マスチック塗材 塗り (4.1.5) (4.6.2)	<p>種別 A種 B種 (表4.6.1)</p> <p>仕上り塗材の種類 薄付け仕上塗材 厚付け仕上塗材又は複層仕上塗材 防水形複層仕上塗材 マスチック塗材</p> <p>施工箇所 別図に示す範囲</p>	⑤ 建具改修工事	⑧ 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	<p>防虫網 網の種類 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス製 (SUS316) 形式 外部可動式 固定式 線径、網目 0.25mm以上、16~18メッシュ</p> <p>防鳥網 設置する</p>	⑤ 建具改修工事	⑬ 建具用金物 (5.8.2) ~ (5.8.4)	<p>マスターキーの製作 作成する (グループ、各グループ 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる</p> <p>鍵の制作本数 3本1組 (室名札付き) _____ 鍵箱 無 有</p>																																																																																																																																																														
	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐清り性	工法その他																																																																																																																																																																																	
	図示	磁器 せつ器 陶器	無釉 施釉	有り 無し	標準 特注	有り 無し																																																																																																																																																																																			
12 窓下人研面台の補修	<p>タイル張替え工法の伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修仕様表4.4.2による 図示による</p>	16 部分改修工法 (4.5.7)	<p>仕上げ塗材の種類 薄付け仕上塗材 厚付け仕上塗材又は複層仕上塗材 防水形複層仕上塗材 マスチック塗材</p> <p>施工箇所 別図に示す範囲</p>	9 樹脂製建具 (5.3.2) ~ (5.3.5)	<p>外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="3">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td colspan="3">図示</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合遮音性の等級 T-1 T-2 _____ 断熱ドア、断熱サッシとする場合断熱性の等級 H-4 H-5 H-6 H-7 H-8 _____</p> <p>ガラス 複層ガラス 単板ガラス 三重ガラス _____ 表面色 標準色 特注色 水切り、ぜん板等 図示による ○ _____ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____</p>	性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 4			水密性	W - 4	W - 5		枠見込み(mm)	図示			⑬ 建具用金物 (5.8.2) ~ (5.8.4)	<p>開き戸 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>シリンドー箱錠</td> <td>握り玉: ステンレス レール: アルミ合金, (ステンレス, 黄銅)</td> <td>取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>本締め錠</td> <td>シリンドー: ステンレス</td> <td>実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>空錠</td> <td>握り玉: ステンレス レール: アルミ合金, (ステンレス, 黄銅)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>グレモン錠</td> <td>レール: アルミ合金, (ステンレス)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度, (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>ステンレス, (黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピボットヒンジ</td> <td>レール: アルミ合金, (亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>フロアヒンジ</td> <td>レール: アルミ合金, (本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ加ザ- (丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ加ザ- (ビレット型)</td> <td>レール: アルミ合金, (本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドアクローザー</td> <td>本体: アルミ合金 アーム部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖順位調整器</td> <td>ステンレス, (鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>押棒・押板</td> <td>(ステンレス, 黄銅, 合成樹脂)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>上げ落し (フランス落し)</td> <td>亜鉛合金程度, (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アームカバー</td> <td>鋼 (加めつき), (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>亜鉛合金程度, (ステンレス, 黄銅)</td> <td>あり止め付き</td> </tr> </table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	シリンドー箱錠	握り玉: ステンレス レール: アルミ合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード	本締め錠	シリンドー: ステンレス	実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード	空錠	握り玉: ステンレス レール: アルミ合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 ()	グレモン錠	レール: アルミ合金, (ステンレス)	取付位置 ()	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度, (ステンレス)		丁番	ステンレス, (黄銅)		ピボットヒンジ	レール: アルミ合金, (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き	フロアヒンジ	レール: アルミ合金, (本体は鋼)	ドアクローザー	ヒンジ加ザ- (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き	ヒンジ加ザ- (ビレット型)	レール: アルミ合金, (本体は鋼)		ドアクローザー	本体: アルミ合金 アーム部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖順位調整器	ステンレス, (鋼)		押棒・押板	(ステンレス, 黄銅, 合成樹脂)	取付位置 ()	上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度, (ステンレス)		アームカバー	鋼 (加めつき), (ステンレス)		戸当り	亜鉛合金程度, (ステンレス, 黄銅)	あり止め付き																																																																																																					
性能等級	A種	B種	C種																																																																																																																																																																																						
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																																																																																																						
気密性	A - 4																																																																																																																																																																																								
水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																																																																																							
枠見込み(mm)	図示																																																																																																																																																																																								
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																																																																							
シリンドー箱錠	握り玉: ステンレス レール: アルミ合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード																																																																																																																																																																																							
本締め錠	シリンドー: ステンレス	実用性能項目 グレード 3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード																																																																																																																																																																																							
空錠	握り玉: ステンレス レール: アルミ合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 ()																																																																																																																																																																																							
グレモン錠	レール: アルミ合金, (ステンレス)	取付位置 ()																																																																																																																																																																																							
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																																																																																																																								
点検口錠	亜鉛合金程度, (ステンレス)																																																																																																																																																																																								
丁番	ステンレス, (黄銅)																																																																																																																																																																																								
ピボットヒンジ	レール: アルミ合金, (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																																																																																																																																							
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き																																																																																																																																																																																							
フロアヒンジ	レール: アルミ合金, (本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																																																																																																																							
ヒンジ加ザ- (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き																																																																																																																																																																																							
ヒンジ加ザ- (ビレット型)	レール: アルミ合金, (本体は鋼)																																																																																																																																																																																								
ドアクローザー	本体: アルミ合金 アーム部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																																																																																																																								
閉鎖順位調整器	ステンレス, (鋼)																																																																																																																																																																																								
押棒・押板	(ステンレス, 黄銅, 合成樹脂)	取付位置 ()																																																																																																																																																																																							
上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度, (ステンレス)																																																																																																																																																																																								
アームカバー	鋼 (加めつき), (ステンレス)																																																																																																																																																																																								
戸当り	亜鉛合金程度, (ステンレス, 黄銅)	あり止め付き																																																																																																																																																																																							
⑬ 仕上塗材 (4.1.5) (4.5.2) (4.5.6)	<p>シール工法 (仕上げ塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。) 塗膜防水 (弾性ウレタン系 エポキシ系)</p> <p>薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上り</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">外装薄塗材 Si</td> <td>砂壁状 ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ゆず肌状 さざ波状</td> <td>ローラ-塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可とう形外装薄塗材 Si</td> <td>砂壁状 ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ゆず肌状 さざ波状</td> <td>ローラ-塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">●外装薄塗材 E</td> <td>砂壁状 ●ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>平たん状 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>ゆず肌状 さざ波状</td> <td>ローラ-塗り</td> </tr> <tr> <td>着色骨材砂壁状</td> <td>こて塗り 吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">可とう形外装薄塗材 E</td> <td>砂壁状 ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>平たん状 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>ゆず肌状 さざ波状</td> <td>ローラ-塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">防水形外装薄塗材 E (増塗材)</td> <td>ゆず肌状 さざ波状</td> <td>ローラ-塗り</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>外装薄塗材 S</td> <td>砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上り</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">外装厚塗材 C</td> <td>吹出し 凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>平たん状 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(上塗材)</td> <td>ひき起こし かき落とし</td> <td></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外装厚塗材 Si</td> <td>吹出し 凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>平たん状 凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外装厚塗材 E (上塗材)</td> <td>ひき起こし</td> <td>ローラ-塗り</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上り</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>複層塗材 C E</td> <td>凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>複層塗材 S i</td> <td>凹凸状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>複層塗材 E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>複層塗材 R E</td> <td>ゆず肌状</td> <td>ローラ-塗り</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>可とう形複層塗材 C E</td> <td>凸部処理 凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>ゆず肌状</td> <td>ローラ-塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防水形複層塗材 C E</td> <td>凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>●防水形複層塗材 E</td> <td>凹凸状 (増塗材)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防水形複層塗材 R E</td> <td>ゆず肌状</td> <td>ローラ-塗り</td> </tr> </table> <p>可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上り</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>可とう形改修塗材 E</td> <td>平たん状</td> <td>ローラ-塗り</td> <td rowspan="3">シリコン樹脂</td> </tr> <tr> <td>●可とう形改修塗材 R E</td> <td>●さざ波状</td> <td>ローラ-塗り</td> </tr> <tr> <td>可とう形改修塗材 C E</td> <td>ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> </table>	種類(呼び名)	仕上り	工法	備考	外装薄塗材 Si	砂壁状 ゆず肌状	吹付け		ゆず肌状 さざ波状	ローラ-塗り	可とう形外装薄塗材 Si	砂壁状 ゆず肌状	吹付け		ゆず肌状 さざ波状	ローラ-塗り	●外装薄塗材 E	砂壁状 ●ゆず肌状	吹付け		平たん状 凹凸状	こて塗り	ゆず肌状 さざ波状	ローラ-塗り	着色骨材砂壁状	こて塗り 吹付け	可とう形外装薄塗材 E	砂壁状 ゆず肌状	吹付け		平たん状 凹凸状	こて塗り	ゆず肌状 さざ波状	ローラ-塗り	防水形外装薄塗材 E (増塗材)	ゆず肌状 さざ波状	ローラ-塗り		凹凸状	吹付け	外装薄塗材 S	砂壁状	吹付け		種類(呼び名)	仕上り	工法	備考	外装厚塗材 C	吹出し 凸部処理	吹付け		平たん状 凹凸状	こて塗り	(上塗材)	ひき起こし かき落とし					外装厚塗材 Si	吹出し 凸部処理	吹付け		平たん状 凹凸状	こて塗り	外装厚塗材 E (上塗材)	ひき起こし	ローラ-塗り				種類(呼び名)	仕上り	工法	備考	複層塗材 C E	凸部処理	吹付け		複層塗材 S i	凹凸状		複層塗材 E			複層塗材 R E	ゆず肌状	ローラ-塗り		可とう形複層塗材 C E	凸部処理 凹凸状	吹付け	ゆず肌状	ローラ-塗り			防水形複層塗材 C E	凸部処理	吹付け		●防水形複層塗材 E	凹凸状 (増塗材)		防水形複層塗材 R E	ゆず肌状	ローラ-塗り	種類(呼び名)	仕上り	工法	備考	可とう形改修塗材 E	平たん状	ローラ-塗り	シリコン樹脂	●可とう形改修塗材 R E	●さざ波状	ローラ-塗り	可とう形改修塗材 C E	ゆず肌状	吹付け	<p>① 性能 「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。</p> <p>② 施工数量調査 (1.6.2) 行う (● 建具金物 ● ガラス ● ガラス止め材) 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 行わない</p> <p>③ 改修工法 (5.1.3) 既存建具を新規建具に改修する場合 かぶせ工法 (カバー工法 持出し工法 ノンシール工法) ● 撤去工法 (● はつり工法 引き抜き工法) 新規に建具を設置する場合 新規建具周囲の壁の開口方法 図示による _____ 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による _____</p> <p>4 防火戸 (5.1.4) 図示による _____ 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 運動させる (建具表による _____) 運動させない</p> <p>5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6) 建具見本の製作 行う (建具番号 _____) 特殊な建具の仮組 行う (建具番号 _____) ブラインドボックス等の再使用 (_____)</p> <p>6 防犯建物部品 (5.1.7) 開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 (_____) ・ サッシ 適用箇所 (_____) ・ シャッター 適用箇所 (_____)</p> <p>⑦ アルミニウム製建具 (5.2.2) ~ (5.2.5)</p> <p>外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>● A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="3">A - 3</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>図示 ● 70</td> <td>100</td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>表面処理 (表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>色</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>● B B - 1種 ● 標準 特注</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B B - 2種 標準 特注</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)</p> <p>結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 図示による ○ _____ 水切り、ぜん板等 図示による ○ _____ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____</p>	性能等級	● A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 3			水密性	W - 4	W - 5		枠見込み(mm)	図示 ● 70	100	図示	種別	色	施工箇所	● B B - 1種 ● 標準 特注	図示による		B B - 2種 標準 特注	図示による			標準 特注			標準 特注			標準 特注		<p>10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) ~ (5.4.4)</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○ _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____) 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 _____)</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修仕様による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.4.2(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) _____ mm ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____ 標準型鋼製建具の形式及び寸法 建具表による</p> <p>11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.2.2) ~ (5.5.4)</p> <p>簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3) 適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____) 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 _____)</p> <p>鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) _____ mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ _____) ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____ 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 建具表による</p> <p>12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) ~ (5.6.5)</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○ _____) (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p> <p>ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 _____ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ</p>	<p>14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) ~ (5.9.3)</p> <p>駆動装置及び検出装置の性能 引き戸用駆動装置性能値 改修仕様 表5.9.1による (SSLD-1 SSLD-2 DSLD-1 DSLD-2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類・開閉方式</th> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置性能値 改修仕様 表5.9.2による</p> <table border="1"> <tr> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源							耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源					
種類(呼び名)	仕上り	工法	備考																																																																																																																																																																																						
外装薄塗材 Si	砂壁状 ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																							
	ゆず肌状 さざ波状	ローラ-塗り																																																																																																																																																																																							
可とう形外装薄塗材 Si	砂壁状 ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																							
	ゆず肌状 さざ波状	ローラ-塗り																																																																																																																																																																																							
●外装薄塗材 E	砂壁状 ●ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																							
	平たん状 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																																																																							
	ゆず肌状 さざ波状	ローラ-塗り																																																																																																																																																																																							
	着色骨材砂壁状	こて塗り 吹付け																																																																																																																																																																																							
可とう形外装薄塗材 E	砂壁状 ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																							
	平たん状 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																																																																							
	ゆず肌状 さざ波状	ローラ-塗り																																																																																																																																																																																							
防水形外装薄塗材 E (増塗材)	ゆず肌状 さざ波状	ローラ-塗り																																																																																																																																																																																							
	凹凸状	吹付け																																																																																																																																																																																							
外装薄塗材 S	砂壁状	吹付け																																																																																																																																																																																							
種類(呼び名)	仕上り	工法	備考																																																																																																																																																																																						
外装厚塗材 C	吹出し 凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																							
	平たん状 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																																																																							
(上塗材)	ひき起こし かき落とし																																																																																																																																																																																								
外装厚塗材 Si	吹出し 凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																							
	平たん状 凹凸状	こて塗り																																																																																																																																																																																							
外装厚塗材 E (上塗材)	ひき起こし	ローラ-塗り																																																																																																																																																																																							
種類(呼び名)	仕上り	工法	備考																																																																																																																																																																																						
複層塗材 C E	凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																							
複層塗材 S i	凹凸状																																																																																																																																																																																								
複層塗材 E																																																																																																																																																																																									
複層塗材 R E	ゆず肌状	ローラ-塗り																																																																																																																																																																																							
可とう形複層塗材 C E	凸部処理 凹凸状	吹付け																																																																																																																																																																																							
ゆず肌状	ローラ-塗り																																																																																																																																																																																								
防水形複層塗材 C E	凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																							
●防水形複層塗材 E	凹凸状 (増塗材)																																																																																																																																																																																								
防水形複層塗材 R E	ゆず肌状	ローラ-塗り																																																																																																																																																																																							
種類(呼び名)	仕上り	工法	備考																																																																																																																																																																																						
可とう形改修塗材 E	平たん状	ローラ-塗り	シリコン樹脂																																																																																																																																																																																						
●可とう形改修塗材 R E	●さざ波状	ローラ-塗り																																																																																																																																																																																							
可とう形改修塗材 C E	ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																							
性能等級	● A種	B種	C種																																																																																																																																																																																						
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																																																																																																						
気密性	A - 3																																																																																																																																																																																								
水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																																																																																							
枠見込み(mm)	図示 ● 70	100	図示																																																																																																																																																																																						
種別	色	施工箇所																																																																																																																																																																																							
● B B - 1種 ● 標準 特注	図示による																																																																																																																																																																																								
B B - 2種 標準 特注	図示による																																																																																																																																																																																								
	標準 特注																																																																																																																																																																																								
	標準 特注																																																																																																																																																																																								
	標準 特注																																																																																																																																																																																								
種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																																																																																																				
耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																																																																																																					
⑭ 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____ 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う (参考工法: _____ 製造所: _____) 行わない</p> <p>仕上塗材の耐候性 耐候形 3種 _____ 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 _____ 樹脂 アクリル系 _____ 外観 つや有 つやなし メタリック</p> <p>既存塗膜の除去方法 試験施工実施 サンダー工法 ● 高圧水洗工法 (試験施工実施) (加圧力 ● 30Mpa _____) 塗膜はく離剤工法 (製造所: _____) 水洗い工法 (デッキブラ 高圧ホ- 10~15pa)</p> <p>既存塗膜の除去範囲 既存仕上げ面全体 既存壁面の (_____ %) 別図に示す範囲</p>	<p>1 性能 _____</p> <p>2 施工数量調査 _____</p> <p>3 改修工法 _____</p> <p>4 防火戸 _____</p> <p>5 見本の製作等 _____</p> <p>6 防犯建物部品 _____</p> <p>7 アルミニウム製建具 _____</p>	<p>校閲 _____</p> <p>主査 _____</p> <p>担当 _____</p> <p>担当 _____</p> <p>担当 _____</p> <p>担当 _____</p>	<p>工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)</p> <p>図面名称 建築改修工事特記仕様書 4</p>	<p>作成年月日 R06.03</p> <p>縮 尺 -</p>	<p>図面番号 A - 05</p>																																																																																																																																																																																			
記 事	 <p>株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>																																																																																																																																																																																								

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項				
⑤ 建具 改修 工事	引き戸用検出装置性能値 改修標仕 表5.9.3による 放射線周波数 電磁界耐性	⑤ 建具 改修 工事	⑳ ガラス留め材 (5.14.2)	6 内装 改修 工事	① 揮発性有機化合物 対策 (6.5.2)～(6.5.4) (6.8.2)(6.9.2) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4)	6 内装 改修 工事	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、ウッドマレージ 002京都の木認証書(京都府産木材証明書及びウッドマレージ 002計算書)(注1)を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書(京都府産木材証明書)(注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL:075-802-2991 注1)認証書 注2)証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書(発行機関:(一社)京都府木材組合連合会)を提出すること。				
	15 自閉式上吊り 引戸装置 (5.10.3)		性能値等の区分 (表5.10.1) 適用戸の総質量(kg) 40以下 40を超えるもの 手動開き力(N) 15以下 20以下 手動閉じ力(N) 15以下 20以下 性能等 品質・規格		21 ガラスブロック (5.14.5)		② 他の部分との 取り合い等 (6.1.3)	既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ() 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ() 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 既存のまま 図示による 範囲() 仕上げ()	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 見付材面数 寸法 見付材面の品質 1等 2等 化粧ばり造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 寸法 化粧板厚 見付材面数 見付材面の品質 化粧材 芯材 1等 2等		
	16 重量シャッター (5.11.2) ～(5.11.4)		種類 管理用シャッター(シャッターケース 設ける)耐風圧強度() 外壁用防火シャッター(シャッターケース 設ける)耐風圧強度() 屋内用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 屋内用防煙シャッター(シャッターケース 設ける) 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 Pa 開閉方式 電動式(手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による		22 木製建具 (5.7.2) ～(5.7.4)		③ 既存床の撤去等 (6.2.2)	種別 工法 施工箇所 ビニル床シート等 下地材の除去 図示による 合成樹脂塗床材 機械的除去工法 図示による 目荒し工法 フローリング張り床材 タイルカーペット 床組	「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 造作用集成材 使用箇所 樹種 寸法 見付材面の品質 含水率 15%以下 化粧ばり造作用集成材 使用箇所 化粧樹種名 芯材樹種名 寸法 化粧板厚 見付材面の品質 含水率 15%以下		
	17 軽量シャッター (5.12.2) ～(5.12.4)		開閉方式 電動式(手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 耐風圧強度 Pa スラット 材質 めっきの付着量 JIS G 3302 Z12又はF12を満足するもの JIS G 3312 Z12又はF12を満足するもの		④ 既存壁の撤去等 (6.3.2)		④ 既存壁の撤去等 (6.3.2)	表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 普通合板 表面の樹脂 板面の品質(広葉樹1種) 接着の程度(1種 2種) 天然木化粧合板 樹種名() 接着の程度(1種 2種) 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度(1種 2種) MDF	JAS 0701(単板積層材)に基づく造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 品名 寸法 表面の品質 防虫処理 表面化粧加工なし 適用する 1等 2等 3等 適用しない 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工		
	18 オーバーヘッド ドア (5.13.2) ～(5.13.4)		セクション材 スチールタイプ アルミニウムタイプ ファイバークラス 耐風圧性能 Pa 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 収納形式 スタンダード形 ローヘッド形 ハイリフト形 パーチカル形 ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板		⑤ ガラス (5.14.2) ～(5.14.4)		⑤ 木下地等 (6.5.1) ～(6.5.9)	材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修標仕6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。 JAS 1083(製材)に基づく製材 下地用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 1級 2級 造作用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 無節 上小節 小節 並 広葉樹製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 特等 1等 2等	JAS 0701(単板積層材)以外の造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 寸法 表面の品質 含水率 防虫処理 表面化粧加工なし 14%以下 適用する 表面化粧加工あり 適用しない 天然木化粧加工 塗装加工 JAS 3079(直交集成板) 施工箇所 品名 曲げ性能(強度等級) 種別 接着性能(使用環境) 樹種 寸法(mm)		
	⑨ ガラス (5.14.2) ～(5.14.4)		材料 種別 種類等 種別 種類等 加ト板ガラス 強化ガラス 型板ガラス 熱線吸収板ガラス 網入板ガラス 複層ガラス 線入板ガラス 熱線反射ガラス 合わせガラス 倍強度ガラス ●網入透明ガラス		23 ポリカーボネイト 樹脂板		⑤ 木下地等 (6.5.1) ～(6.5.9)	表面板の厚さ 図示による (表5.7.6) 引き戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 適用しない 適用する かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法 36mm ふすま 張りの種別 型 型 上張り(押入等の裏側以外) 鳥の子 新鳥の子又はビニル紙程度 見込み寸法 19.5mm 戸ふすま 表面板の仕上 図示による 見込み寸法 30mm 紙張り障子 見込み寸法 30mm	「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 押入れ、物入れ 5.5mm 1類 広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上 2等以上 防虫処理 防炎処理		
			ガラス溝の大きさ (図5.14.1) 種別 面クリアランス エッジクリアランス 掛け代 ●アルミニウム建具 建具製造所の仕様による 建具製造所の仕様による 建具製造所の仕様による 鋼製建具 ステンレス建具					JAS 1083(製材)以外の製材 (表12.2.2) 使用箇所 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 含水率 A種 B種	「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 豊床下地材、フローリング張り下地材 2級以上 12mm 1類 特類 C-D以上 防虫処理 強度等級		
								JAS 1083(製材)以外の製材 (表12.2.2) 使用箇所 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 含水率 A種 B種	「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 使用箇所 品名 厚さ 単板の樹種名 接着程度 防虫処理 1類 特類		
									「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 使用箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ 接着程度 防虫処理 1類 2類		
									「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品目 厚さ 接着程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 1類 2類		
	記				校閲		主査	工事名称	宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日	図面番号
	事				担当		担当	担当	担当	R06.03	A-06
								図面名称	建築改修工事特記仕様書 5	縮尺	



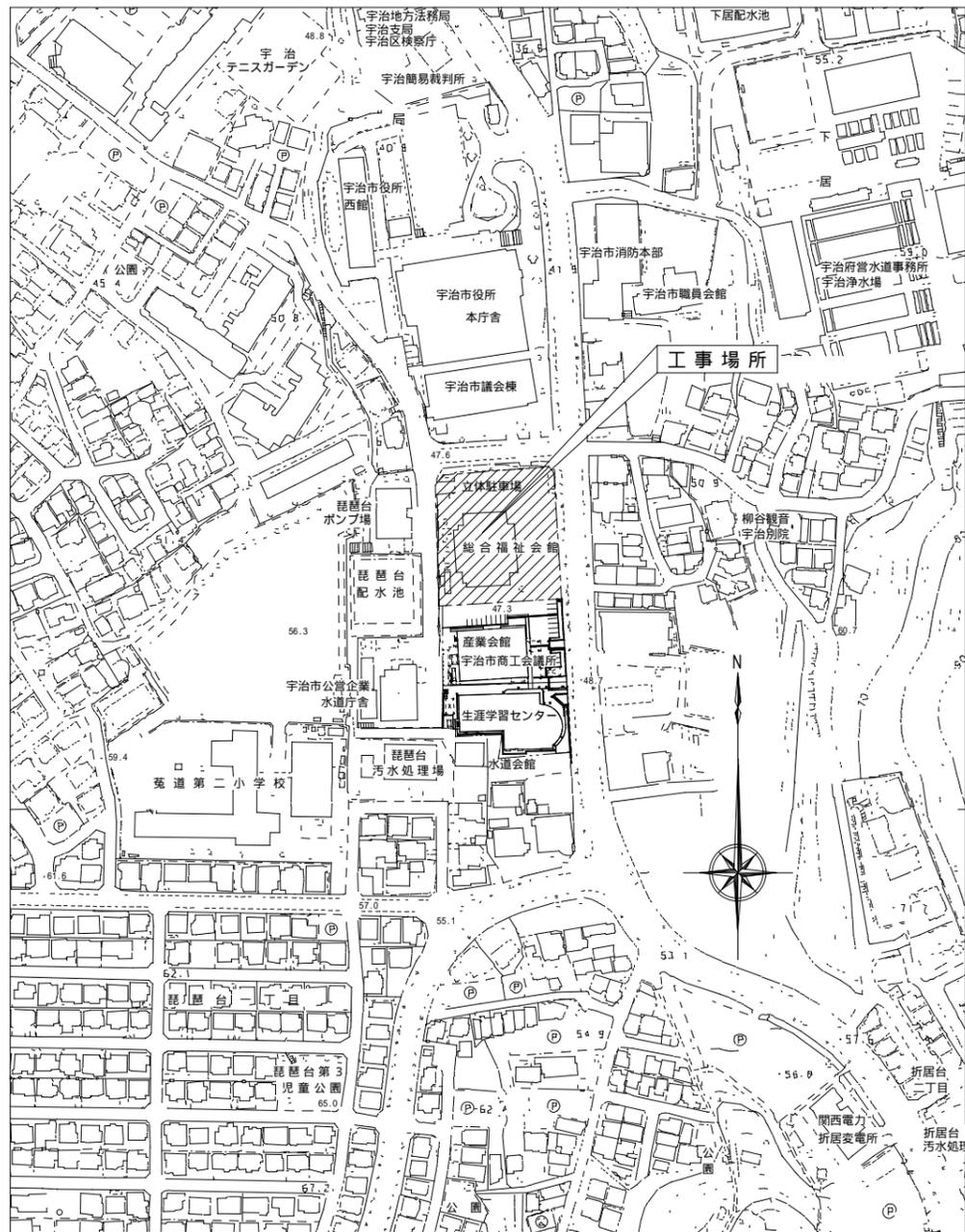
株式会社 前田都市設計
一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎

宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)

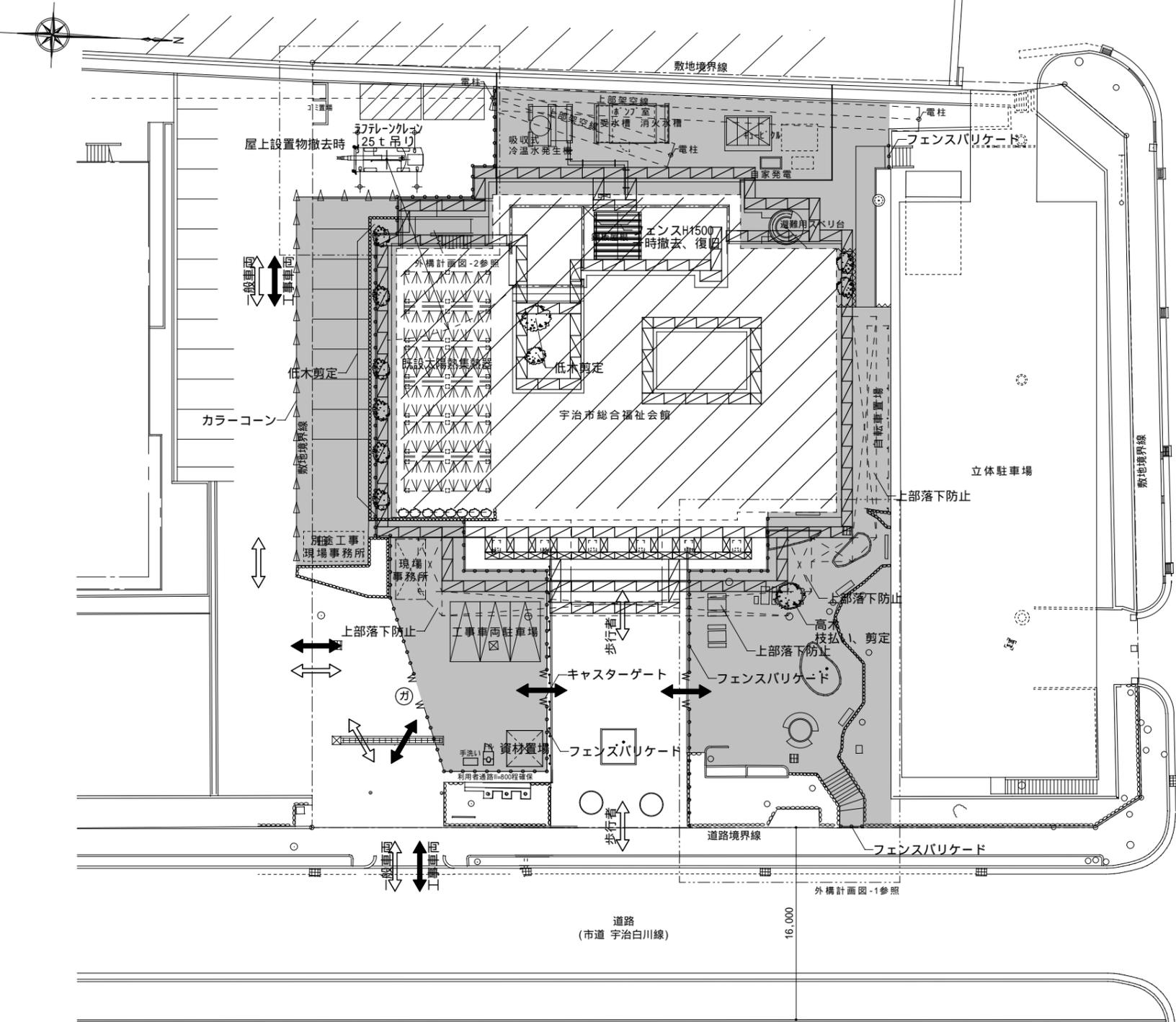
作成年月日 R06.03
縮尺 A-06

建築改修工事特記仕様書 5

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
6 内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td>13Pタイプ又は13Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS Q360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作化粧面の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし釘打ち 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1 [鉄鋼の垂鉛めっきの種類] のF種程度の垂鉛めっきを施したものを</p> <p>防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 K2 K3 K4 K2 K3 K4</p> <p>薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 薬剤の製造所の仕様による JIS K 1571に適合又は同等品</p> <p>薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 _____ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 行う (範囲 :ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない</p> <p>6 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4) 野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表6.6.1) 屋外 19型 25型 野縁受け・つりボルト・インサートの間隔 _____ mm 周辺部の端からの寸法 _____ mm 野縁の間隔 _____ mm はずれ留め補強 有り 無し 既存の埋込みインサートの使用 再利用しない 再利用する あと施工アンカーの引抜き試験 行う (_____箇所以上、 _____箇所) 行わない</p> <p>開口補強 つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による _____ 天井のふとこの補強 (1.5m以上3m以下) 改修標仕6.6.4(8)による _____ (3mを超える) 図示による _____ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない</p> <p>7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1) 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 _____ スタッドの高さが5mを超える場合 図示による _____</p> <p>8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">ビニル床シート</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>工法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層無</td> <td>単層ビニル床シート</td> <td>T S</td> <td rowspan="2">2.5 2.0</td> <td rowspan="2">無地 マーブル</td> <td rowspan="2">熱溶接</td> <td rowspan="2">仕上表による</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床シート</td> <td>F S</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層有</td> <td>発泡複層ビニル床シート</td> <td>H S</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">柄物</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>クッションフロア</td> <td>K S</td> </tr> </table>	使用箇所	厚さ	各種区分		15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							ビニル床シート							区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所	発泡層無	単層ビニル床シート	T S	2.5 2.0	無地 マーブル	熱溶接	仕上表による	複層ビニル床シート	F S	発泡層有	発泡複層ビニル床シート	H S		柄物			クッションフロア	K S	6 内装改修工事	<p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">接着形</td> <td>コバ「ジョイント」床タイル</td> <td>K T</td> <td>2.0 3.0</td> <td rowspan="2">無地 柄物</td> <td rowspan="2">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>単層ビニル床タイル</td> <td>T T</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">置敷形</td> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>F T</td> <td>2.0 2.5 3.0</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">500×500</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>F O A</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>F O B</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止床シート 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>体積抵抗値 1.0×10⁹ 以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>塩化ビニル系</td> <td>300mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レジンコンクリート系</td> <td>150mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁器又はせつ器質タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐動荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防滑性床シート 防滑性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル幅木</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>高さ (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>軟質 硬質</td> <td>60 75 100 300</td> <td>1.5 2.0</td> </tr> </table> <p>ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>単層品 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>A種 B種 C種</td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>無地</td> <td>ヒート「ド」工法 つづり縫い</td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>「グリップ」工法 全面接着工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> </table> <p>● タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>バイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>一種 二種</td> <td>ループバイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場部分 市松敷き _____ 階段部分 模様流し _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm _____ 見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による _____</p> <p>10 合成樹脂塗床 (6.10.2) (6.10.3) 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床材 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ 塗厚 (mm) _____ エポキシ樹脂系塗床材 薄膜流しのべ工法 (平滑 防滑) 厚膜流しのべ工法 (平滑 防滑) 樹脂モルタル工法 (平滑 防滑) 薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材 塗床材料のホルムアルデヒド放散量 F _____</p>	区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所	接着形	コバ「ジョイント」床タイル	K T	2.0 3.0	無地 柄物	300×300 ○450×450		単層ビニル床タイル	T T	2.0	置敷形	複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0		500×500		置敷きビニル床タイル	F O A	4.0		薄型置敷きビニル床タイル	F O B			○		種類	性能	厚さ (mm)		体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下		種類	形状	備考	塩化ビニル系	300mm角		レジンコンクリート系	150mm角		磁器又はせつ器質タイル			種類	厚さ (mm)	備考				種類	寸法	厚さ (mm)				種類	高さ (mm)	厚さ (mm)	軟質 硬質	60 75 100 300	1.5 2.0	色柄	種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)		単層品 積層品			種別	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所	A種 B種 C種			適用	無地	ヒート「ド」工法 つづり縫い		バイル形状	長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所			「グリップ」工法 全面接着工法	適用		種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所	一種 二種	ループバイル	500×500	6.5		6 内装改修工事	<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">「加-リク」 「ド-1等」</td> <td rowspan="3">なら</td> <td>15</td> <td>表6.11.1</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>表6.11.3</td> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>表6.11.5</td> <td>直張り工法 接着工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">「加-リク」 「ド-1等」</td> <td rowspan="2">なら</td> <td>8</td> <td></td> <td>接着工法</td> <td>防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">1×6タイプ フローリング ボードタイプ</td> <td rowspan="2">なら</td> <td>8</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="2">A種 B種 C種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直張り工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート _____ 仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 オイルステインの上ワックス塗り 生地のままワックス塗り _____</p> <p>種別 A種 B種 C種 D種 (KT-____) 衝撃緩和型畳 (畳表: C1 C2) _____</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____ 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 表面への化粧張り等の加工 図示による _____</p> <p>種別 表6.13.1による J I S規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格、厚さ (mm) 等</th> </tr> <tr> <td>せっこうボード (GB-R)</td> <td>12.5(不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>化粧せっこうボード (GB-D)</td> <td>杉板模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)</td> </tr> <tr> <td>不燃積層せっこうボード (GB-NC)</td> <td>トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし</td> </tr> <tr> <td>シーリングせっこうボード (GB-S)</td> <td>15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化せっこうボード (GB-F)</td> <td>21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード (RII-B)</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード (GII-B)</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>吸音あなあきせっこうボード (GB-P)</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール化粧吸音板 (DR)</td> <td>内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃) 軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板 (0.8FK)</td> <td>タイプ2 (無石綿) 8.0 6.0</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による 1.2</td> </tr> <tr> <td>難燃木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> </tr> <tr> <td>断熱木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> </tr> <tr> <td>火山性ガラス質被覆層板</td> <td>研磨品 (3 6 9 9.5 ____) 無研磨品 (3 6 9 9.5 ____)</td> </tr> <tr> <td>普通合板</td> <td>厚さ 接着の程度 表板樹種</td> </tr> <tr> <td>天然木化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度 板面の品質 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度 化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う 表面性能 F FH W WS 化粧加工の方法 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>その他下張り用合板</td> <td></td> </tr> </table> <p>合板類の張付け (表6.13.3) A種 B種 せっこうボードの目地処理 (表6.13.5) 縦目処理 突付け 目透かし 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5) ベベルエッジ スクエアエッジ</p>	種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考	「加-リク」 「ド-1等」	なら	15	表6.11.1	釘留め工法		12	表6.11.3	根太張り工法	8	表6.11.5	直張り工法 接着工法	「加-リク」 「ド-1等」	なら	8		接着工法	防水処理足金物付	15				種類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考	1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8	釘留め工法	A種 B種 C種		15	根太張り工法				直張り工法						接着工法			種類	規格、厚さ (mm) 等	せっこうボード (GB-R)	12.5(不燃) 9.5(準不燃)	化粧せっこうボード (GB-D)	杉板模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)	不燃積層せっこうボード (GB-NC)	トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし	シーリングせっこうボード (GB-S)	15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)	強化せっこうボード (GB-F)	21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード (RII-B)	25	グラスウール吸音ボード (GII-B)	25	吸音あなあきせっこうボード (GB-P)	9.5(準不燃)	ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃) 軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)	けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石綿) 8.0 6.0	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による 1.2	難燃木毛セメント板	30 25 20 15	断熱木毛セメント板	30 25 20 15	火山性ガラス質被覆層板	研磨品 (3 6 9 9.5 ____) 無研磨品 (3 6 9 9.5 ____)	普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種	天然木化粧合板	厚さ 接着の程度 板面の品質 防虫処理 行う	特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う 表面性能 F FH W WS 化粧加工の方法 防虫処理 行う	その他下張り用合板		6 内装改修工事	<p>⑭ 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による 施工箇所 防火性能 品質・規格 図示 _____</p> <p>素地ごしらえ モルタル及びせつこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4) コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5) せつこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)</p> <p>材質 アルミニウム製 塩化ビニル製</p> <p>⑯ モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル ● 現場調合材料 既調合材料 (_____) 既製目地材 設ける (形状 _____) 床目地 設ける ● 設けない 目地の種類 押目地 _____ 目地割り 2m程度 _____ 最大目地間隔 3m程度 _____</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと _____ 壁面 図示による _____ タイルの試験張り 行わない 行う タイルの見本焼 行わない 行う 施工後の確認及び試験 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">タイルの種類</th> </tr> <tr> <th>施工箇所・形状・タイルの種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>工法</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>汚垂タイル (男子便所)</td> <td>600x1100</td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td>いがタイル (玄関)</td> <td>210x100</td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点字タイル (玄関)</td> <td>300x300</td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 既調合モルタル _____ 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法 _____</p> <p>18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3) 塗厚 (mm) 10 15 _____</p>	タイルの種類							施工箇所・形状・タイルの種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法	その他	汚垂タイル (男子便所)	600x1100	磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し			有り 無し	標準 特注		いがタイル (玄関)	210x100	磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し			有り 無し	標準 特注		点字タイル (玄関)	300x300	磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し			有り 無し	標準 特注		7 塗装改修工事	<p>① 塗装材料 (7.1.3)</p> <p>塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F _____</p> <p>② 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗替えで下地調整の種類がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素地</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">木部</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">不透明塗料塗りの場合はRB種</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>RA種 RC種</td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>RA種 RC種</td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>モルタル及びせつこうプラスター面</td> <td>RA種 RC種</td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>コケート面及びALCパネル面</td> <td>RA種 RC種</td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>コケート面及び押出成形セメント面</td> <td>RA種 RC種</td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード及びその他ボード面</td> <td>RA種 RC種</td> <td>RB種</td> </tr> </table>	素地	種別	備考	木部	RA種	不透明塗料塗りの場合はRB種	RC種	鉄鋼面	RA種 RC種	RB種	亜鉛めっき鋼面	RA種 RC種	RB種	モルタル及びせつこうプラスター面	RA種 RC種	RB種	コケート面及びALCパネル面	RA種 RC種	RB種	コケート面及び押出成形セメント面	RA種 RC種	RB種	せっこうボード及びその他ボード面	RA種 RC種	RB種	<p>校閲 主査</p> <p>工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)</p> <p>図面名称 建築改修工事特記仕様書 6</p> <p>作成年月日 R06.03</p> <p>縮尺 A - 07</p>
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	ビニル床シート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	発泡層無	単層ビニル床シート	T S	2.5 2.0	無地 マーブル	熱溶接	仕上表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
複層ビニル床シート		F S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
発泡層有	発泡複層ビニル床シート	H S		柄物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	クッションフロア	K S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
接着形	コバ「ジョイント」床タイル	K T	2.0 3.0	無地 柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	単層ビニル床タイル	T T	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
置敷形	複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0		500×500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	薄型置敷きビニル床タイル	F O B			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	性能	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類	形状	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
塩化ビニル系	300mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
レジンコンクリート系	150mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
磁器又はせつ器質タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	寸法	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	高さ (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
軟質 硬質	60 75 100 300	1.5 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
色柄	種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	単層品 積層品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種別	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
A種 B種 C種			適用	無地	ヒート「ド」工法 つづり縫い																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
バイル形状	長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		「グリップ」工法 全面接着工法	適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
一種 二種	ループバイル	500×500	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
「加-リク」 「ド-1等」	なら	15	表6.11.1	釘留め工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		12	表6.11.3	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		8	表6.11.5	直張り工法 接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
「加-リク」 「ド-1等」	なら	8		接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8	釘留め工法	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		15	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	規格、厚さ (mm) 等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
せっこうボード (GB-R)	12.5(不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
化粧せっこうボード (GB-D)	杉板模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
不燃積層せっこうボード (GB-NC)	トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
シーリングせっこうボード (GB-S)	15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
強化せっこうボード (GB-F)	21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ロックウール吸音ボード (RII-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
グラスウール吸音ボード (GII-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
吸音あなあきせっこうボード (GB-P)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃) 軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石綿) 8.0 6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による 1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
難燃木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
断熱木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
火山性ガラス質被覆層板	研磨品 (3 6 9 9.5 ____) 無研磨品 (3 6 9 9.5 ____)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
天然木化粧合板	厚さ 接着の程度 板面の品質 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う 表面性能 F FH W WS 化粧加工の方法 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他下張り用合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
タイルの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所・形状・タイルの種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
汚垂タイル (男子便所)	600x1100	磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し			有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
いがタイル (玄関)	210x100	磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し			有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
点字タイル (玄関)	300x300	磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し			有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
素地	種別	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
木部	RA種	不透明塗料塗りの場合はRB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面	RA種 RC種	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
亜鉛めっき鋼面	RA種 RC種	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
モルタル及びせつこうプラスター面	RA種 RC種	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
コケート面及びALCパネル面	RA種 RC種	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
コケート面及び押出成形セメント面	RA種 RC種	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
せっこうボード及びその他ボード面	RA種 RC種	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
記			<p>株式会社 前田都市設計</p> <p>一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲	主査	工事名称	宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日	R06.03	図面番号	A - 07																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
事				担当	担当							担当	担当	図面名称	建築改修工事特記仕様書 6	縮尺	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

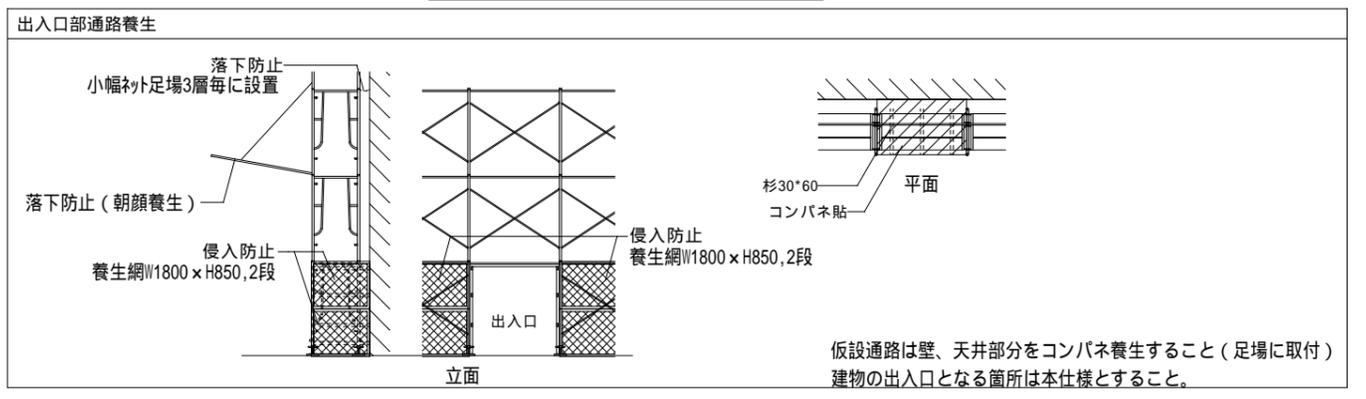


付近見取図 S:1/2500 工事対象敷地を示す



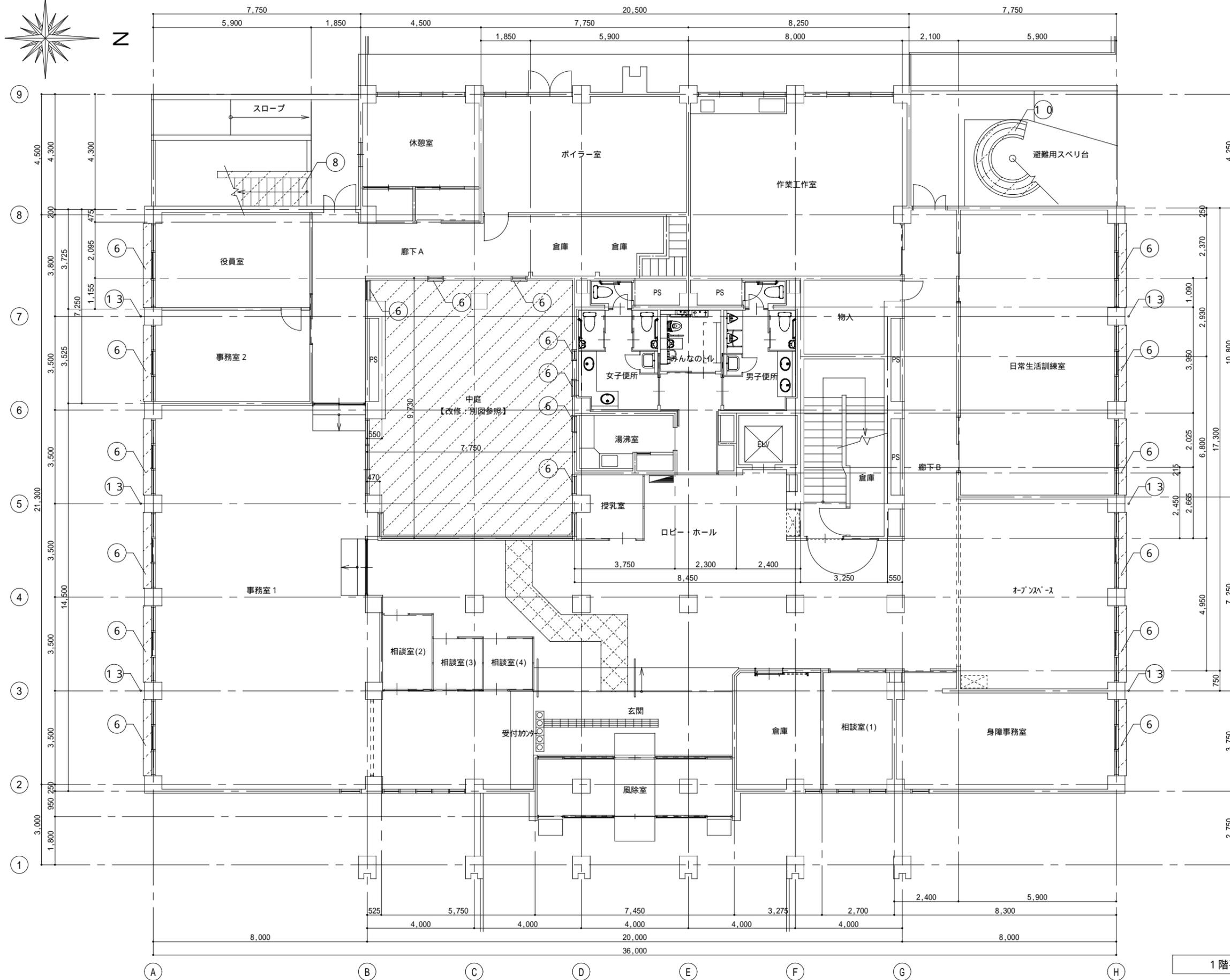
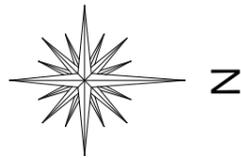
配置図兼仮設計画図(参考) S:1/300

凡例	特記事項
改修対象範囲を示す	<ul style="list-style-type: none"> 場内は最徐行とする。 場内を工事車両等が通行する場合は、交通誘導員が通行者の安全を確認し誘導を行うこと。特に一般利用者と交差する箇所に当たっては必ず交通誘導員の誘導により安全を確保すること。 工事現場周辺の道路は、常時清掃すること。 工事車両等は周辺道路交通の妨げとならないようにすること。 また、周辺道路での待機等は禁止する。 足場の一段目には、養生金網を設置すること。 安全衛生上、塗料・溶剤等は現場に置き置きする事が無き様持ち込み、持ち帰りを作業日ごとに行うこと。 その他、工事により破損、汚れが生じた場合は復旧、洗浄を行うこと。 図示以外で仮囲い、足場を設ける際に支障となる植栽は監督職員の承認を受け枝払いをすること。 工事車両が頻りに往路する際は、交通誘導員を随時増員すること。 本仮設計画、要綱等は参考とし、実工事状況、施工性、安全性、諸基準に配慮の上施工を行うものとし、それらの対処、仮設物の基準に配慮の上施工を行うものとし、それらの対処、仮設物の盛替等については全て本工事に含むものとする。 工事完了後に工事範囲の整地、清掃を行うこと。
枠組本足場 手摺先行工法(建幅900)養生シート張	
枠組本足場 手摺先行工法(建幅600)養生シート張	
落下防止(朝顔養生)	
仮囲い フェンスバリケードH=1,800 シート張	
カラーコーン、カラーバー	
キャスターゲートW6,000×H1,800	
交通誘導員(常駐1名・車両追従)	
交通誘導員(スポット1名・中庭施工時足場搬入出時建物内)	
福祉会館職員、一般利用者用動線	
工事関係者動線	



仮設通路は壁、天井部分をコンパネ養生すること(足場に取付) 建物の出入口となる箇所は本仕様とすること。

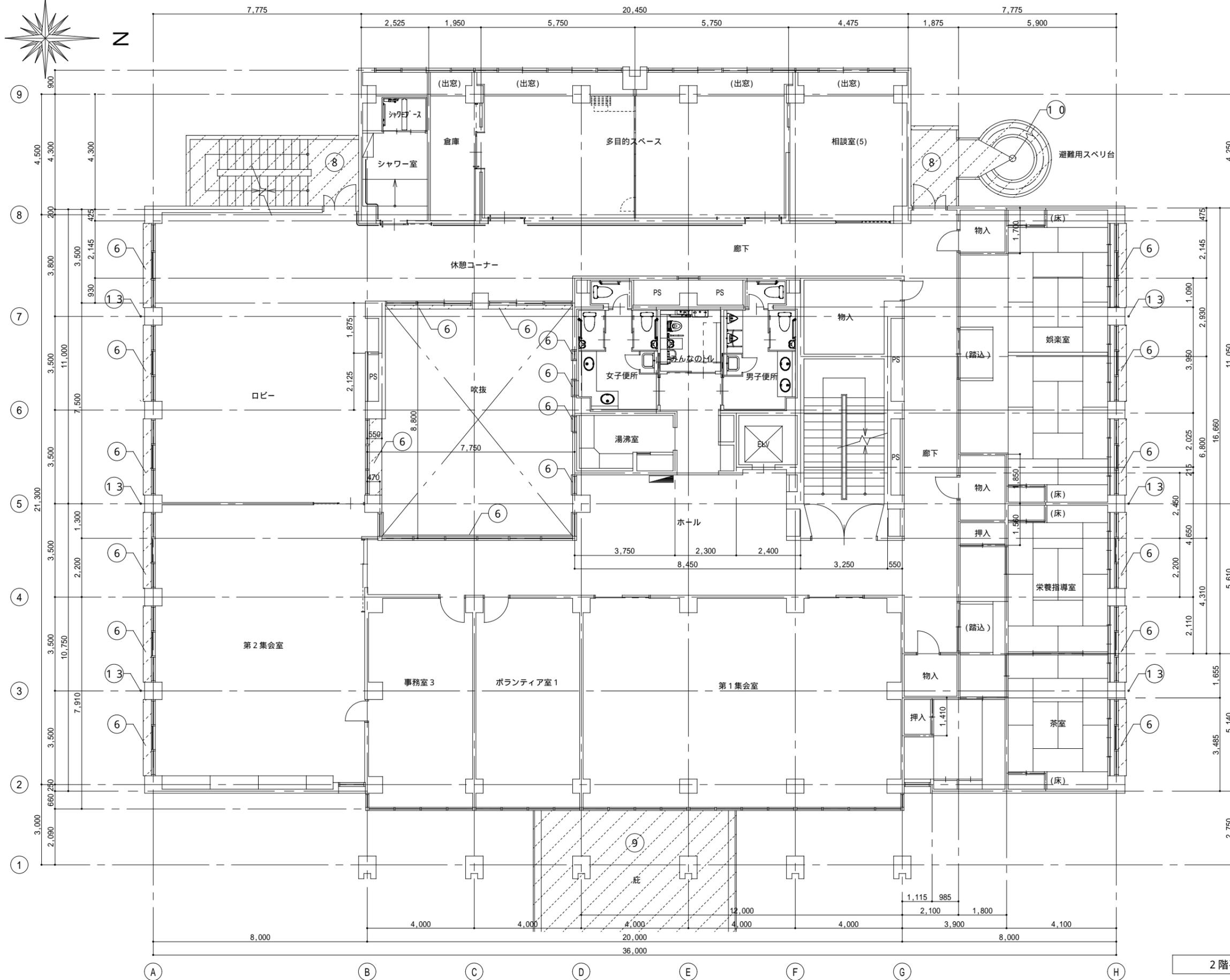
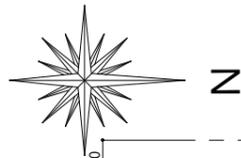
記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A-09
			担当	担当			
図面名称 付近見取図、配置図兼仮設計画図(参考)						縮尺 1/300・1/2500	



凡例	
	改修範囲を示す
	中庭施工時、足場搬入出時養生
備考	
・その他項目は文字表記による	
・仕上凡例はR階平面図を参照のこと	

1階平面図 1/100

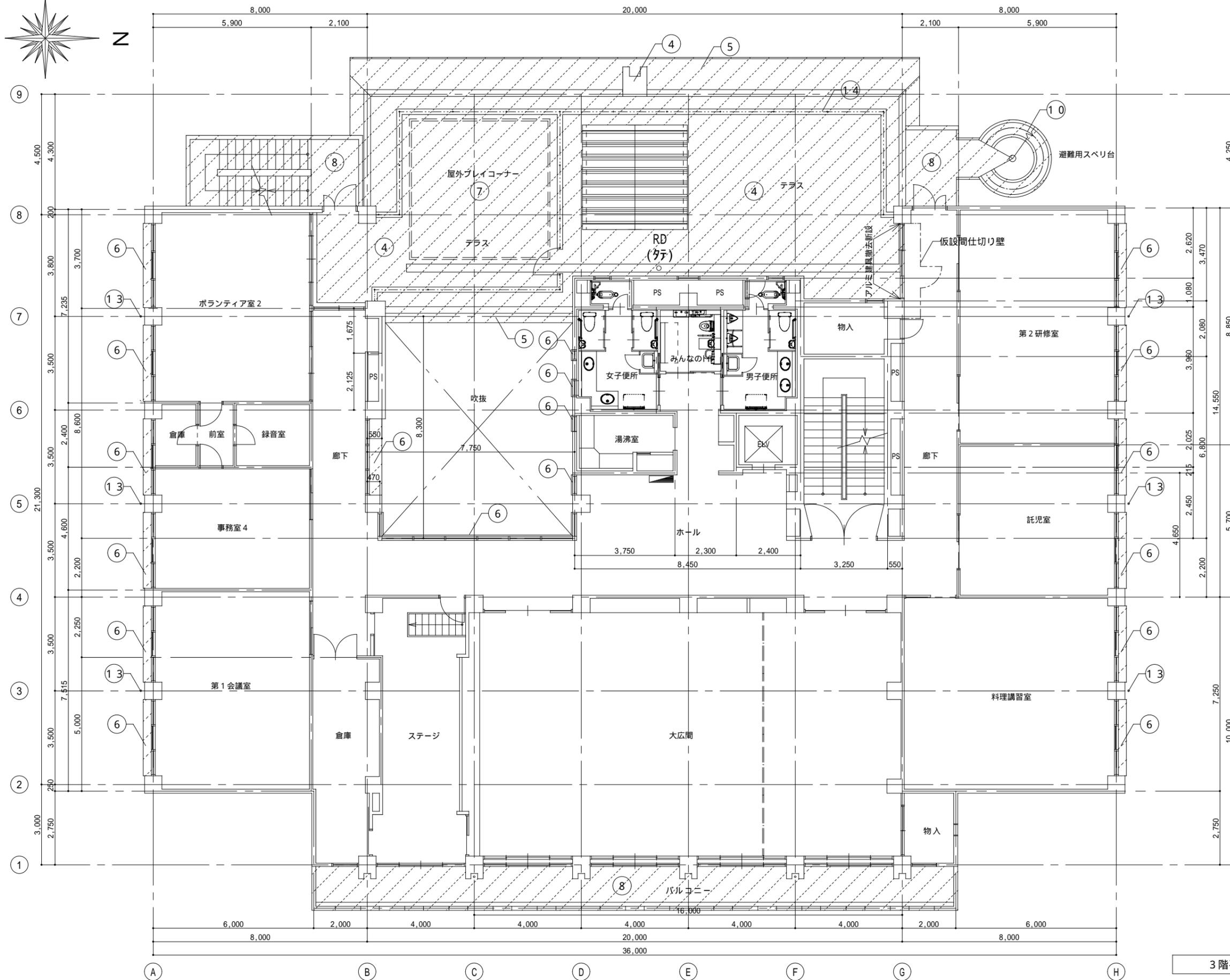
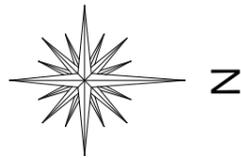
記 事		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 10
			担当	担当		担当	
図面名称 (改修)1階平面図							



凡例	
	改修範囲を示す
備考	
・その他項目は文字表記による	
・仕上凡例はR階平面図を参照のこと	

2階平面図 1/100

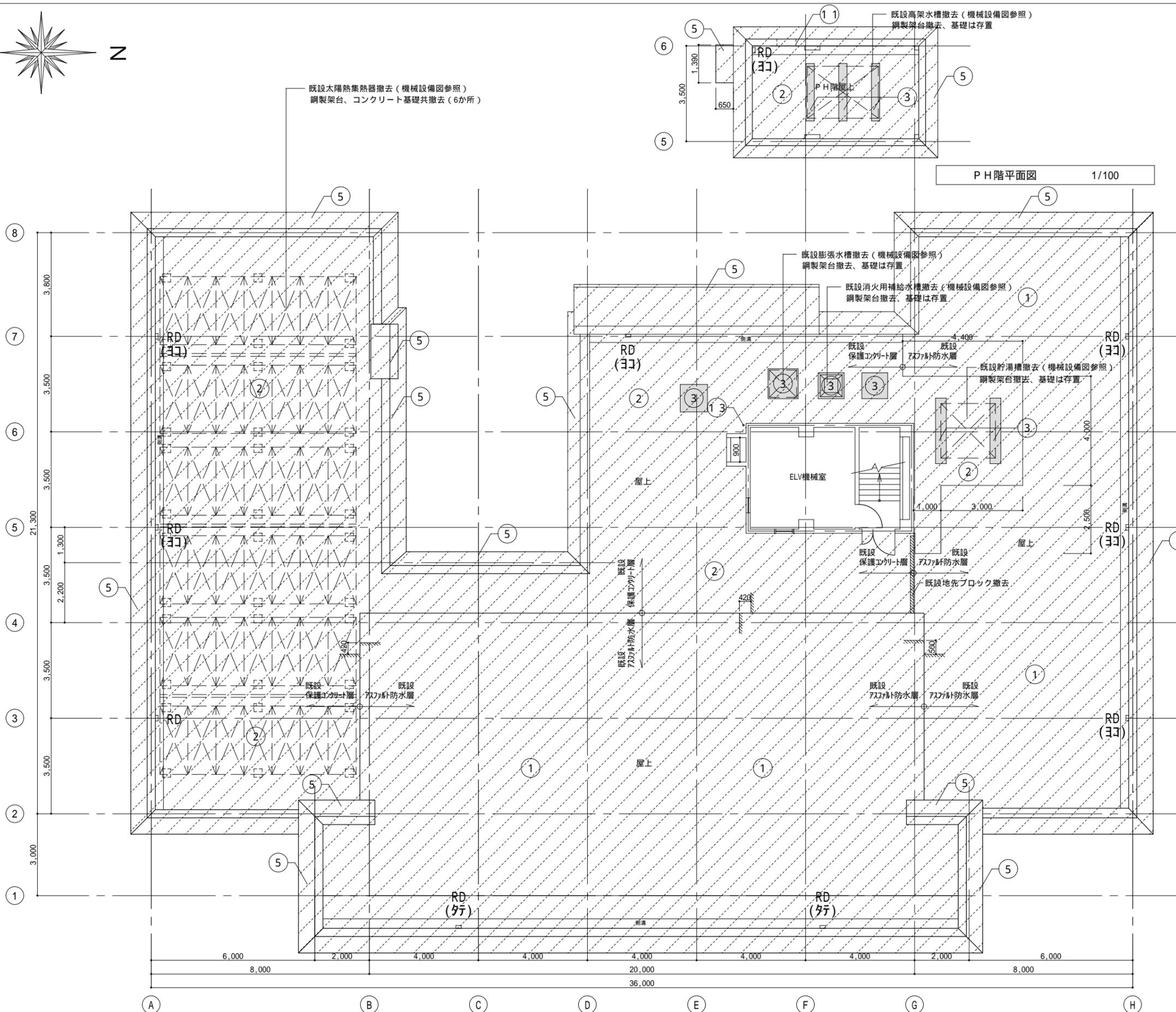
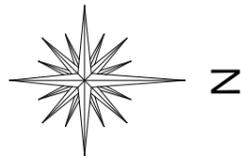
記 事		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 11
			担当	担当		担当	
					図面名称 (改修)2階平面図		



凡例	
	改修範囲を示す
備考	
・その他項目は文字表記による	
・仕上凡例はR階平面図を参照のこと	

3階平面図 1/100

記 事		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 12
			担当	担当		担当	
図面名称 (改修)3階平面図							



PH階平面図 1/100

仕上凡例		
記号	改修前	改修後
①	屋根：アスファルト防水層	改修後：クレン清掃の上、塩ビシート防水
②	屋根：保護コンクリート層	改修後：クレン清掃の上、塩ビシート防水
③	機械基礎：コンクリート	改修後：クレン清掃の上、ウレタン塗膜防水 (X-2)
④	屋根：既存防水層	改修後：クレン清掃、高圧洗浄の上、ウレタン塗膜防水 (X-2)
⑤	バルコニー屋根・棟屋：モルタル下地の土 銅板一文字葺	改修後：亜鉛合金板貼着工法 一文字葺 (改修工法) 新設
⑥	小庇・笠木：ウレタン塗膜防水、面台：防水モルタル押し	改修後：下地調整の上ウレタン塗膜防水 (X-2)
⑦	既設人工芝マット撤去	改修後：タッチマット 敷き 5,250 x 5,250 (フチ込み)
⑧	階段、バルコニー：防水モルタル押し、段鼻：ノスリップタイル	改修後：高圧水洗浄
⑨	玄関底側面：カーペット補修 玄関底天端：塩ビシート防水	改修後：玄関底側面：クレンジング 玄関底天端：水洗い
⑩	避難用すべり台：スチール製SOP塗	改修後：下地調整の上DP塗
⑪	スチール製手摺・スチール製スリット：溶融亜鉛メッキの上SOP塗	改修後：下地調整の上DP塗
⑫	スチール製タラシ：溶融亜鉛メッキの上SOP塗	改修後：下地調整の上DP塗
⑬	壁紙：VU 75 粗面処理 弾性吹付タイル	改修後：カーVP 75新設 (掴み金物：SUS製新設)
⑭	メッシュフェンス：溶融亜鉛メッキ材 樹脂粉末塗装 脱着	改修後：復旧後クレンジング 及び塗装劣化部：下地調整の上DP塗
RD	ルーフドレン撤去	改修後：改修用ドレン新設 (径：縦型、ヨコ横引)

凡例	
	改修範囲を示す
備考	・その他項目は文字表記による ・仕上凡例はR階平面図を参照のこと

R階平面図 1/100

仕上凡例

記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)
①	屋根:アスファルト防水層	洗浄清掃の上、塩ビシート防水	⑧	階段、バルコニー:防水珪藻土押え、段鼻:ノズリップタイル	高圧水洗浄	⑮	外壁:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上可とう形改修塗材RE(さざ波状・シリコン樹脂)
②	屋根:保護コンクリート層	洗浄清掃の上、塩ビシート防水	⑨	玄関庇側面:カーアルミバネ / 玄関庇天端:塩ビシート防水	玄関庇側面:クリーニング / 玄関庇天端:水洗い	⑯	軒裏・上げ裏:コンクリート打放しの上弾性リシン吹付	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
③	機械基礎:コンクリート	洗浄清掃の上、珪藻土塗膜防水(X-2)	⑩	避難用すべり台:スチール製SOP塗	下地調整の上DP塗	⑰	外壁(中庭部):化粧型枠コンクリート打放し小叩き仕上	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上防水形複層塗材E
④	屋根:既存防水層	洗浄清掃、高圧洗浄の上、珪藻土塗膜防水(X-2)	⑪	スチール製手摺・スチール製スクリーン:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑱	巾木:珪藻土金コ押し	高圧水洗浄の上、樹脂珪藻土コ押し(2回塗)
⑤	バルコニー外屋根・棟屋:珪藻土下地の上銅板一文字葺	亜鉛合金板貼接着工法一文字葺(改修工法)新設	⑫	スチール製タクト:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑲	軒天井:防水P.B t=12.5 シーテ-下地処理の上、弾性リシン吹付	下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
⑥	小庇・笠木:珪藻土塗膜防水、面台:防水珪藻土コ押しサッシ下、アルミ水切り撤去	下地調整の上珪藻土塗膜防水(X-2)サッシ下、アルミ水切り新設	⑬	縦樋:VU 75 粗面処理 弾性吹付タイル	カーVP 75新設(掴み金物:SUS製新設)	⑳	バルコニー先端:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高粘性珪藻土塗膜防水(下端:水切テープ取付)
⑦	既設人工芝マット撤去	タツマツト敷き 5,250×5,250(7分込み)	⑭	メッシュフェンス:溶融亜鉛メッキ材 樹脂粉体塗装	クリーニング及び、塗装劣化部:下地調整の上DP塗	㉑	柱型カー:塩ビ鋼板 t=0.8	下地調整の上DP塗
備考	・その他の項目は文字表記による。					㉒	ガラス	下地調整の上DP塗

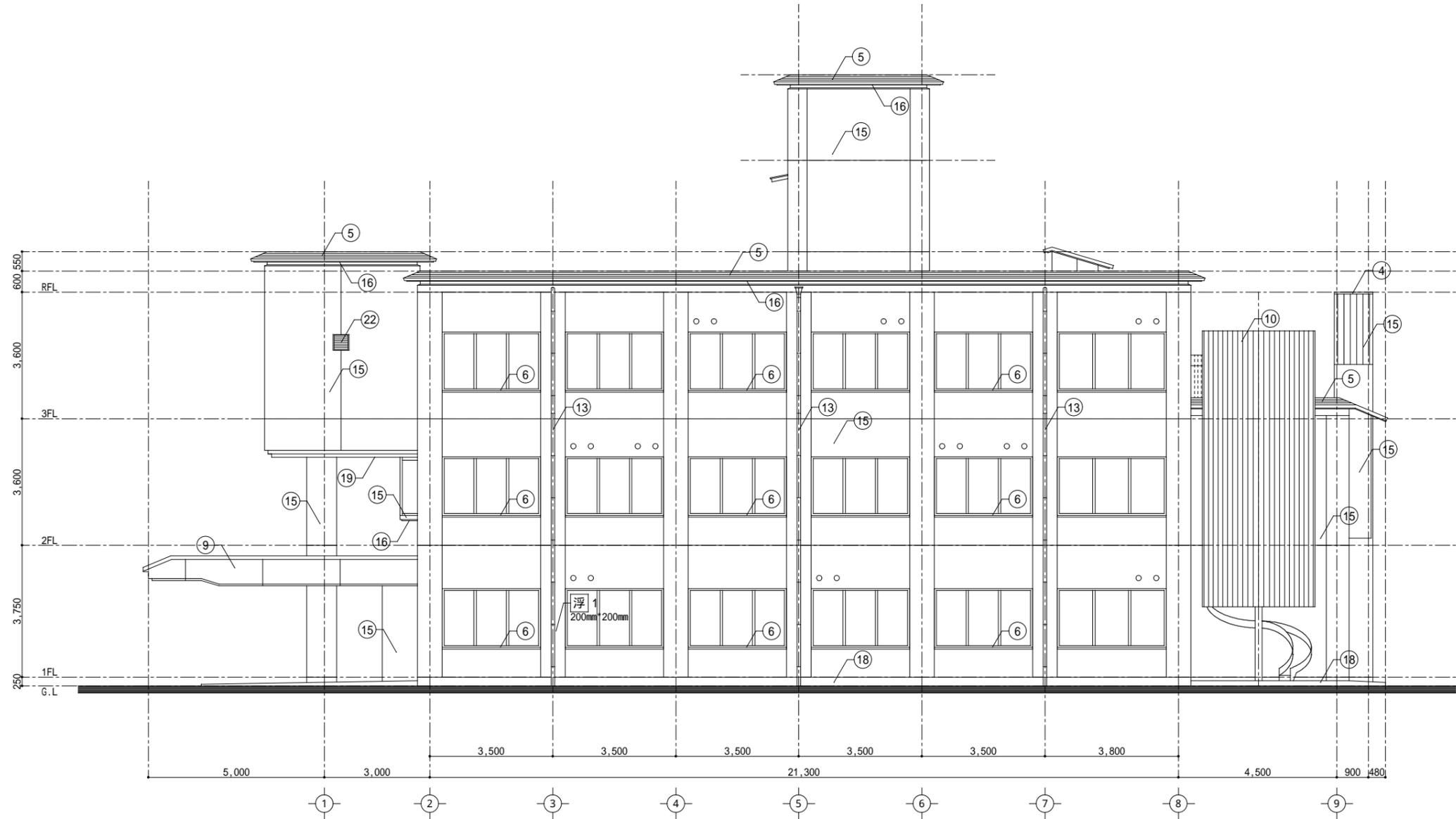


東面立面図 1/100

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 14
			担当	担当		担当	
図面名称 (改修)東面立面図							

仕上凡例

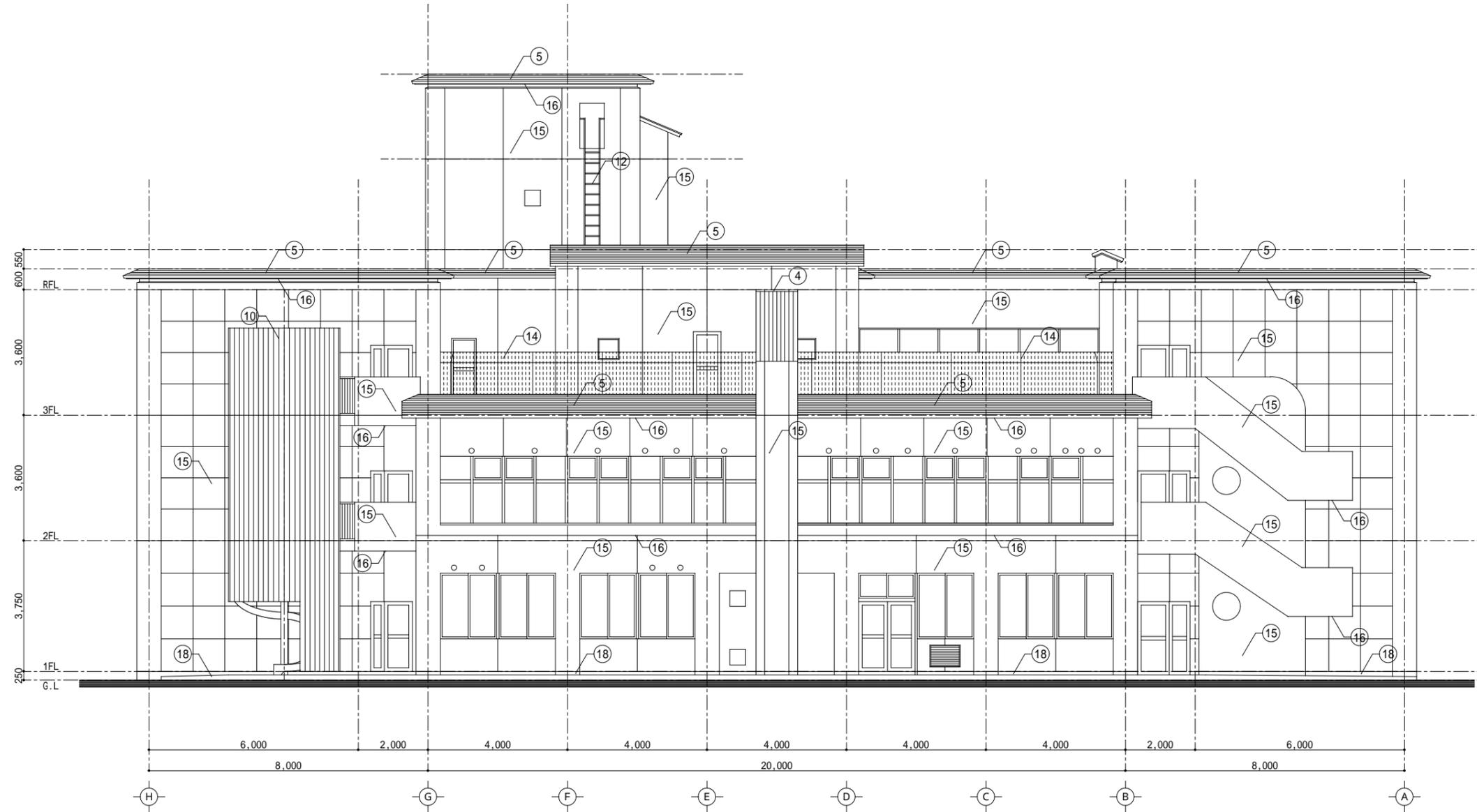
記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)
①	屋根:アスファルト防水層	丸清掃の上、塩ビシート防水	⑧	階段、バルコニー:防水珪藻土押え、段鼻:ノスリップタイル	高圧水洗浄	⑮	外壁:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上可とう形改修塗材RE(さざ波状・シリコン樹脂)
②	屋根:保護コンクリート層	丸清掃の上、塩ビシート防水	⑨	玄関庇側面:カーアルミバネ / 玄関庇天端:塩ビシート防水	玄関庇側面:クリーニング / 玄関庇天端:水洗い	⑯	軒裏・上げ裏:コンクリート打放しの上弾性リシン吹付	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
③	機械基礎:コンクリート	丸清掃の上、珪藻土塗膜防水(X-2)	⑩	避難用すべり台:スチール製SOP塗	下地調整の上DP塗	⑰	外壁(中庭部):化粧型枠コンクリート打放し小叩き仕上	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上防水形複層塗材E
④	屋根:既存防水層	丸清掃、高圧洗浄の上、珪藻土塗膜防水(X-2)	⑪	スチール製手摺・スチール製スクリーン:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑱	巾木:珪藻土金コ押し	高圧水洗浄の上、樹脂珪藻土コ押し(2回塗)
⑤	バルコニー外屋根・棟屋:珪藻土下地の上銅板一文字葺	亜鉛合金板貼接着工法一文字葺(改修工法)新設	⑫	スチール製クランプ:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑲	軒天井:防水P.B t=12.5シート下地処理の上、弾性リシン吹付	下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
⑥	小庇・笠木:珪藻土塗膜防水、面台:防水珪藻土コ押しサッシ下、アルミ水切り撤去	下地調整の上珪藻土塗膜防水(X-2)サッシ下、アルミ水切り新設	⑬	縦樋:VU 75粗面処理 弾性吹付タイル	カーVP 75新設(掴み金物: SUS製新設)	⑳	バルコニー先端:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高粘性珪藻土塗膜防水(下端:水切テープ取付)
⑦	既設人工芝マット撤去	クママット 敷き 5,250×5,250(7巾込み)	⑭	メッシュフェンス:溶融亜鉛メッキ材 樹脂粉体塗装	クリーニング及び、塗装劣化部:下地調整の上DP塗	㉑	柱型カー:塩ビ鋼板 t=0.8	下地調整の上DP塗
備考	・その他の項目は文字表記による。					㉒	ガラス	下地調整の上DP塗



【北面】外壁補修		
記号	劣化種別	数量
浮1	浮き(破損寸法は図示)	0.04㎡
【南面】外壁補修		
記号	劣化種別	数量
割A1	割:0.1~1.0mm(長さは図示)	1.07m
浮1	浮き(破損寸法は図示)	0.06㎡
浮2	浮き(破損寸法は図示)	0.12㎡
浮3	浮き(破損寸法は図示)	0.12㎡
浮4	浮き(破損寸法は図示)	0.09㎡
浮5	浮き(破損寸法は図示)	0.01㎡
浮6	浮き(破損寸法は図示)	0.12㎡
浮7	浮き(破損寸法は図示)	0.60㎡
浮8	浮き(破損寸法は図示)	0.20㎡
外壁補修 合計		
割:0.1~1.0mm		1.07m
		× 1.5 1.61m
浮き		1.36㎡
		× 1.5 2.04㎡

仕上凡例

記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)
①	屋根:アスファルト防水層	ケレン清掃の上、塩ビシート防水	⑧	階段、バルコニー:防水珪藻土押え、段鼻:ノズリップタイル	高圧水洗浄	⑮	外壁:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上可とう形改修塗材RE(さざ波状・シリコン樹脂)
②	屋根:保護コンクリート層	ケレン清掃の上、塩ビシート防水	⑨	玄関庇側面:カーアルミ板 / 玄関庇天端:塩ビシート防水	玄関庇側面:クリニグ / 玄関庇天端:水洗い	⑯	軒裏・上げ裏:コンクリート打放しの上弾性リシン吹付	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
③	機械基礎:コンクリート	ケレン清掃の上、珪藻土塗膜防水(X-2)	⑩	避難用すべり台:スチール製SOP塗	下地調整の上DP塗	⑰	外壁(中庭部):化粧型枠コンクリート打放し小叩き仕上	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上防水形複層塗材E
④	屋根:既存防水層	ケレン清掃、高圧洗浄の上、珪藻土塗膜防水(X-2)	⑪	スチール製手摺・スチール製スクリーン:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑱	巾木:珪藻土金コ押し	高圧水洗浄の上、樹脂珪藻土コ押し(2回塗)
⑤	バルコニー屋根・棟屋:珪藻土下地の上銅板一文字葺	亜鉛合金板貼接着工法一文字葺(改修工法)新設	⑫	スチール製ラック:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑲	軒天井:防水P.B t=12.5 シーテ-下地処理の上、弾性リシン吹付	下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
⑥	小庇・笠木:珪藻土塗膜防水、面台:防水珪藻土コ押しサッシ下、アルミ水切り撤去	下地調整の上珪藻土塗膜防水(X-2)サッシ下、アルミ水切り新設	⑬	縦樋:VU 75 粗面処理 弾性吹付タイル	カーVP 75新設(掴み金物:SUS製新設)	⑳	バルコニー先端:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高粘性珪藻土塗膜防水(下端:水切テープ取付)
⑦	既設人工芝マット撤去	タチマット敷き 5,250×5,250(7巾込み)	⑭	メッシュフェンス:溶融亜鉛メッキ材 樹脂粉体塗装	クリニグ及び、塗装劣化部:下地調整の上DP塗	㉑	柱型カー:塩ビ鋼板 t=0.8	下地調整の上DP塗
備考	・その他の項目は文字表記による。					㉒	ガラリ	下地調整の上DP塗

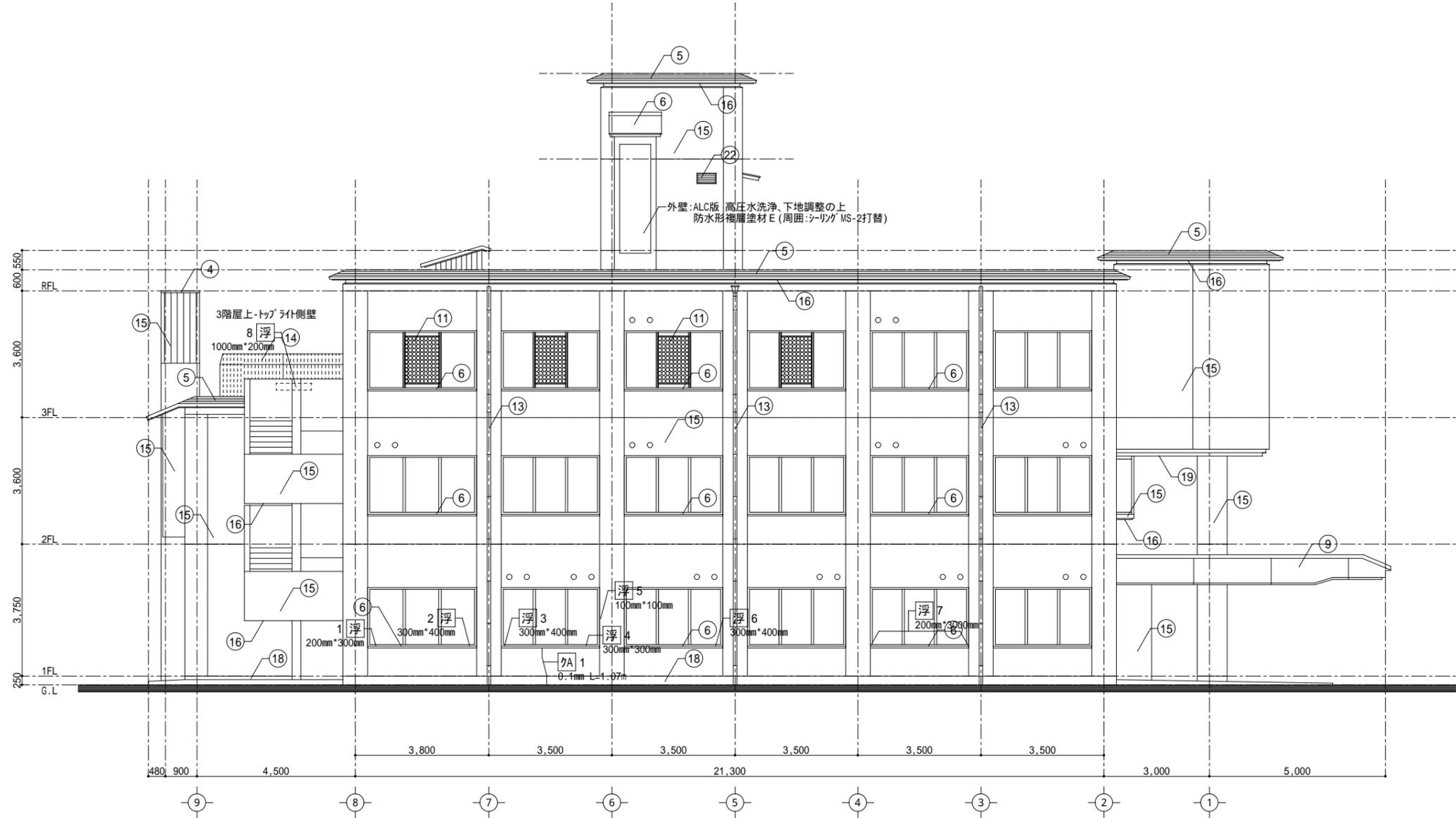


西面立面図 1/100

記 事	MAEDA	<p>株式会社 前田都市設計</p> <p>一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲	主査	<p>工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)</p> <p>図面名称 (改修)西面立面図</p>	作成年月日 R06.03	<p>図面番号 A-16</p>
			担当	担当		担当	

仕上凡例

記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)
①	屋根:アスファルト防水層	丸ノ清掃の上、塩ビシート防水	⑧	階段、バルコニー:防水珪藻土押え、段鼻:ノスリブタイル	高圧水洗浄	⑮	外壁:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上可とう形改修塗材RE(さざ波状・シリコン樹脂)
②	屋根:保護コンクリート層	丸ノ清掃の上、塩ビシート防水	⑨	玄関庇側面:カーアルミ板 / 玄関庇天端:塩ビシート防水	玄関庇側面:クリニグ / 玄関庇天端:水洗い	⑯	軒裏・上げ裏:コンクリート打放しの上弾性リソ吹付	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
③	機械基礎:コンクリート	丸ノ清掃の上、丸ノ塗膜防水(X-2)	⑩	避難用すべり台:スチール製SOP塗	下地調整の上DP塗	⑰	外壁(中庭部):化粧型枠コンクリート打放し小叩き仕上	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上防水形複層塗材E
④	屋根:既存防水層	丸ノ清掃、高圧洗浄の上、丸ノ塗膜防水(X-2)	⑪	スチール製手摺・スチール製スクリーン:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑱	巾木:珪藻土コシ押え	高圧水洗浄の上、樹脂珪藻土コシ押え(2回塗)
⑤	バルコニー外周・棟屋:珪藻土下地の上銅板一文字葺	亜鉛合金板貼接着工法 一文字葺(改修工法)新設	⑫	スチール製タクト:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑲	軒天井:防水P.Bt=12.5 シーテ-下地処理の上、弾性リソ吹付	下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
⑥	小庇・笠木:丸ノ塗膜防水、面台:防水珪藻土コシ押え サッシ下、アルミ水切り撤去	下地調整の上丸ノ塗膜防水(X-2) サッシ下、アルミ水切り新設	⑬	縦樋:VU 75 粗面処理 弾性吹付タイル	カーVP 75新設(掴み金物: SUS製新設)	⑳	バルコニー先端:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高粘性珪藻土塗膜防水(下端:水切テープ取付)
⑦	既設人工芝マット撤去	タフトマット 敷き 5,250×5,250(7寸込み)	⑭	メッシュフェンス:溶融亜鉛メッキ材 樹脂粉体塗装	クリニグ及び、塗装劣化部:下地調整の上DP塗	㉑	柱型カー:塩ビ鋼板 t=0.8	下地調整の上DP塗
備考	・その他の項目は文字表記による。					㉒	ガラリ	下地調整の上DP塗



南面立面図 1/100

【北面】外壁補修		
記号	劣化種別	数量
浮1	浮き(破損寸法は図示)	0.04㎡
【南面】外壁補修		
記号	劣化種別	数量
割A1	クラック:0.1~1.0mm(長さは図示)	1.07m
浮1	浮き(破損寸法は図示)	0.06㎡
浮2	浮き(破損寸法は図示)	0.12㎡
浮3	浮き(破損寸法は図示)	0.12㎡
浮4	浮き(破損寸法は図示)	0.09㎡
浮5	浮き(破損寸法は図示)	0.01㎡
浮6	浮き(破損寸法は図示)	0.12㎡
浮7	浮き(破損寸法は図示)	0.60㎡
浮8	浮き(破損寸法は図示)	0.20㎡
外壁補修 合計		
クラック:0.1~1.0mm		1.07m
		× 1.5 1.61m
浮き		1.36㎡
		× 1.5 2.04㎡

仕上凡例

記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)
①	屋根:アスファルト防水層	ケルン清掃の上、塩ビシート防水	⑧	階段、バルコニー:防水珪藻土押え、段鼻:ノズリップタイル	高圧水洗浄	⑮	外壁:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上可とう形改修塗材RE(さざ波状・シリコン樹脂)
②	屋根:保護コンクリート層	ケルン清掃の上、塩ビシート防水	⑨	玄関庇側面:カーアルミ板 / 玄関庇天端:塩ビシート防水	玄関庇側面:クリニグ / 玄関庇天端:水洗い	⑯	軒裏・上げ裏:コンクリート打放しの上弾性リシン吹付	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
③	機械基礎:コンクリート	ケルン清掃の上、ケルン塗膜防水(X-2)	⑩	避難用すべり台:スチール製SOP塗	下地調整の上DP塗	⑰	外壁(中庭部):化粧型枠コンクリート打放し小叩き仕上	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上防水形複層塗材E
④	屋根:既存防水層	ケルン清掃、高圧洗浄の上、ケルン塗膜防水(X-2)	⑪	スチール製手摺・スチール製スクリーン:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑱	巾木:珪藻土金コ押し	高圧水洗浄の上、樹脂珪藻土コ押し(2回塗)
⑤	バルコニー:外屋根・棟屋:珪藻土下地の上 銅板一文字葺	亜鉛合金板貼接着工法 一文字葺(改修工法)新設	⑫	スチール製タテ:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑲	軒天井:防水P.B t=12.5 シーテ-下地処理の上、弾性リシン吹付	下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
⑥	小庇・笠木:ケルン塗膜防水、面台:防水珪藻土押え サッシ下、アルミ水切り撤去	下地調整の上ケルン塗膜防水(X-2) サッシ下、アルミ水切り新設	⑬	縦樋:VU 75 粗面処理 弾性吹付タイル	カーVP 75新設(掴み金物:SUS製新設)	⑳	バルコニー先端:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高粘性ケルン塗膜防水(下端:水切テープ 取付)
⑦	既設人工芝マット撤去	タチマット 敷き 5,250×5,250(7寸込み)	⑭	メッシュフェンス:溶融亜鉛メッキ材 樹脂粉体塗装	クリニグ及び、塗装劣化部:下地調整の上DP塗	㉑	柱型カー:塩ビ鋼板 t=0.8	下地調整の上DP塗
備考	・その他の項目は文字表記による。					㉒	ガラリ	下地調整の上DP塗



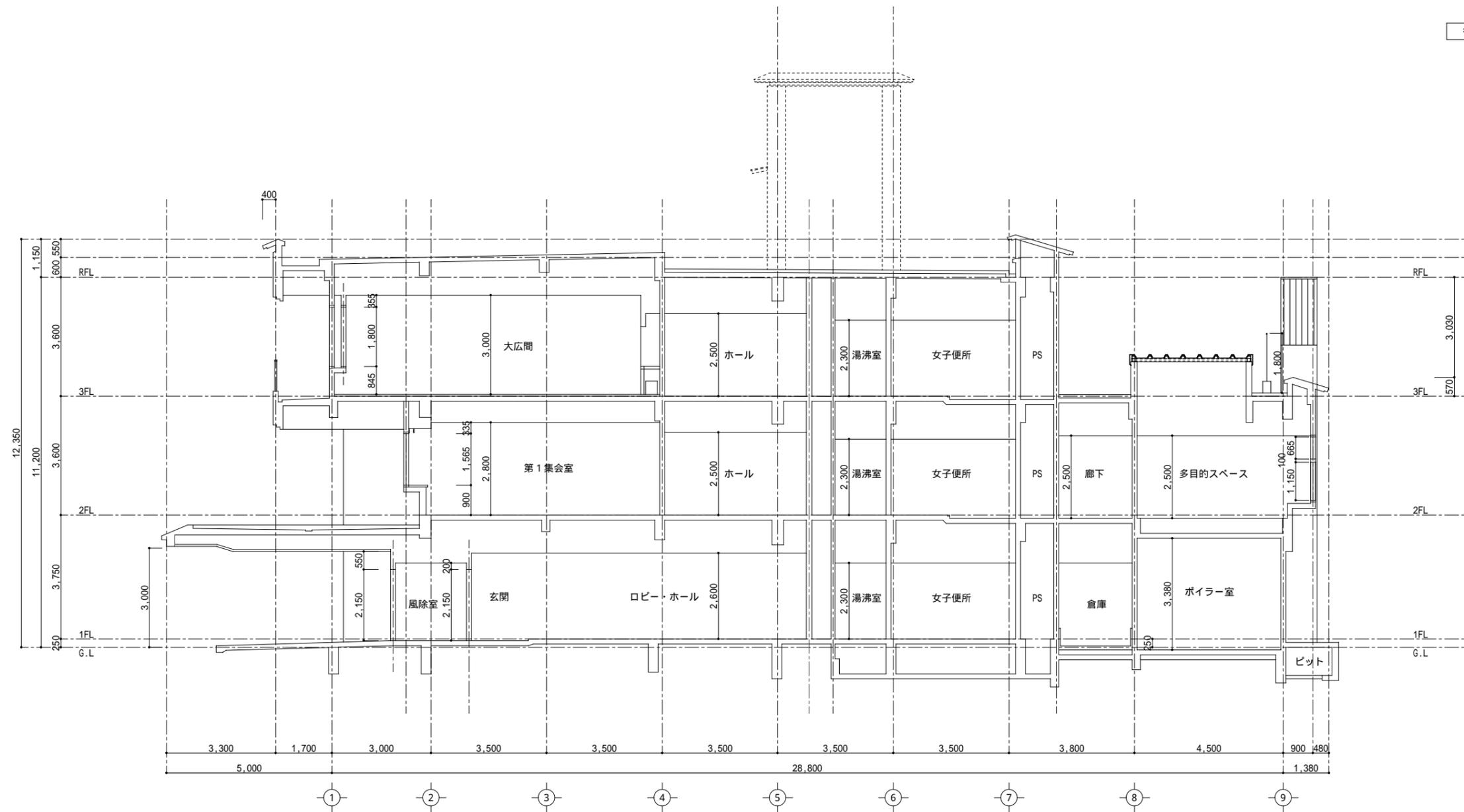
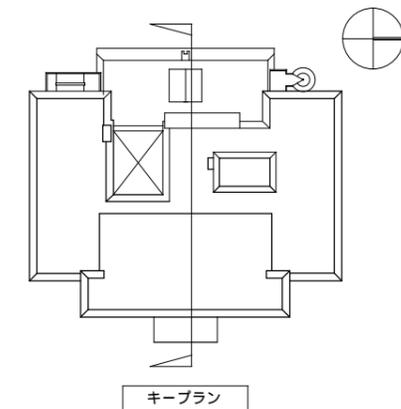
中庭部分 北面立面図 1/100

中庭部分 東面立面図 1/100

中庭部分 南面立面図 1/100

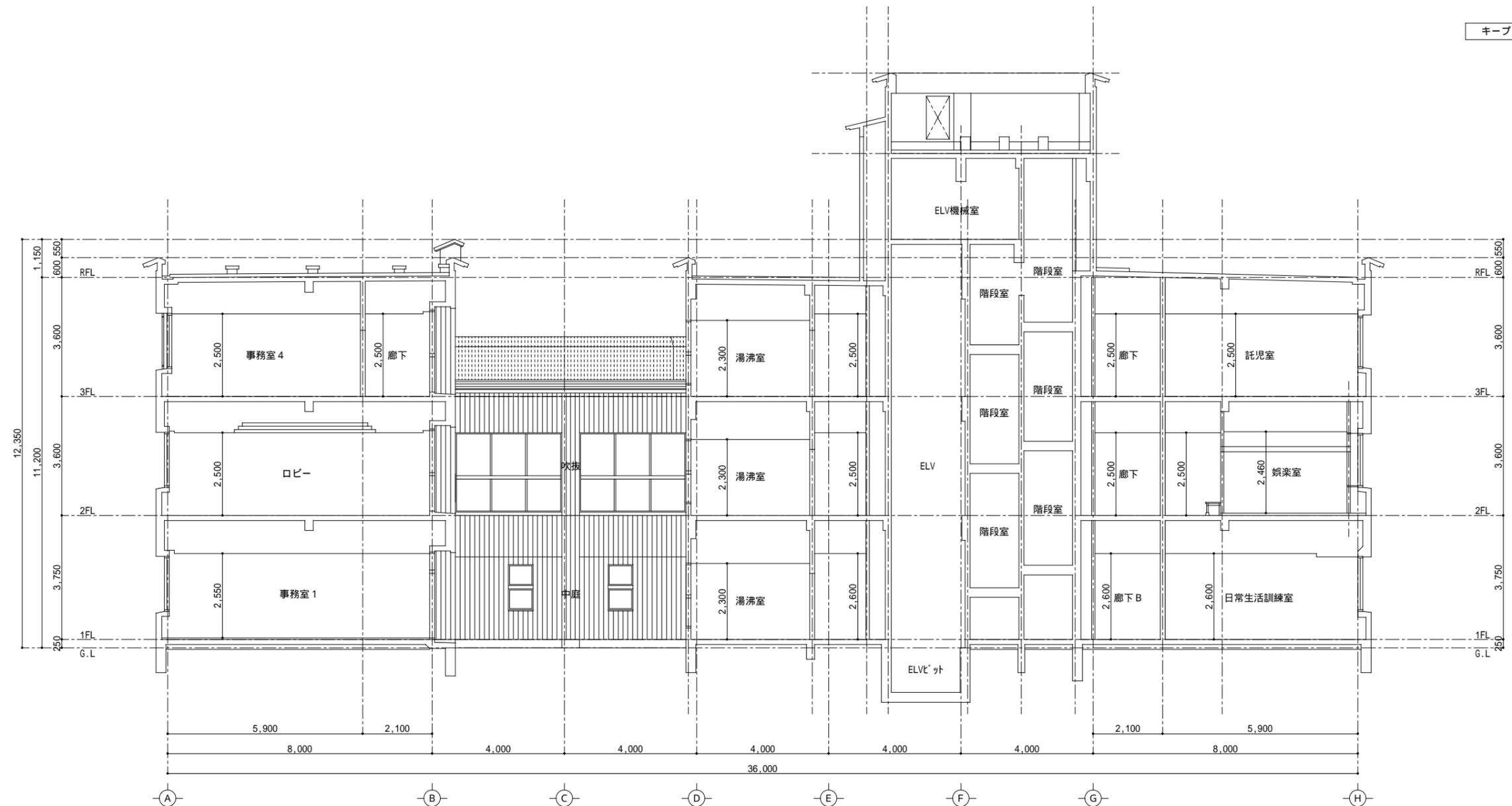
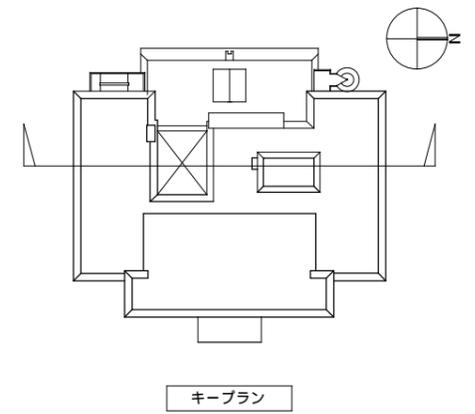
中庭部分 西面立面図 1/100

記 事	MAEDA	<p>株式会社 前田都市設計</p> <p>一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲	主査	<p>工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)</p> <p>図面名称 (改修)中庭部分 立面図</p>	作成年月日 R06.03	<p>図面番号 A - 18</p>
			担当	担当		担当	



断面図 - 1 1/100

記 事		<p align="center">株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 19
			担当	担当		担当	
図面名称 断面図 - 1							

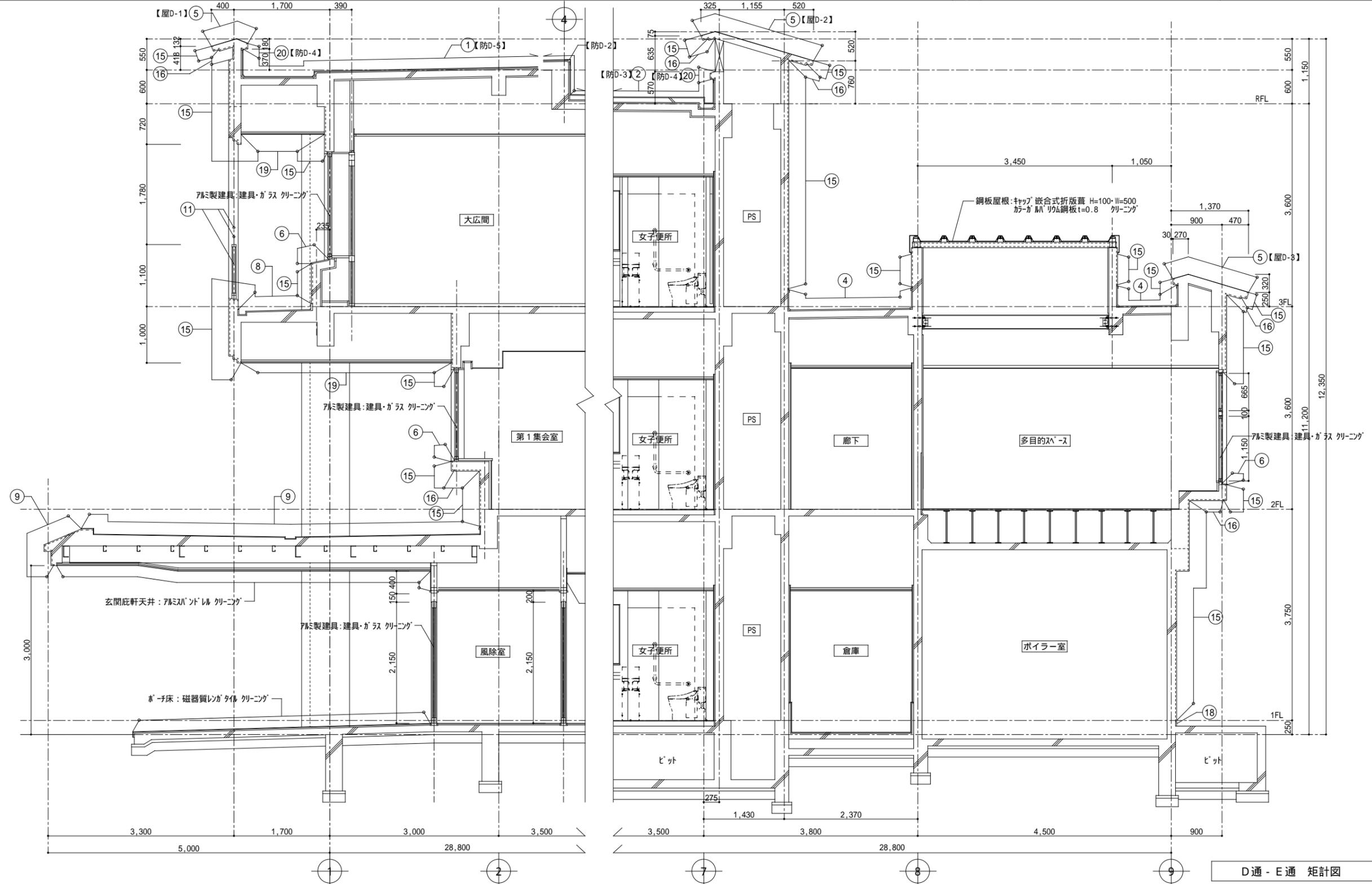


断面図 - 2 1/100

記 事		<p>株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日	図面番号 A - 20
			担当	担当	担当	担当		縮尺	
							図面名称	断面図 - 2	1/100

仕上凡例

記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)
①	屋根:アスファルト防水層	ケレン清掃の上、塩ビシート防水	⑧	階段、バルコニー:防水EIL外圧入、段鼻:ノズリップタイル	高圧水洗浄	⑮	外壁:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上 可とう形改修塗材RE(さき液状・ポリ樹脂)
②	屋根:保護コンクリート層	ケレン清掃の上、塩ビシート防水	⑨	玄関庇側面:カーアルミ板 / 玄関庇天端:塩ビシート防水	玄関庇側面:ケレン / 玄関庇天端:水洗い	⑯	軒裏・上げ裏:コンクリート打放しの上弾性リソ吹付	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
③	機械基礎:コンクリート	ケレン清掃の上、ケレン塗膜防水(X-2)	⑩	避難用すべり台:スチール製SOP塗	下地調整の上DP塗	⑰	外壁(中庭部):化粧型枠コンクリート打放し小叩き仕上	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上防水形複層塗材E
④	屋根:既存防水層	ケレン清掃、高圧洗浄の上、ケレン塗膜防水(X-2)	⑪	スチール製手摺・スチール製スクリーン:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑱	巾木:EIL外圧入	高圧水洗浄の上、樹脂EIL外圧入(2回塗)
⑤	バルコニー屋根・棟屋:EIL外地上 銅板一文字葺	亜鉛合金板貼 接着工法 一文字葺(改修工法) 新設	⑫	スチール製ケラップ:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑲	軒天井:防水P.B t=12.5 シーラ-下地処理の上、弾性リソ吹付	下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
⑥	小庇・笠木:ケレン塗膜防水、面台:防水EIL外圧入 サッシ下、アルミ水切り 撤去	下地調整の上ケレン塗膜防水(X-2) サッシ下、アルミ水切り 新設	⑬	縦樋:VU 75 粗面処理 弾性吹付タイル	ケラ-VP 75新設(掴み金物:SUS製新設)	⑳	バルコニー先端:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高弾性ケレン塗膜防水(下端:水切テープ 取付)
⑦	既設人工芝マット撤去	マット敷き 5,250×5,250(7方込み)	⑭	メッシュフェンス:溶融亜鉛メッキ材 樹脂粉末塗装	ケレン / 及び、塗装劣化部:下地調整の上DP塗	㉑	柱型カー:塩ビ鋼板 t=0.8	下地調整の上DP塗
備考	その他の項目は文字表記による。【 】表記は詳細図番号を示す。							

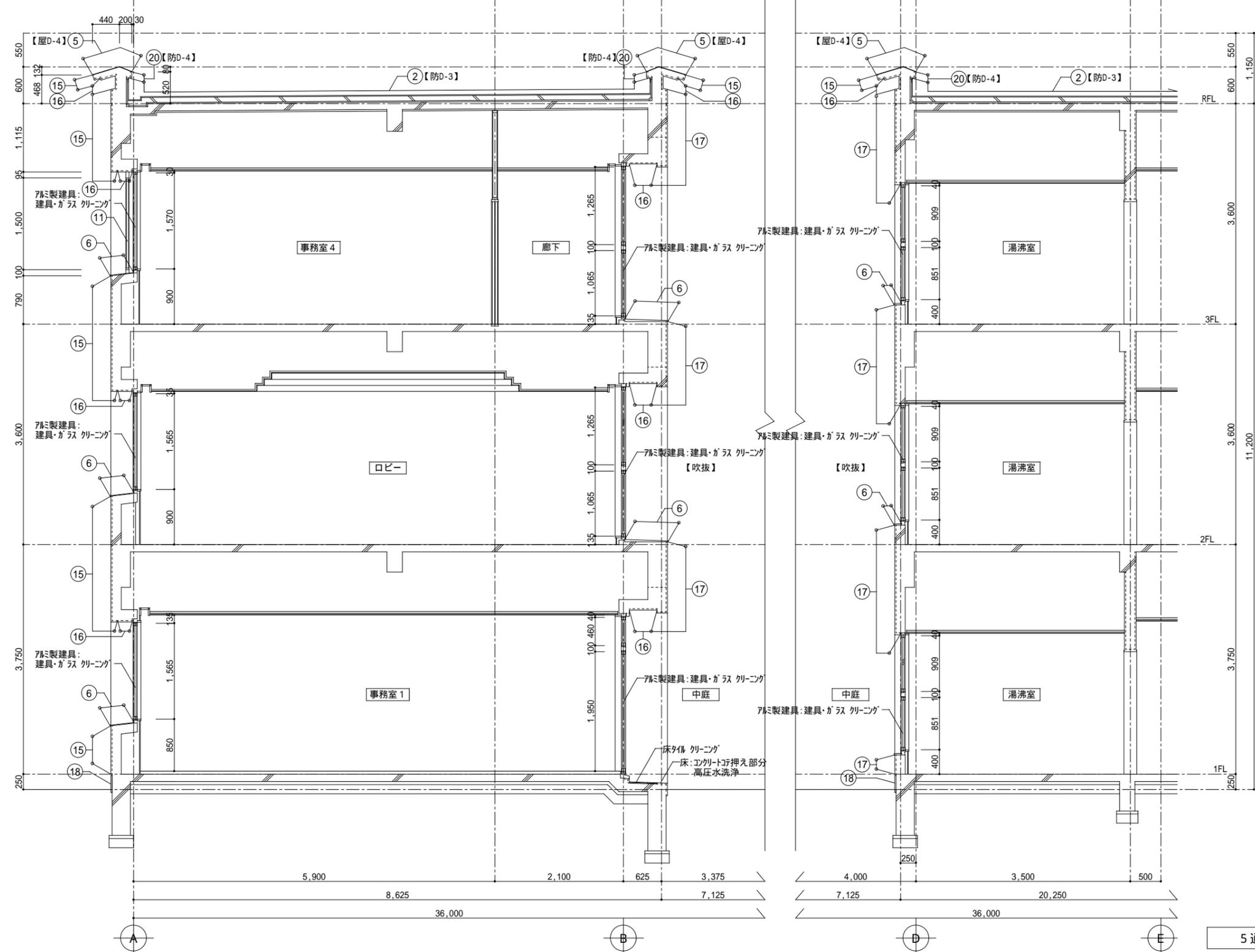


D通 - E通 矩計図 1/50

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 21
			担当	担当		担当	
					図面名称 (改修)矩計図 - 1		

仕上凡例

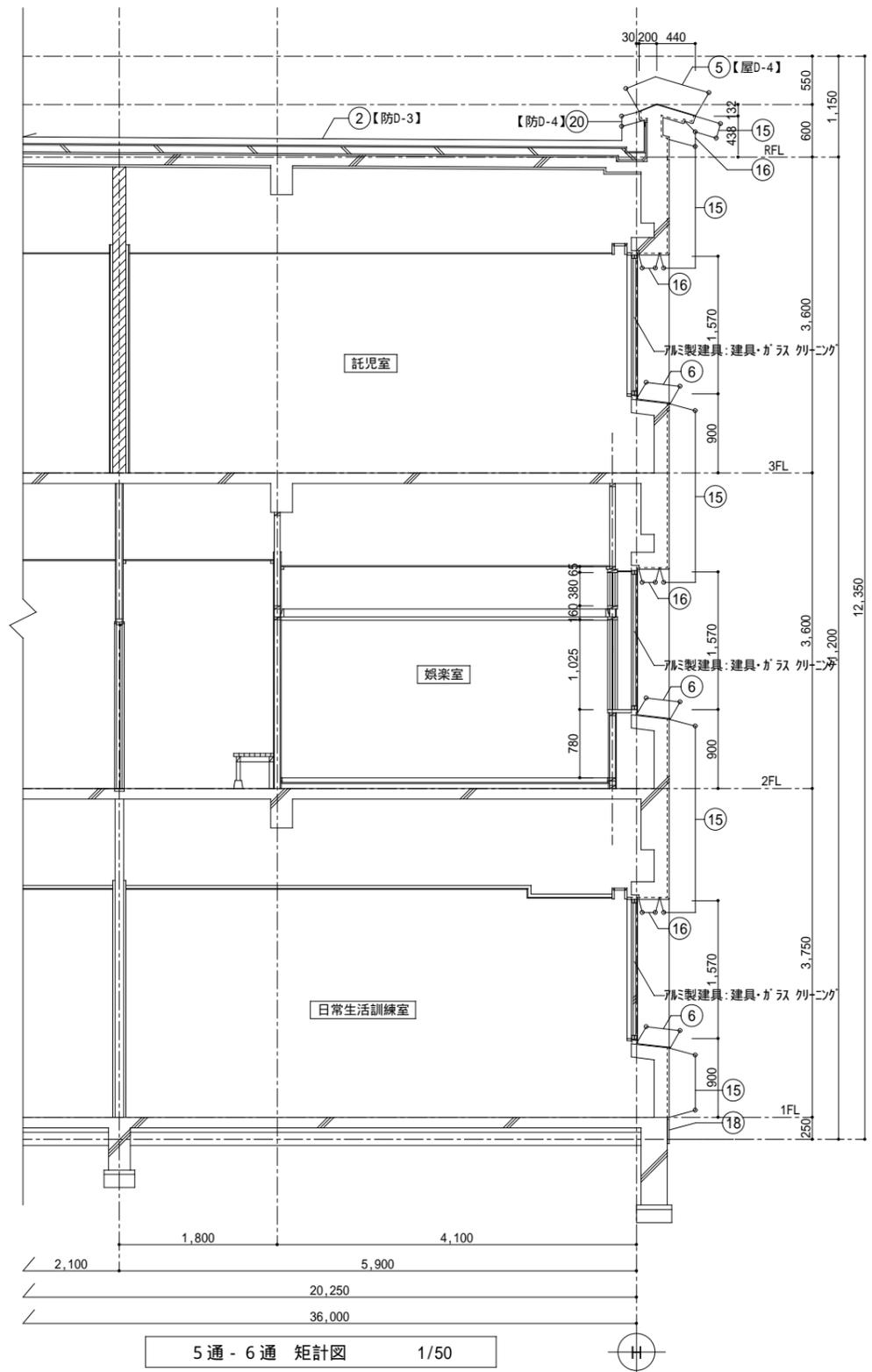
記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)
①	屋根:アスファルト防水層	ケレン清掃の上、塩ビシート防水	⑧	階段、バルコニー:防水珪藻土コシ、段鼻:ノスリUPタイル	高圧水洗浄	⑮	外壁:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上可とう形改修塗材RE(さき液状・ポリ樹脂)
②	屋根:保護コンクリート層	ケレン清掃の上、塩ビシート防水	⑨	玄関庇側面:カーアルミバネ / 玄関庇天端:塩ビシート防水	玄関庇側面:クリーニング / 玄関庇天端:水洗い	⑯	軒裏・上げ裏:コンクリート打放しの上弾性リソ吹付	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
③	機械基礎:コンクリート	ケレン清掃の上、ケレン塗膜防水(X-2)	⑩	避難用すべり台:スチール製SOP塗	下地調整の上DP塗	⑰	外壁(中庭部):化粧型枠コンクリート打放し小叩き仕上	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上防水形複層塗材E
④	屋根:既存防水層	ケレン清掃、高圧洗浄の上、ケレン塗膜防水(X-2)	⑪	スチール製手摺・スチール製スクリーン:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑱	巾木:珪藻土コシ	高圧水洗浄の上、樹脂珪藻土コシ(2回塗)
⑤	バルコニー屋根・棟屋:珪藻土下地の上銅板一文字葺	亜鉛合金板貼 接着工法 一文字葺(改修工法) 新設	⑫	スチール製クランプ:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑲	軒天井:防水P.B t=12.5 シーテ下地処理の上、弾性リソ吹付	下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
⑥	小庇・笠木:ケレン塗膜防水、面台:防水珪藻土コシ サッシ下、アルミ水切り 撤去	下地調整の上ケレン塗膜防水(X-2) サッシ下、アルミ水切り 新設	⑬	縦樋:VU 75 粗面処理 弾性吹付タイル	カーVP 75新設(掴み金物: SUS製新設)	⑳	バルコニー先端:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高粘性ケレン塗膜防水(下端:水切テープ 取付)
⑦	既設人工芝マット撤去	マット敷き 5,250×5,250(7分込み)	⑭	メッシュフェンス:溶融亜鉛メッキ材 樹脂粉末塗装	クリーニング及び、塗装劣化部:下地調整の上DP塗	㉑	柱型カバー:塩ビ鋼板 t=0.8	下地調整の上DP塗
備考	その他の項目は文字表記による。【 】表記は詳細図番号を示す。							



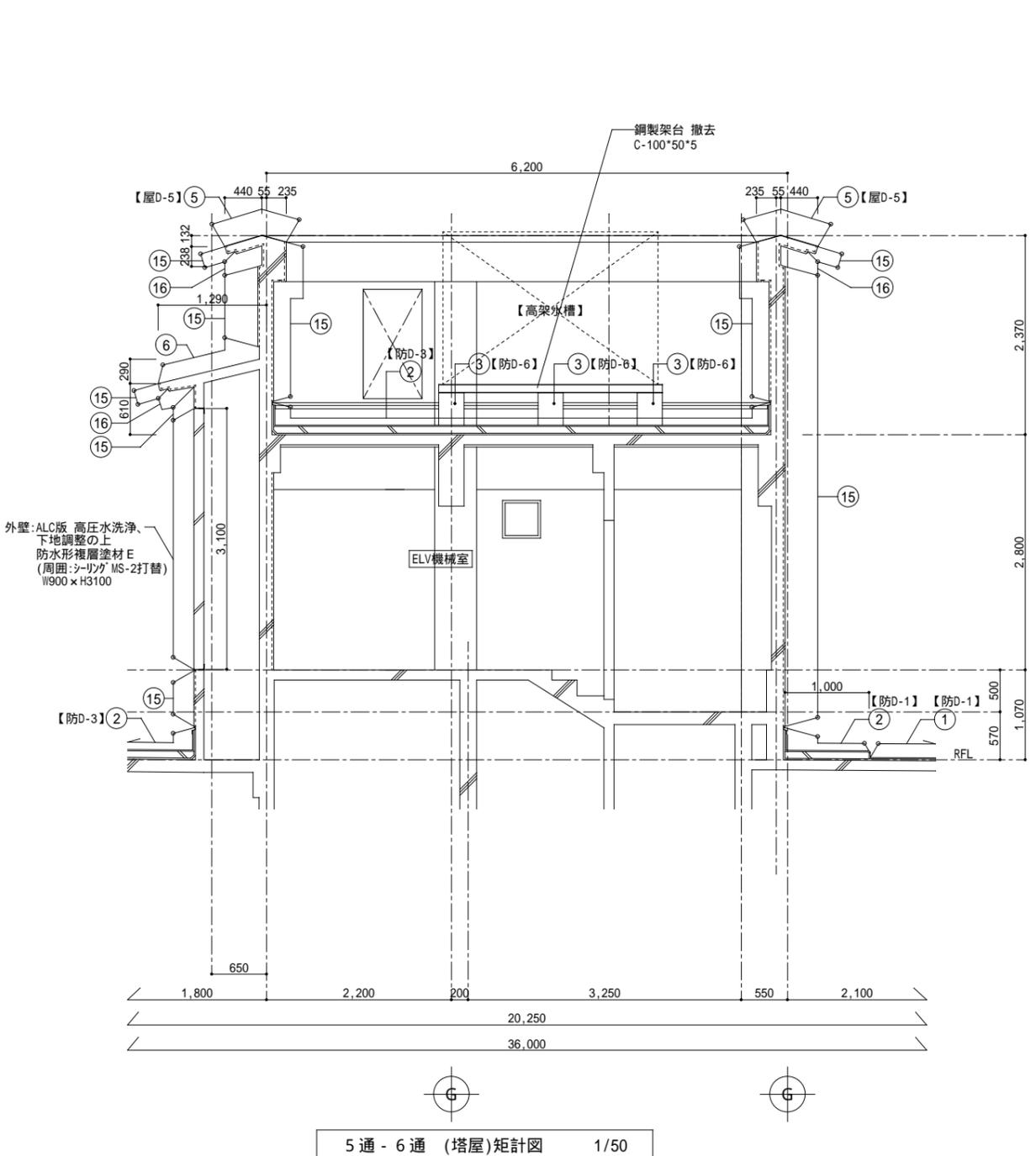
5通 - 6通 矩計図 1/50

仕上凡例

記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)	記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)
①	屋根:アスファルト防水層	ケルン清掃の上、塩ビシート防水	⑧	階段、バルコニー:防水EVL外コシ押え、段鼻:ノスリッパタイル	高圧水洗浄	⑮	外壁:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上 可とう形改修塗材RE(さき液状・ポリ樹脂)
②	屋根:保護コンクリート層	ケルン清掃の上、塩ビシート防水	⑨	玄関庇側面:カーアルミバネ / 玄関庇天端:塩ビシート防水	玄関庇側面:クリニグ / 玄関庇天端:水洗い	⑯	軒裏・上げ裏:コンクリート打放しの上弾性リソ吹付	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
③	機械基礎:コンクリート	ケルン清掃の上、ケルン塗膜防水(X-2)	⑩	避難用すべり台:スチール製SOP塗	下地調整の上DP塗	⑰	外壁(中庭部):化粧型枠コンクリート打放し小叩き仕上	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上防水形複層塗材E
④	屋根:既存防水層	ケルン清掃、高圧洗浄の上、ケルン塗膜防水(X-2)	⑪	スチール製手摺・スチール製スリソ:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑱	巾木:EVL外コシ押え	高圧水洗浄の上、樹脂EVL外コシ押え(2回塗)
⑤	バルコニー屋根・棟屋:EVL下地の上 銅板一文字葺	亜鉛合金板貼 接着工法 一文字葺(改修工法) 新設	⑫	スチール製ケラップ:溶融亜鉛メッキの上SOP塗	下地調整の上DP塗	⑲	軒天井:防水P.B t=12.5 シーラ-下地処理の上、弾性リソ吹付	下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
⑥	小庇・笠木:ケルン塗膜防水、面台:防水EVL外コシ押え サッシ下、アルミ水切り 撤去	下地調整の上ケルン塗膜防水(X-2) サッシ下、アルミ水切り 新設	⑬	縦樋:VU 75 粗面処理 弾性吹付タイル	カーVP 75新設(掴み金物: SUS製新設)	⑳	バルコニー先端:コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高弾性ケルン塗膜防水(下端:水切テープ 取付)
⑦	既設人工芝マット撤去	タチマット 敷き 5,250×5,250(7巾込み)	⑭	メッシュフェンス:溶融亜鉛メッキ材 樹脂粉末塗装	クリニグ及び、塗装劣化部:下地調整の上DP塗	㉑	柱型カー:塩ビ鋼板 t=0.8	下地調整の上DP塗
備考	その他の項目は文字表記による。【 】表記は詳細図番号を示す。							

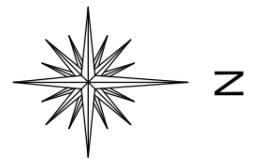
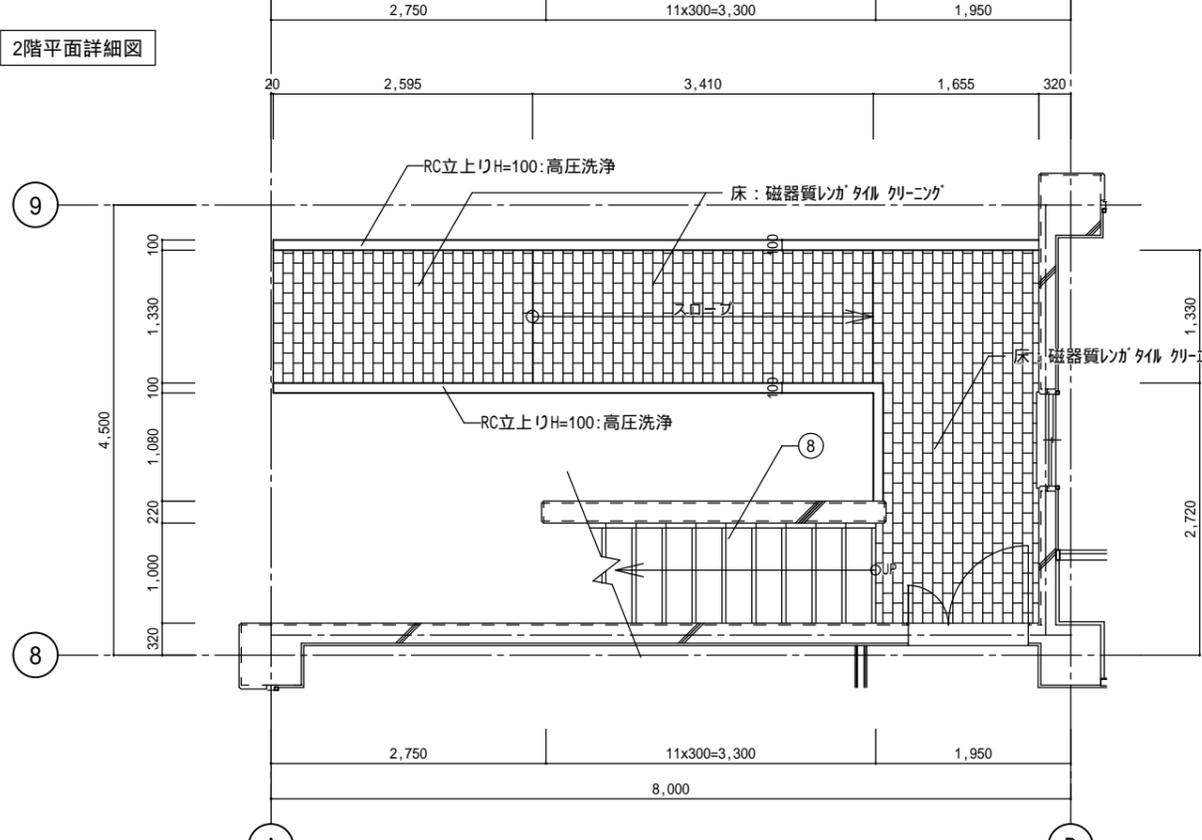
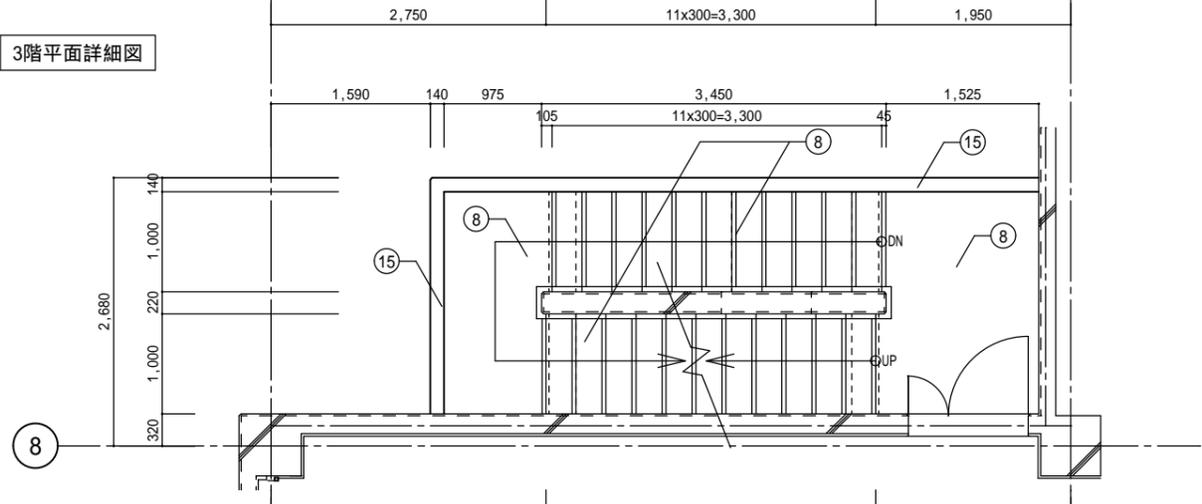
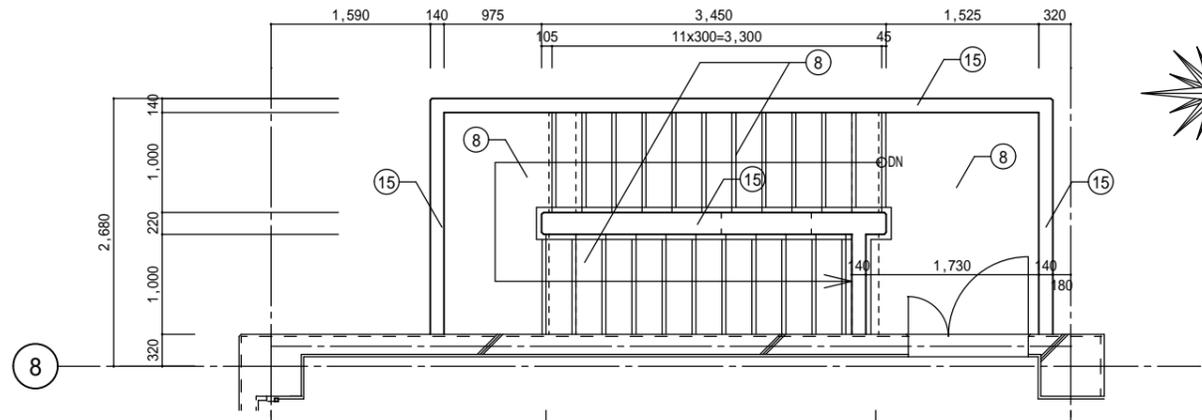


5通 - 6通 矩計図 1/50

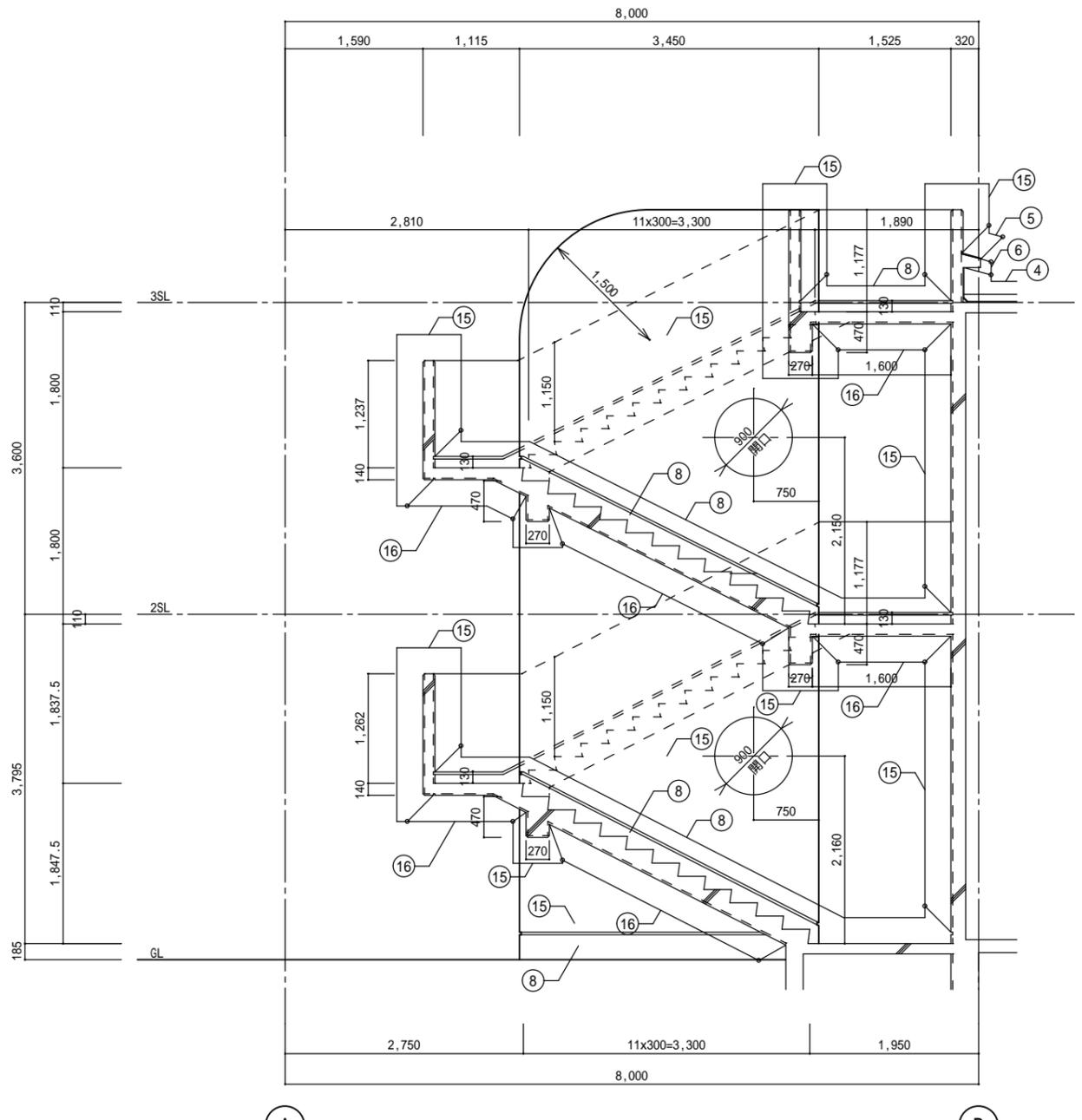


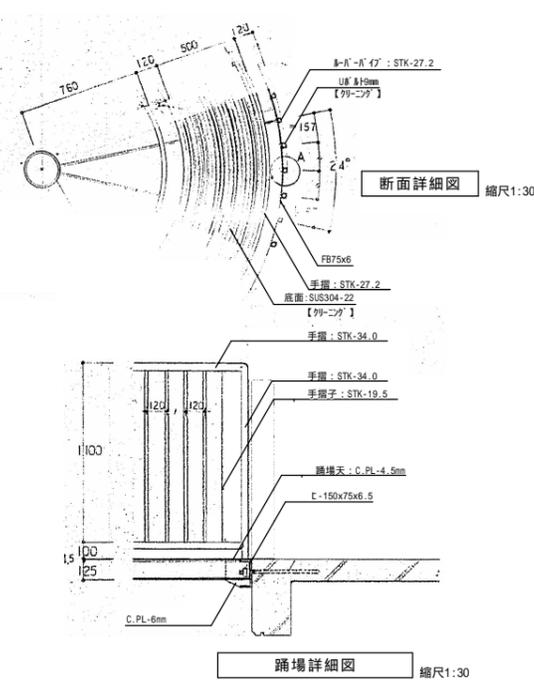
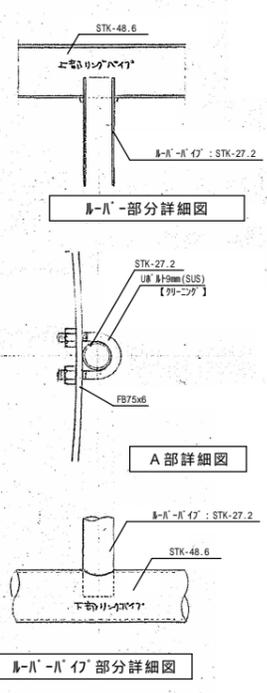
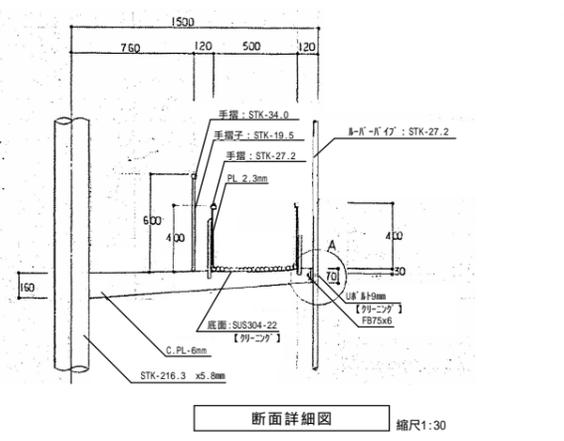
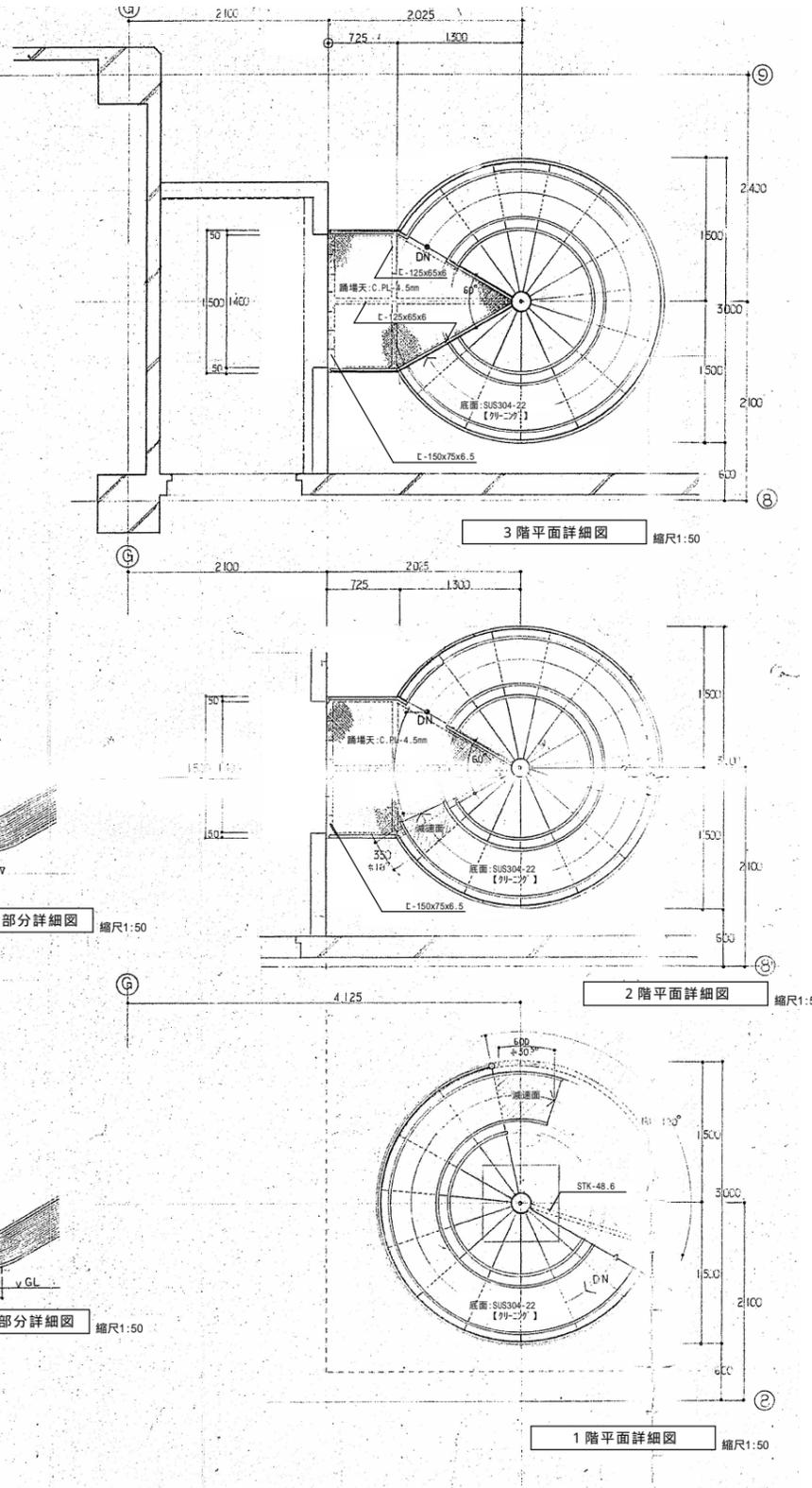
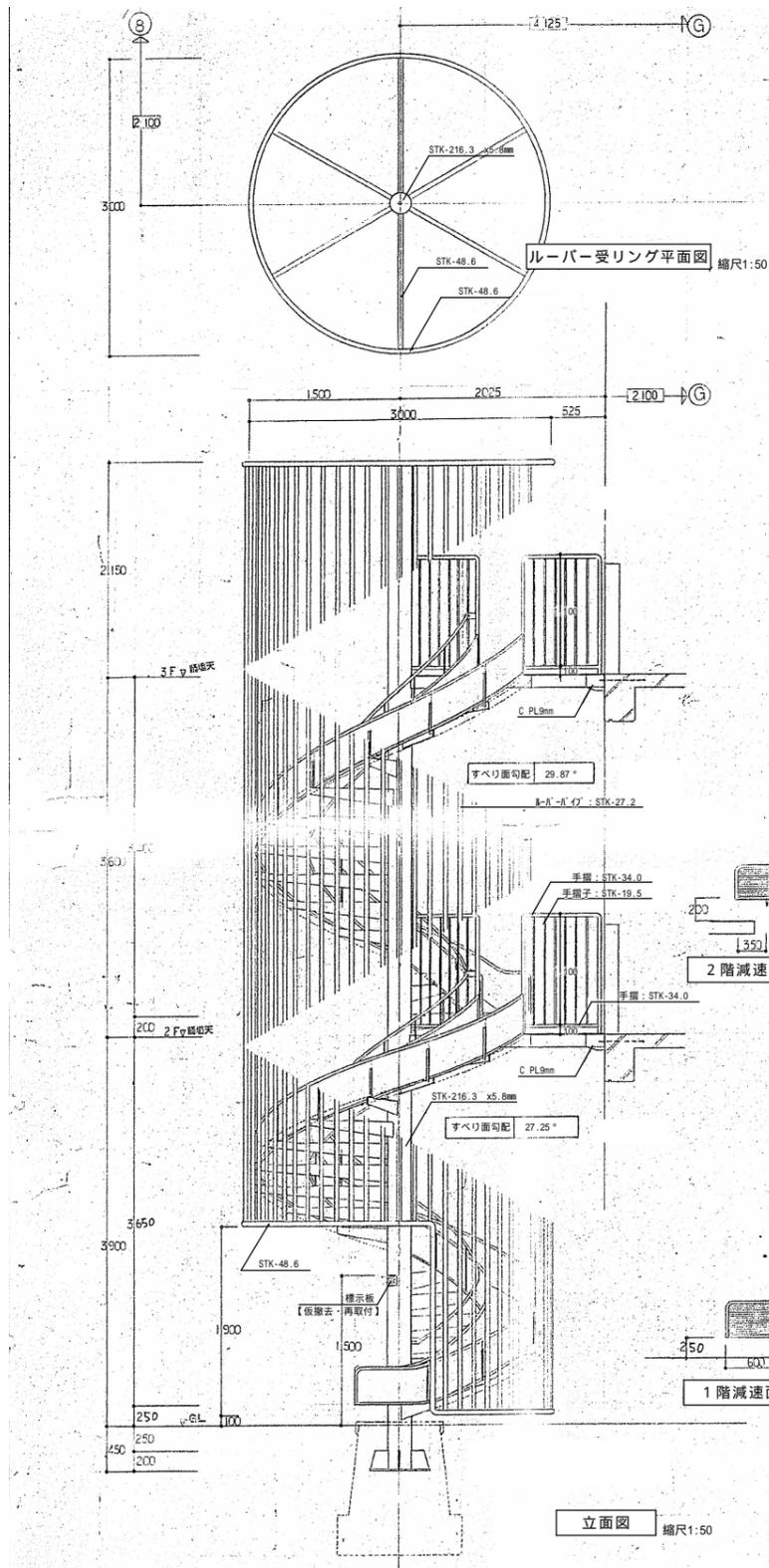
5通 - 6通 (塔屋)矩計図 1/50

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 23
			担当	担当		担当	
図面名称 (改修)矩計図 - 3							



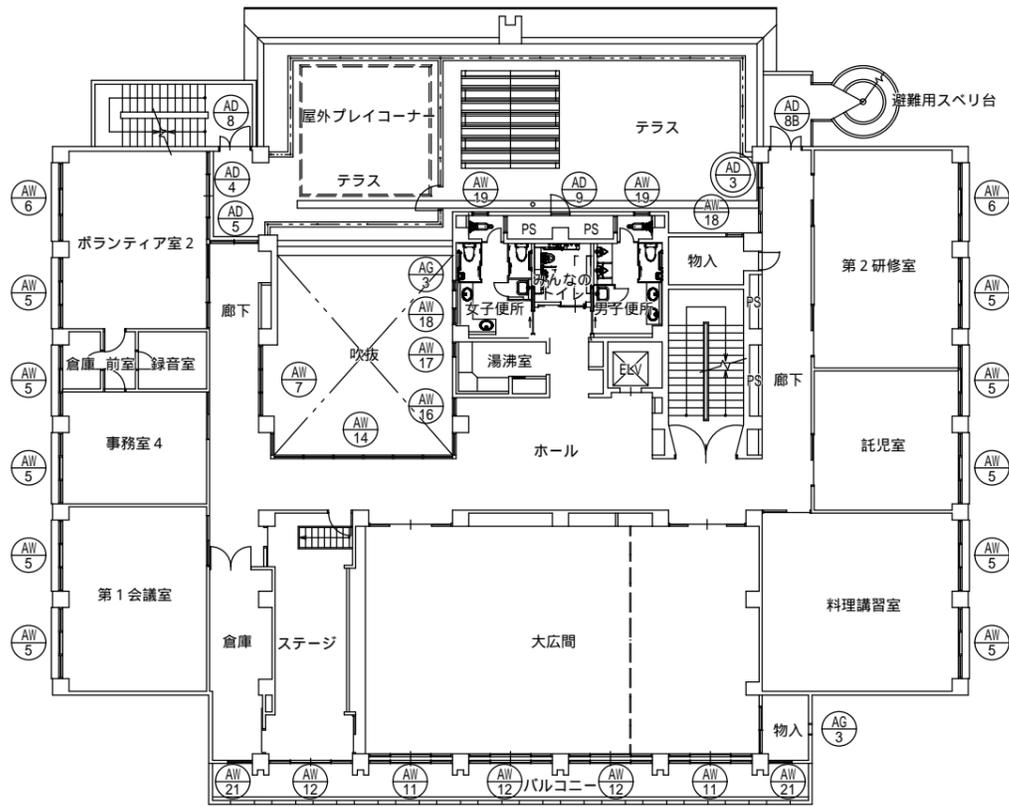
仕上凡例		
記号	仕上(改修前)	仕上(改修後)
④	屋根: 既存防水層	外清掃、高圧洗浄の上、外塗膜防水(X-2)
⑤	バルコニー屋根・棟屋: 外下地の上 銅板一文字葺	亜鉛合金板貼着工法 一文字葺(改修工法)新設
⑥	小庇・笠木: 外塗膜防水、面台: 防水外材コシ押し	下地調整の上外塗膜防水(X-2)
⑧	階段、バルコニー: 防水外材コシ押し、段鼻: ノスリッパタイル	高圧水洗浄
⑮	外壁: コンクリート打放しの上弾性吹付タイル	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上 可とう形改修塗材RE(さざ波状・シリコン樹脂)
⑯	軒裏・上げ裏: コンクリート打放しの上弾性リソ吹付	高圧水洗浄・下地補修及び下地調整の上外装薄塗材E
備考	その他項目は文字表記による	



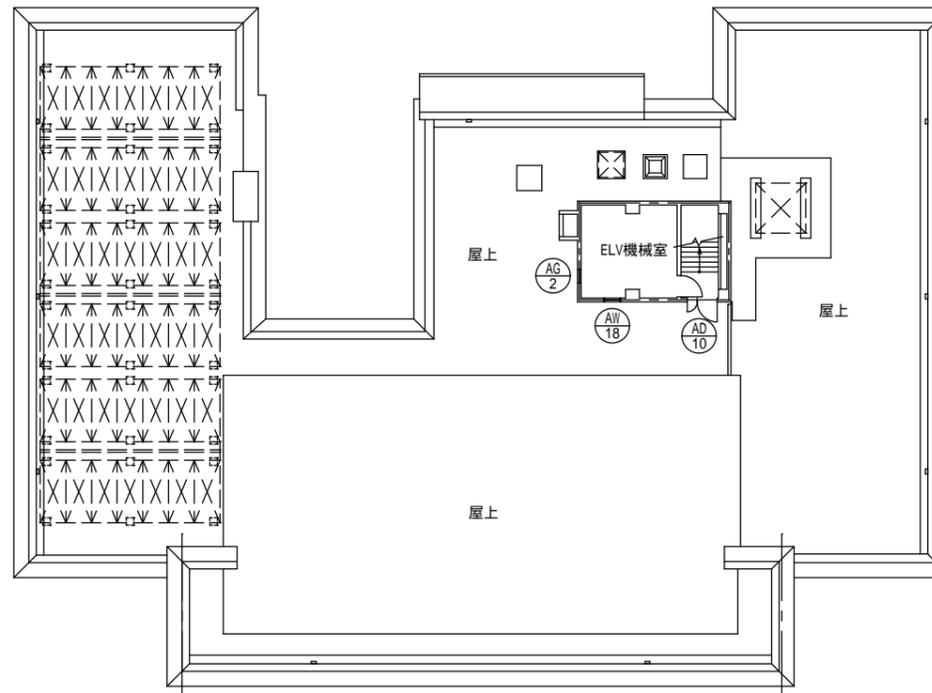


特記なきところは全て鉄部。下地調整の上坪塗とする。

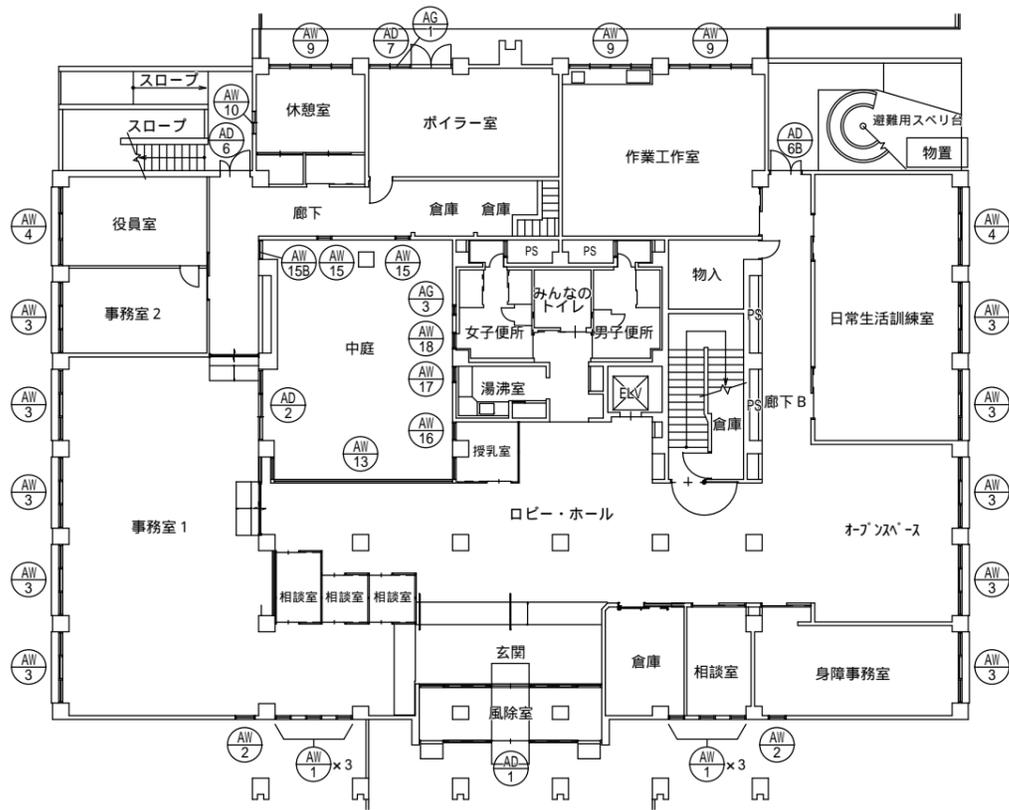
記 事	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎				校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A-25
					担当	担当		図面名称 (改修)避難用すべり台詳細図	



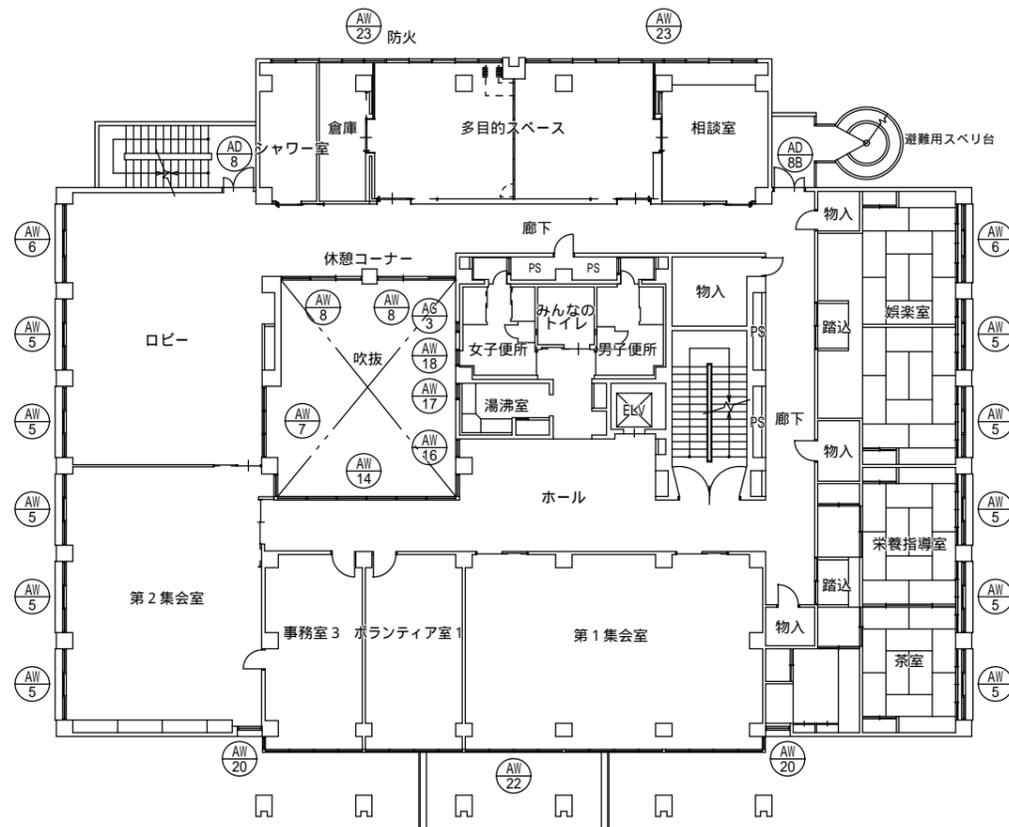
3階平面図 (改修)



R階平面図 (改修)



1階平面図 (改修)



2階平面図 (改修)

凡例	
記号	内容
(○)	新設建具(既存建具撤去も含む)
(○)	改修建具(クローキング、シーリング打替等)
その他は文字書き及び別図による。	



記 事	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎		校閲	主査	工事名称	宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日	図面番号
			担当	担当	図面名称	(改修)建具配置図	R06.03 縮尺 1/200	A - 26

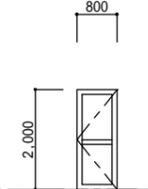
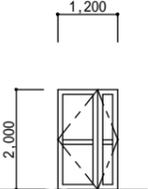
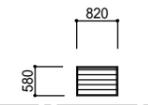
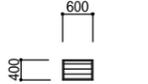
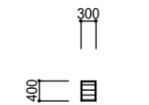
記号	形状			AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70																																																																																												
	寸法 (WxH)	枠種別	見込		600x1,490	900x1,490	2,780x1,665				3,080x1,665	2,780x1,565	場所				個数	1階: 玄関、売店、相談室	1階: 事務室1、身障事務室				1階: 事務室1、身障事務室、日常生活訓練室 他	1階: 役員室、日常生活訓練室	2階: 第1集会室、娯楽室他、3階: 第1会議室、料理講習室 他																																																																																														
姿図				FL				FL				FL				FL				FL	5D(5)																																																																																																		
仕上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ			アルミ																																																																																																										
ガラス	透明 t=3.0			透明 t=3.0			網入透明 t=6.8			網入透明 t=6.8			透明 t=3.0																																																																																																										
金物	排煙ハレター、付属金物一式			排煙ハレター、付属金物一式			戸車、クレット、アングル入、水切網戸、付属金物一式			戸車、クレット、アングル入、水切網戸、付属金物一式			クレット、アングル入、付属金物一式																																																																																																										
備考	-			-			-			-			-																																																																																																										
改修内容	建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング																																																																																																										
記号	形状			AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70																																																																																												
	寸法 (WxH)	枠種別	見込		3,080x1,565	2,780x2,330	3,155x2,330				3,280x1,665	900x900	場所				個数	2階: 北、娯楽室、3階: 第2研修室、*ラウンジ室2	2階: 北、3階: 廊下				2階廊下	1階: 作業工作室、休憩室	休憩室																																																																																														
姿図				FL				FL				FL				FL				FL	9B(2)																																																																																																		
仕上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ			アルミ																																																																																																										
ガラス	透明 t=3.0			透明 t=3.0			透明 t=3.0			線入型板 t=6.8、(9Bは線入透明 t=6.8)			網入型板 t=6.8																																																																																																										
金物	クレット、アングル入、付属金物一式			クレット、アングル入、付属金物一式			クレット、アングル入、付属金物一式			クレット、アングル入、付属金物一式			クレット、アングル入、付属金物一式																																																																																																										
備考	-			-			-			-			-																																																																																																										
改修内容	建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング																																																																																																										
記号	形状			AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70																																																																																												
	寸法 (WxH)	枠種別	見込		3,280x2,580	3,280x1,800	3,280x1,800				3,280x1,665	場所	個数				3階: 大広間	3階: 大広間、*ラウンジ	3階: 大広間、*ラウンジ				1階: 作業工作室、休憩室	休憩室																																																																																															
姿図				FL				FL				FL				FL				FL	9B(2)																																																																																																		
仕上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ			アルミ																																																																																																										
ガラス	透明 t=3.0			透明 t=3.0			透明 t=3.0			透明 t=3.0			透明 t=3.0																																																																																																										
金物	クレット、アングル入、付属金物一式			クレット、アングル入、付属金物一式			クレット、アングル入、付属金物一式			クレット、アングル入、付属金物一式			クレット、アングル入、付属金物一式																																																																																																										
備考	-			-			-			-			-																																																																																																										
改修内容	建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング			建具: 建具調整、クリーニング 建具枠: 周囲シーリング打替 (MS-2) ガラス: クリーニング																																																																																																										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">建具符号凡例</td> <td colspan="2">改修建具 (クレーン、塗替等)</td> <td colspan="2">新設建具</td> <td colspan="2">撤去建具</td> </tr> <tr> <td colspan="24"> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">建具の種類</th> </tr> <tr> <td>AW</td> <td>アルミ製窓</td> <td>SS</td> <td>鋼製シャッター</td> </tr> <tr> <td>AD</td> <td>アルミ製扉</td> <td>SF</td> <td>鋼製三方枠</td> </tr> <tr> <td>AG</td> <td>アルミ製ガラス</td> <td>SP</td> <td>鋼製間仕切</td> </tr> <tr> <td>LSD</td> <td>軽量鋼製建具</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD</td> <td>鋼製建具</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SFD</td> <td>鋼製建具</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="24"> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">特記事項</th> </tr> <tr> <td colspan="4">1. 既設建具寸法、形状等は、製作前に現地確認の事。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">2. 外観図・内観図の明記無き場合は内観図とする。</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>																								建具符号凡例		改修建具 (クレーン、塗替等)		新設建具		撤去建具		<table border="1"> <tr> <th colspan="4">建具の種類</th> </tr> <tr> <td>AW</td> <td>アルミ製窓</td> <td>SS</td> <td>鋼製シャッター</td> </tr> <tr> <td>AD</td> <td>アルミ製扉</td> <td>SF</td> <td>鋼製三方枠</td> </tr> <tr> <td>AG</td> <td>アルミ製ガラス</td> <td>SP</td> <td>鋼製間仕切</td> </tr> <tr> <td>LSD</td> <td>軽量鋼製建具</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD</td> <td>鋼製建具</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SFD</td> <td>鋼製建具</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																								建具の種類				AW	アルミ製窓	SS	鋼製シャッター	AD	アルミ製扉	SF	鋼製三方枠	AG	アルミ製ガラス	SP	鋼製間仕切	LSD	軽量鋼製建具			SD	鋼製建具			SFD	鋼製建具			<table border="1"> <tr> <th colspan="4">特記事項</th> </tr> <tr> <td colspan="4">1. 既設建具寸法、形状等は、製作前に現地確認の事。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">2. 外観図・内観図の明記無き場合は内観図とする。</td> </tr> </table>																								特記事項				1. 既設建具寸法、形状等は、製作前に現地確認の事。				2. 外観図・内観図の明記無き場合は内観図とする。			
建具符号凡例		改修建具 (クレーン、塗替等)		新設建具		撤去建具																																																																																																																	
<table border="1"> <tr> <th colspan="4">建具の種類</th> </tr> <tr> <td>AW</td> <td>アルミ製窓</td> <td>SS</td> <td>鋼製シャッター</td> </tr> <tr> <td>AD</td> <td>アルミ製扉</td> <td>SF</td> <td>鋼製三方枠</td> </tr> <tr> <td>AG</td> <td>アルミ製ガラス</td> <td>SP</td> <td>鋼製間仕切</td> </tr> <tr> <td>LSD</td> <td>軽量鋼製建具</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD</td> <td>鋼製建具</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SFD</td> <td>鋼製建具</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																								建具の種類				AW	アルミ製窓	SS	鋼製シャッター	AD	アルミ製扉	SF	鋼製三方枠	AG	アルミ製ガラス	SP	鋼製間仕切	LSD	軽量鋼製建具			SD	鋼製建具			SFD	鋼製建具																																																																						
建具の種類																																																																																																																							
AW	アルミ製窓	SS	鋼製シャッター																																																																																																																				
AD	アルミ製扉	SF	鋼製三方枠																																																																																																																				
AG	アルミ製ガラス	SP	鋼製間仕切																																																																																																																				
LSD	軽量鋼製建具																																																																																																																						
SD	鋼製建具																																																																																																																						
SFD	鋼製建具																																																																																																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="4">特記事項</th> </tr> <tr> <td colspan="4">1. 既設建具寸法、形状等は、製作前に現地確認の事。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">2. 外観図・内観図の明記無き場合は内観図とする。</td> </tr> </table>																								特記事項				1. 既設建具寸法、形状等は、製作前に現地確認の事。				2. 外観図・内観図の明記無き場合は内観図とする。																																																																																							
特記事項																																																																																																																							
1. 既設建具寸法、形状等は、製作前に現地確認の事。																																																																																																																							
2. 外観図・内観図の明記無き場合は内観図とする。																																																																																																																							

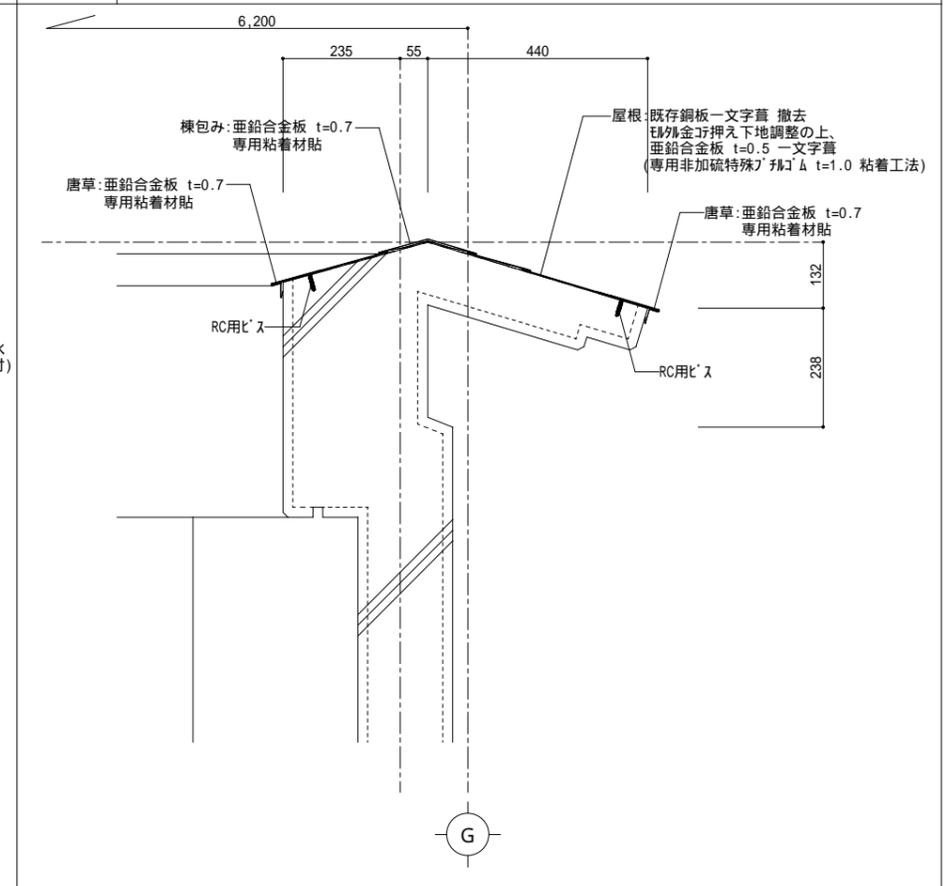
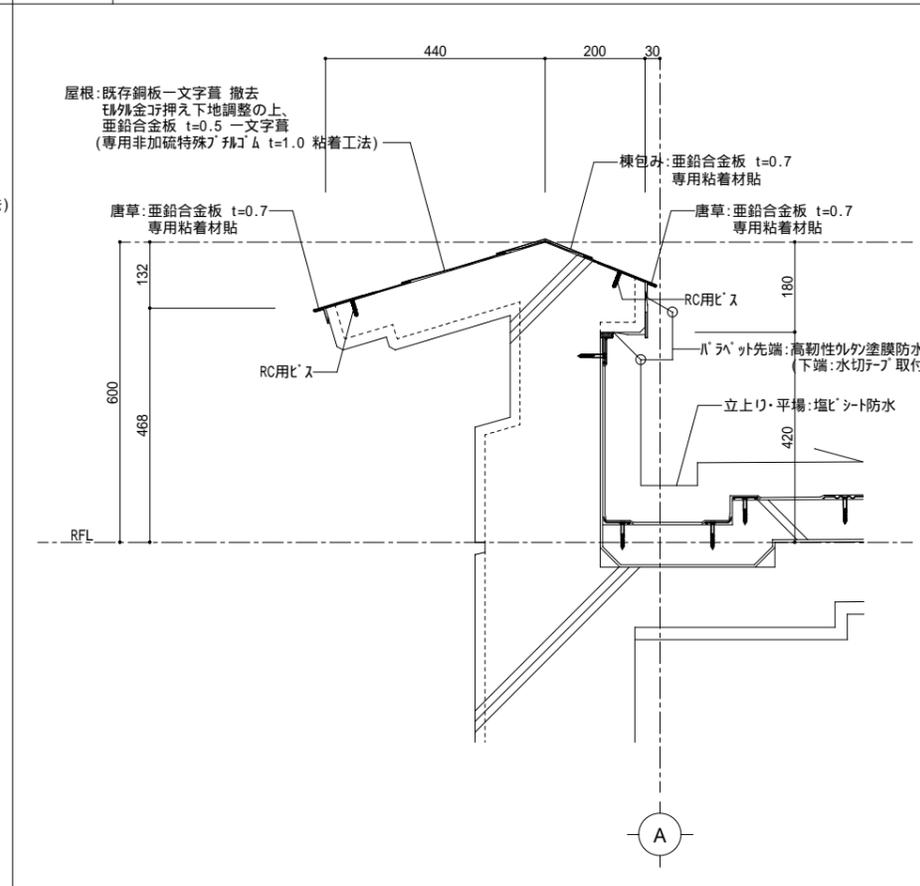
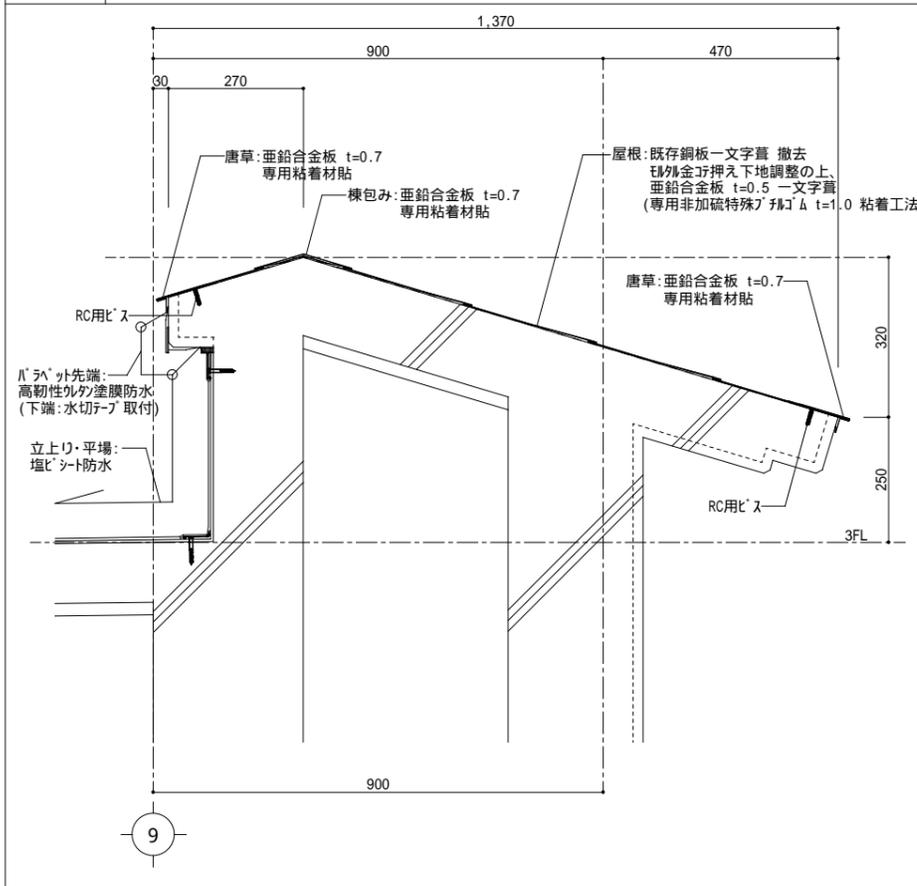
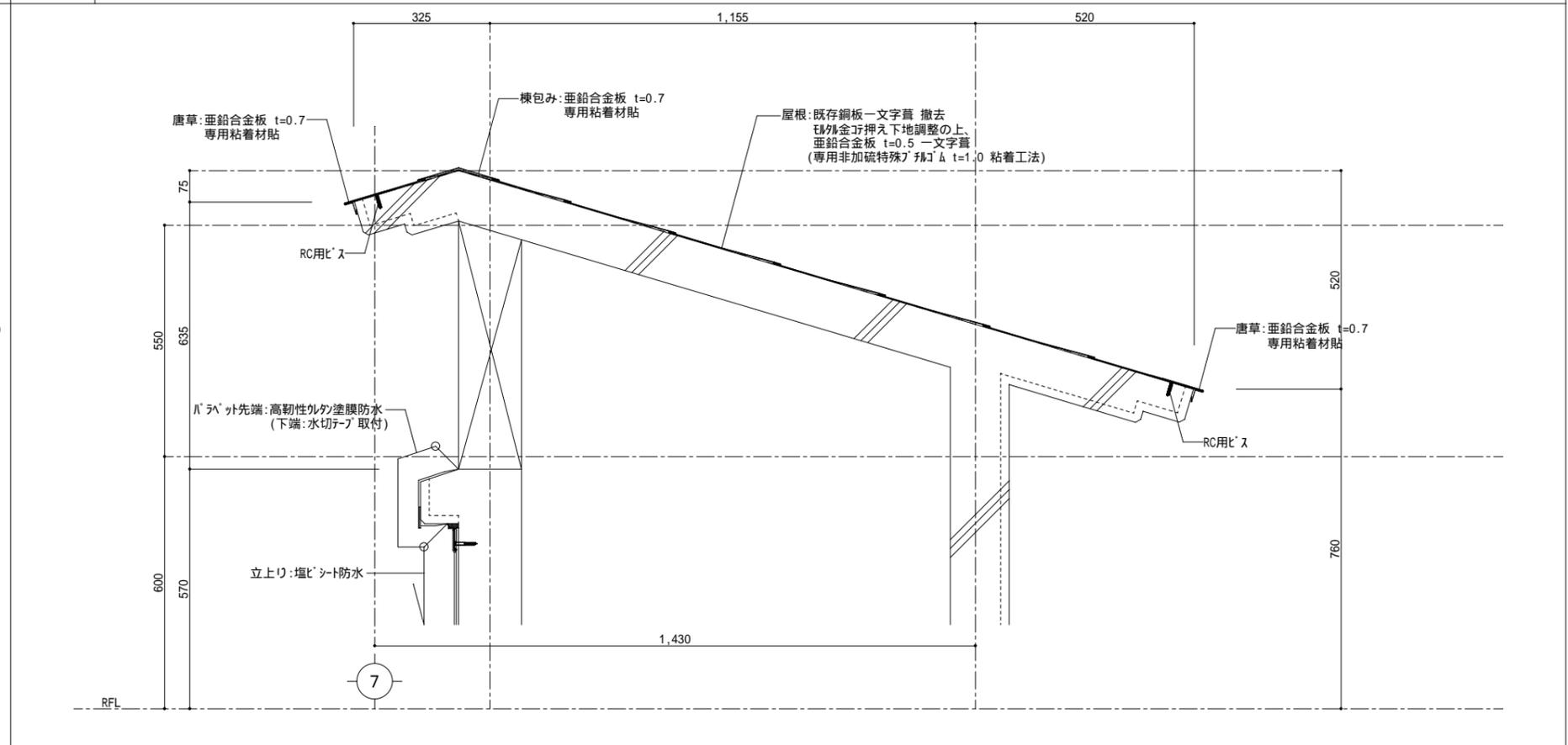
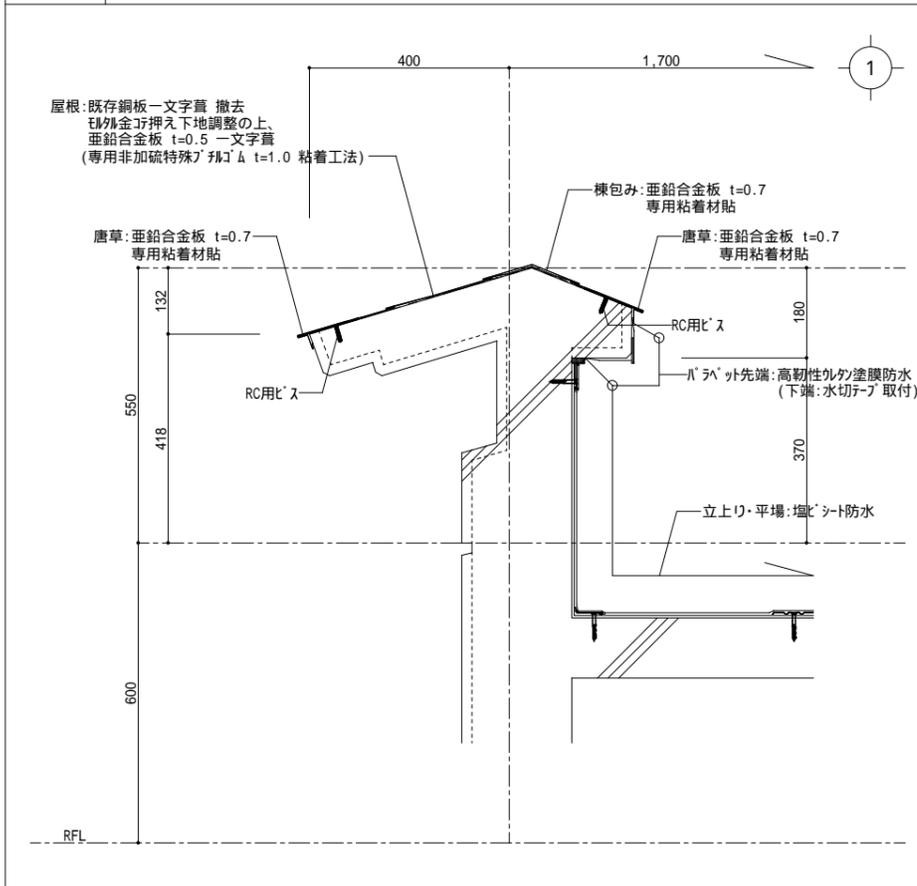
記号	形状			AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70
	寸法 (WxH)	枠種別	見込		9,216x2,565	9,216x2,330	750x1,365 (15B:775x1,365)				775x1,365	1階:ピロー・ホール	2階:廊下、3階:廊下				1階:廊下	775x1,365	1階:廊下				1	2	2		
場所	個数	1			1			2			2			1													
姿図																											
仕上	アルミ 電着着色																										
ガラス	網入透明 t=6.8																										
金物	戸車、外レフト、アングル、網戸、排煙バルベータ、付属金物一式																										
備考	-																										
改修内容	建具:建具調整、クリーニング 建具枠:周囲シーリング打替(MS-2)																										
記号	形状			AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70
	寸法 (WxH)	枠種別	見込		670x1,300	600x1,300	600x1,600				600x600	890x1,555	1階・2階・3階:ホール				1階・2階・3階:湯沸室	1階・2階・3階:便所、3階:物入、R階:ELV機械室	3階:男子便所・女子便所				890x1,555	2階:第2集会室、茶室			
場所	個数	3			3			5			2			2													
姿図																											
仕上	アルミ																										
ガラス	線入透明 t=6.8																										
金物	排煙バルベータ、付属金物一式																										
備考	-																										
改修内容	建具:建具調整、クリーニング 建具枠:周囲シーリング打替(MS-2)																										
記号	形状			AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70	AW	アルミ製窓			RC	70
	寸法 (WxH)	枠種別	見込		900x1,800	20,586x1,565	900x1,800				20,586x1,565	900x1,800	20,586x1,565				3階:倉庫、物入	2階:第1集会室、ボランティア室1、事務室3	3階:倉庫、物入				2階:第1集会室、ボランティア室1、事務室3	900x1,800	20,586x1,565		
場所	個数	2			2			1			1			1													
姿図																											
仕上	アルミ																										
ガラス	透明 t=3.0																										
金物	付属金物一式																										
備考	-																										
改修内容	建具:建具調整、クリーニング 建具枠:周囲シーリング打替(MS-2)																										

記 事	校閲		主査		工事名称	宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 28	
	担当	担当	担当	担当					図面名称
株式会社 前田都市設計		一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎							

記号	形状			AW 23	AW 23	アルミ製窓			RC	70	AD 1	アルミ製引戸			RC	70	AD 2	アルミ製引違い戸+排煙窓			RC	70						
	寸法(WxH)	枠種別	見込			9,270x1,965	2階多目的スペース	2				7,220x2,150	1階:風除室	1				2,780x2,600	1階:事務室	1								
	場所	個数	令和6年度改修建具																									
姿図																												
仕上	アルミ 電解着色																											
ガラス	網入透明 t=6.8 (AW-23、AW-23防火 共通)																											
金物	ルベト、アングル、網戸、付属金物一式																											
備考	-																											
改修内容	建具:建具調整、クリーニング 建具枠:周囲シーリング打替(MS-2)																											
記号	形状			AD 3	AD 3	アルミ製引違い戸+Fix窓			RC	70	AD 4	アルミ製引違い戸			RC	70	AD 5	アルミ製引違い戸			RC	70	AD 6	アルミ製親子扉			RC	70
	寸法(WxH)	枠種別	見込			2,900x2,465	3階:廊下	1				3,575x2,365	3階:ポランテア室2	1				1,945x2,365	3階:廊下	1				1,300x2,000	1階:廊下	1		
	場所	個数	令和6年度改修建具																									
姿図																												
仕上	アルミ 電解着色																											
ガラス	線入透明 t=6.8																											
金物	戸車、ルベト、アングル、網戸、付属金物一式																											
備考	-																											
改修内容	撤去(枠共) 3階屋上防水改修平面図も参照のこと																											
記号	形状			AD 6B	AD 7	アルミ製親子扉			RC	70	AD 8	アルミ製親子扉			RC	70	AD 8B	アルミ製親子扉			RC	70						
	寸法(WxH)	枠種別	見込			1,300x2,000	1階:廊下B	1				3,320x2,630	1階:ポイラー室	1				1,300x2,000	2階:廊下、01、3階:廊下	2			1,300x2,000	2階:廊下、3階:廊下	2			
	場所	個数	令和6年度改修建具																									
姿図																												
仕上	アルミ																											
ガラス	線入透明 t=6.8																											
金物	握玉、シリカゲル錠、DC、戸当り、網戸(1Fのみ)																											
備考	-																											
改修内容	建具:建具調整、クリーニング 建具枠:周囲シーリング打替(MS-2) ガラス:クリーニング																											

記 事	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎										校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A-29
	担当		担当		担当		担当		担当		図面名称 (改修)建具リスト-3		縮尺 1/100				

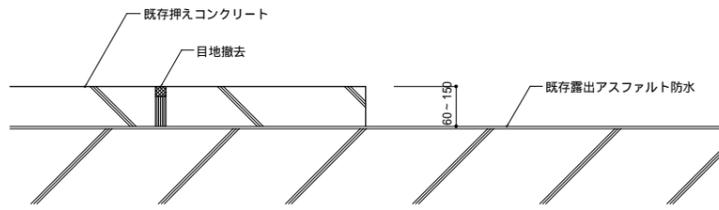
記号	形状			AD 9	アルミ製扉			AD 10	アルミ製親子扉			AG 1	アルミ製ガラリ			AG 2	アルミ製ガラリ			AG 3	アルミ製ガラリ		
	寸法 (WxH)	枠種別	見込		RC	70	RC		70	RC	70		RC	70	RC		70	RC	70		RC	70	
	場所		個数		800x2,000		1		1,200x2,000		1		820x580		1		600x400		1		300x400		4
					3階:便所PS				R階:階段室				1階:ボイラー室				R階:EV機械室				1階・2階・3階:便所、3階:物入		
	姿図																						
	仕上	アルミ			アルミ			アルミ			アルミ			アルミ									
	ガラス	線入型板 t=6.8			線入型板 t=6.8			-			-			-									
	金物	握玉、シリンダ錠、DC			握玉、シリンダ錠、DC、戸当り			-			-			-									
	備考	-			-			-			-			-									
	改修内容	建具:建具調整、クリーニング 建具枠:周囲シーリング打替(MS-2) ガラス:クリーニング			建具:建具調整、クリーニング 建具枠:周囲シーリング打替(MS-2) ガラス:クリーニング			建具:クリーニング 建具枠:周囲シーリング打替(MS-2)			建具:クリーニング 建具枠:周囲シーリング打替(MS-2)			建具:クリーニング 建具枠:周囲シーリング打替(MS-2)									
記号	形状			AD 9	アルミ製扉			AD 10	アルミ製親子扉			AG 1	アルミ製ガラリ			AG 2	アルミ製ガラリ			AG 3	アルミ製ガラリ		
	寸法 (WxH)	枠種別	見込		RC	70	RC		70	RC	70		RC	70	RC		70	RC	70		RC	70	
	場所		個数																				
	姿図																						
	仕上																						
	ガラス																						
	金物																						
	備考																						
	改修内容																						



記 事	株式会社 前田都市設計		校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A-31
	一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎		担当	担当		縮尺 1/10	
					図面名称	屋根各部詳細図	

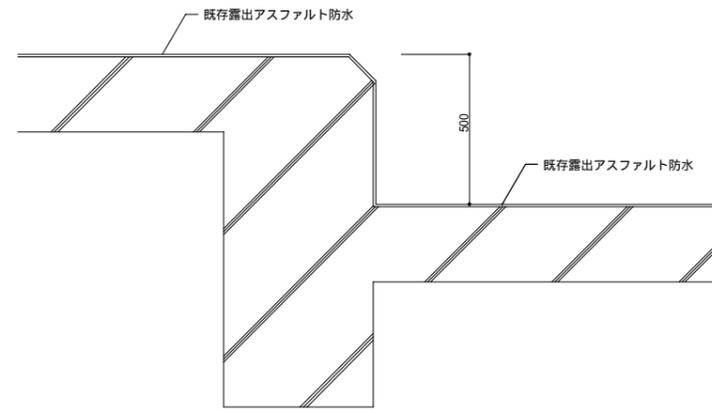
【現況】防水部・歩行部・機械基礎部

1/10



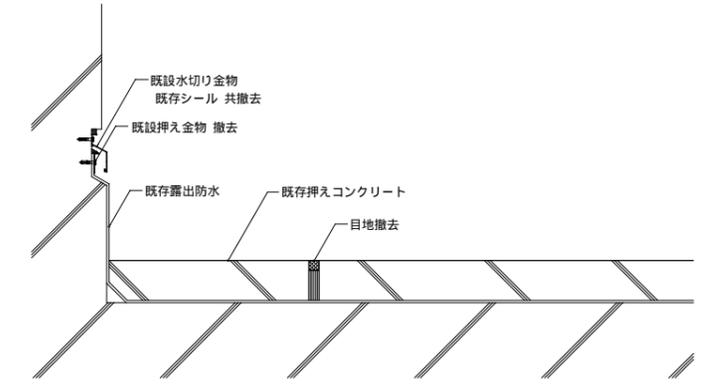
【現況】防水立上り部

1/10



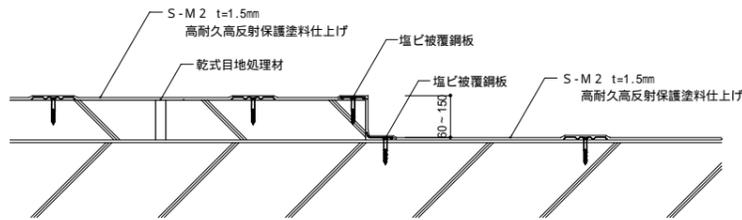
【現況】建物立上り部

1/10



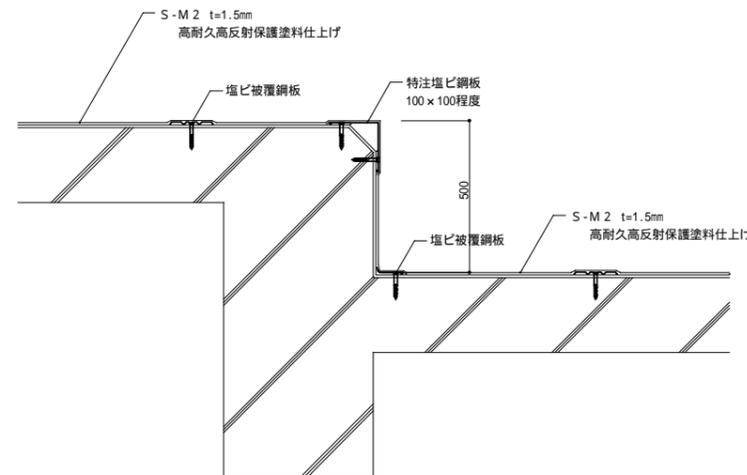
【防D-1】【改修】防水部・歩行部・機械基礎部

1/10



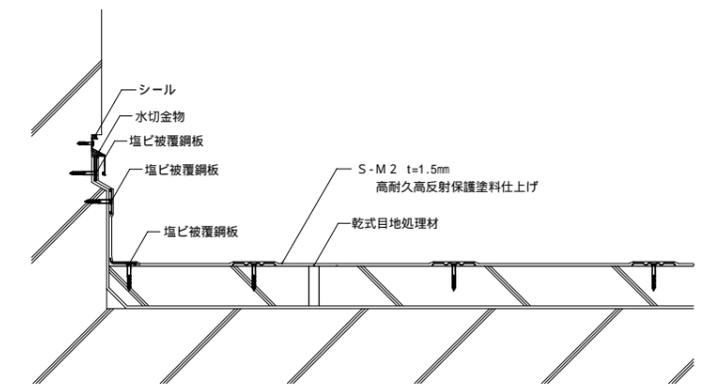
【防D-2】【改修】防水立上り部

1/10



【防D-3】【改修】建物立上り部

1/10



記事



株式会社 前田都市設計
 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎

校閲

主査

担当

担当

担当

担当

工事名称

宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)

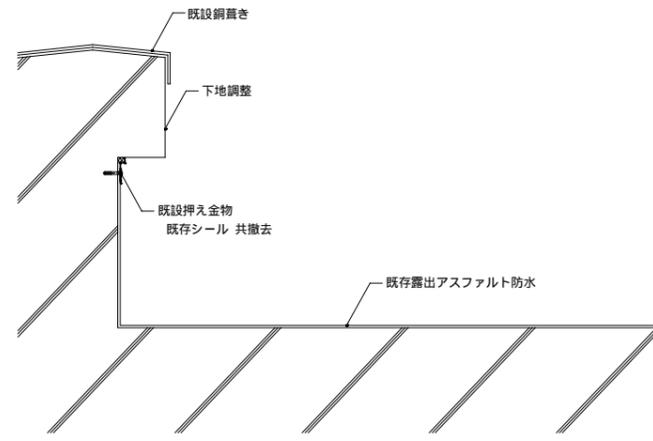
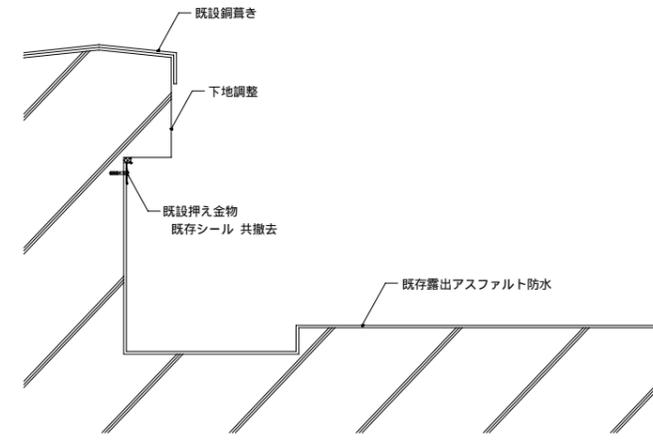
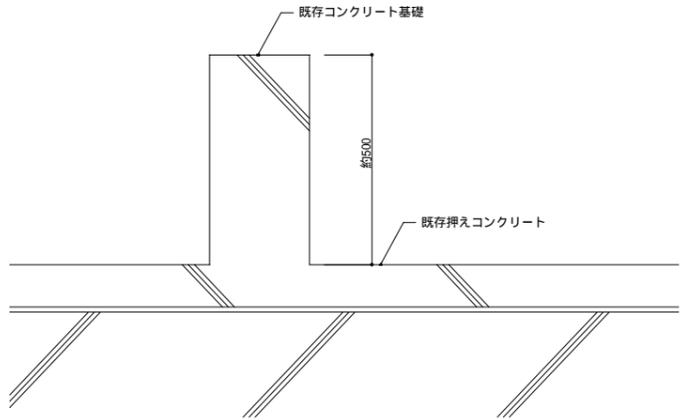
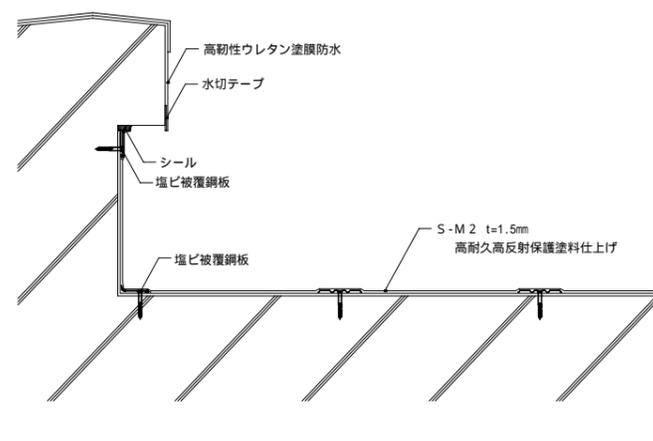
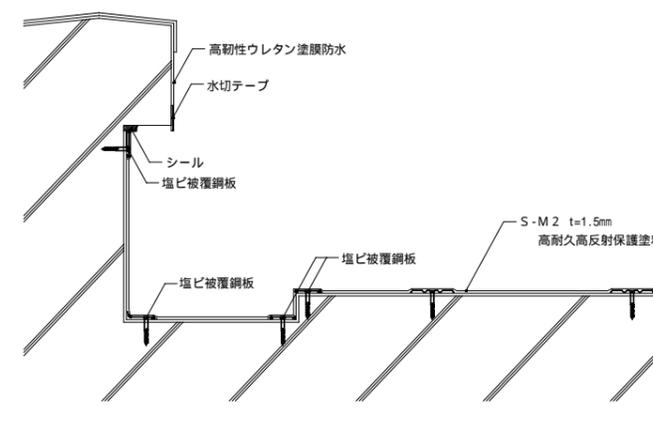
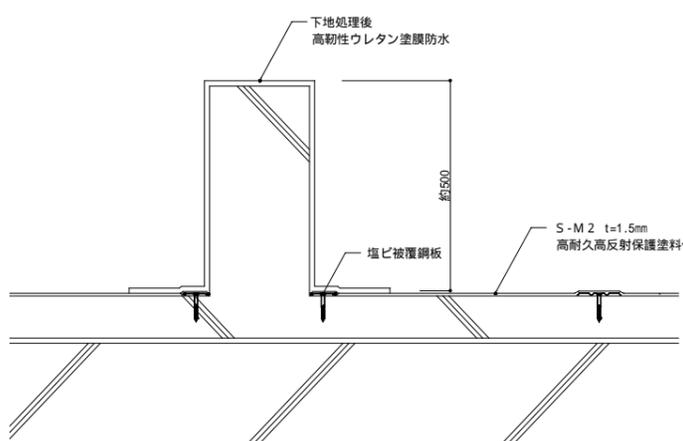
図面名称

防水各部詳細図 - 1

作成年月日
R06.03

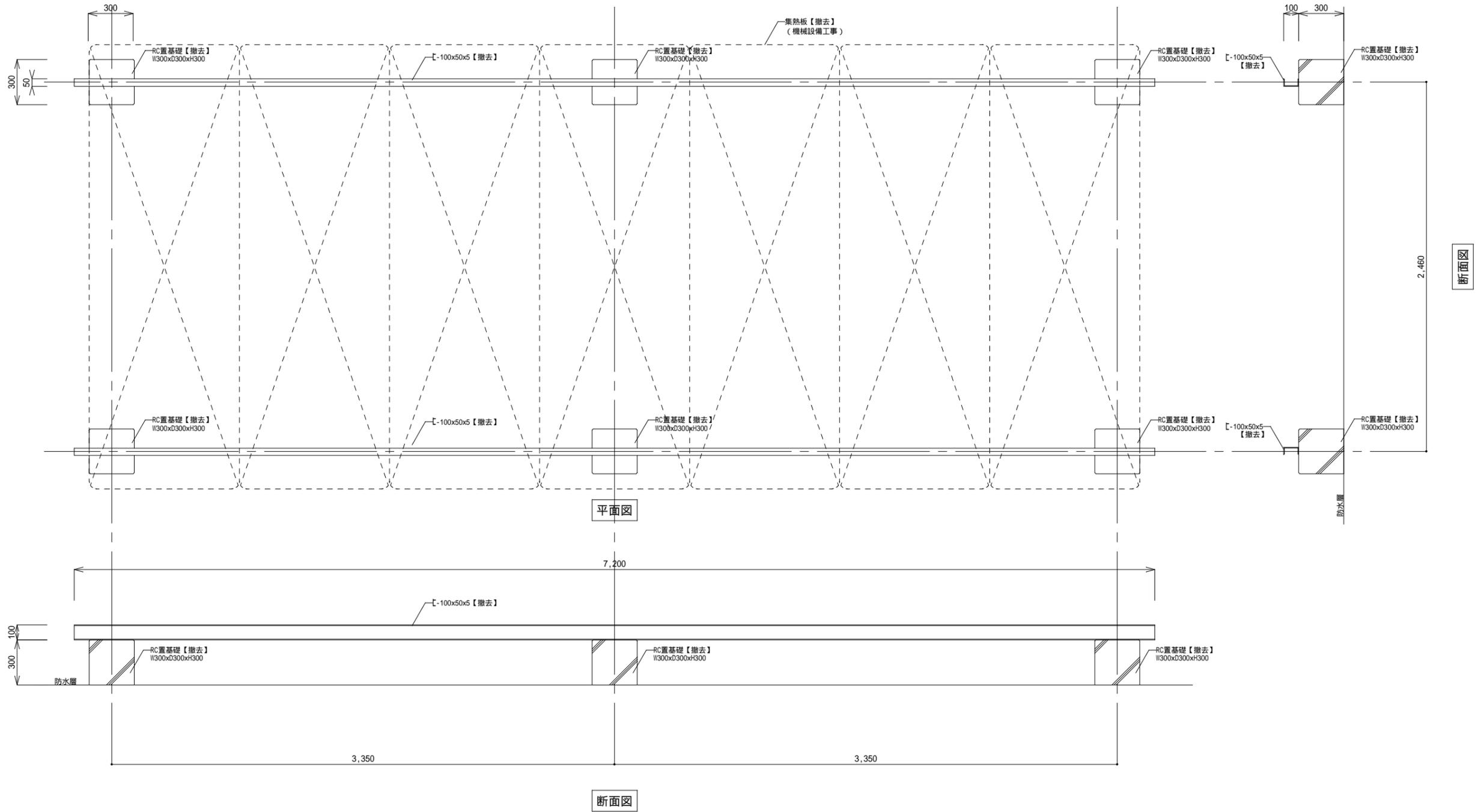
縮尺
図示

図面番号
A - 3 2

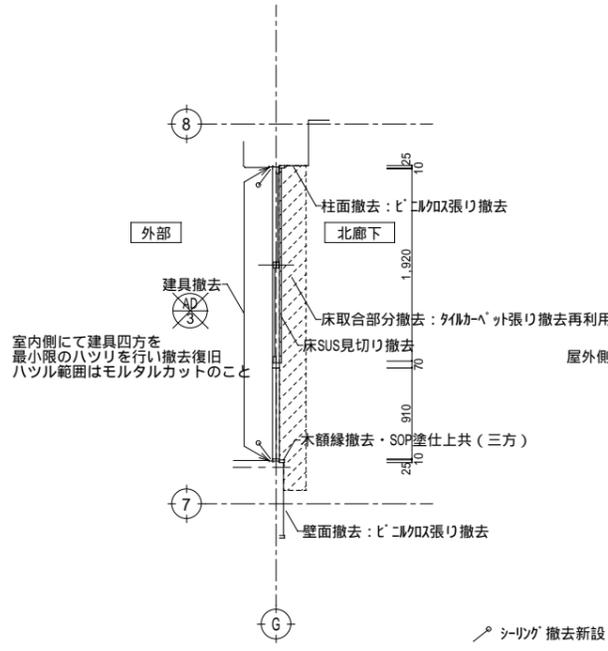
<p>【現況】パラペット立上り部（側溝無し）</p> <p>1/10</p> 	<p>【現況】パラペット立上り部（側溝有り）</p> <p>1/10</p> 	<p>【現況】機械設備基礎部</p> <p>1/10</p> 
<p>【防D-4】【改修】パラペット立上り部（側溝無し）</p> <p>1/10</p> 	<p>【防D-5】【改修】パラペット立上り部（側溝有り）</p> <p>1/10</p> 	<p>【防D-6】【改修】機械設備基礎部</p> <p>1/10</p> 

記 事	MAEDA	<p>株式会社 前田都市設計</p> <p>一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲		主査		<p>工事名称</p> <p>宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)</p>	<p>作成年月日</p> <p>R06.03</p>	<p>図面番号</p> <p>A - 3 3</p>
				担当	担当	担当			

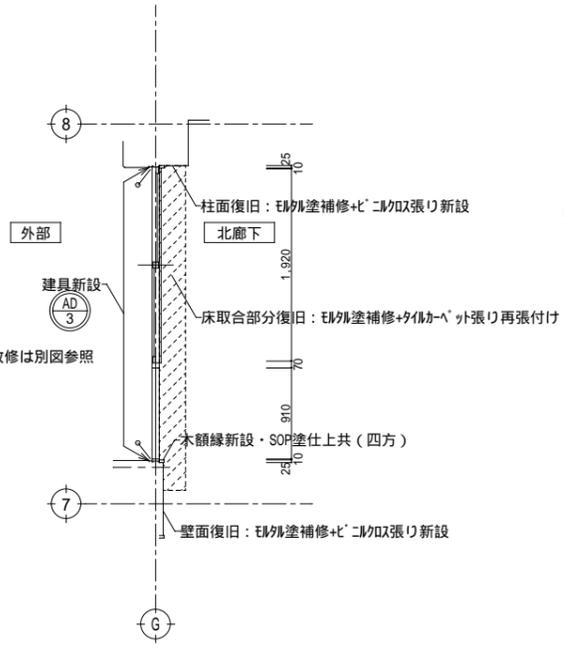
図面名称	防水各部詳細図 - 2
------	-------------



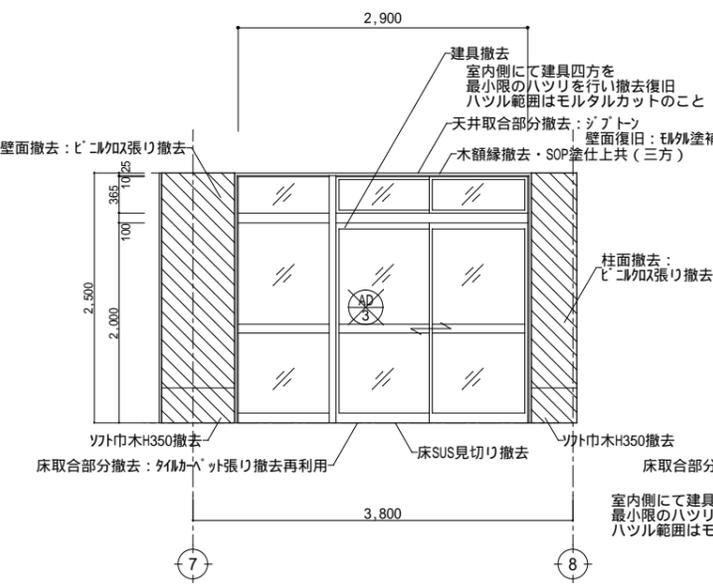
記 事	MAEDA		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 3 4
				担当	担当	担当	担当			



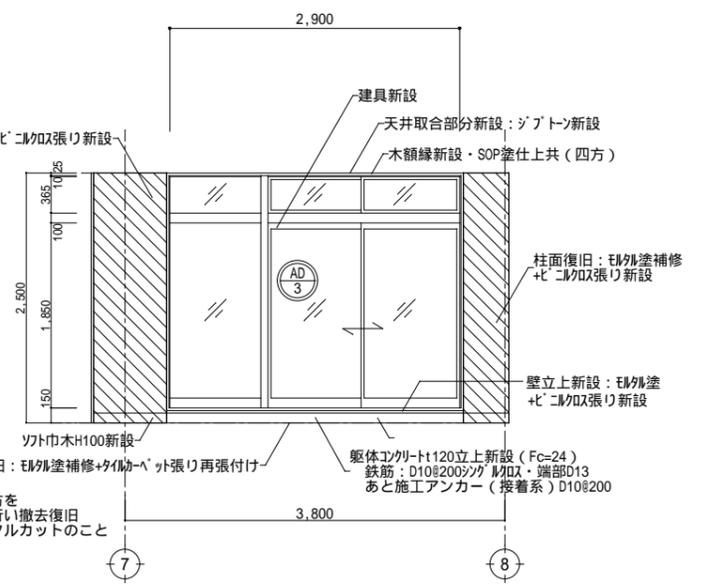
3F北廊下-テラス平面図 (撤去図) 1/50



3F北廊下-テラス平面図 (改修図) 1/50



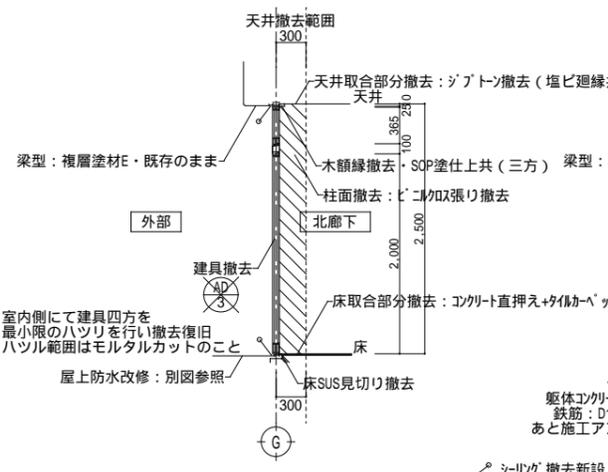
3F北廊下展開図 (撤去図) 1/50



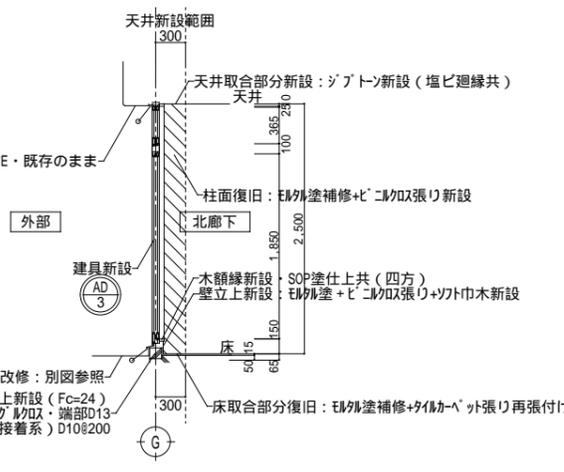
3F北廊下展開図 (改修図) 1/50

記号	AD 3	2枚引違い戸 + FIX	撤去	1
数量				
見込	70			
材質	アルミ			
枠材質	アルミ			
ガラス	線入磨板ガラス t=6.8			
仕上	電解着色			
付属金物	クレイト・アングル・ス・付属金物一式			
備考				

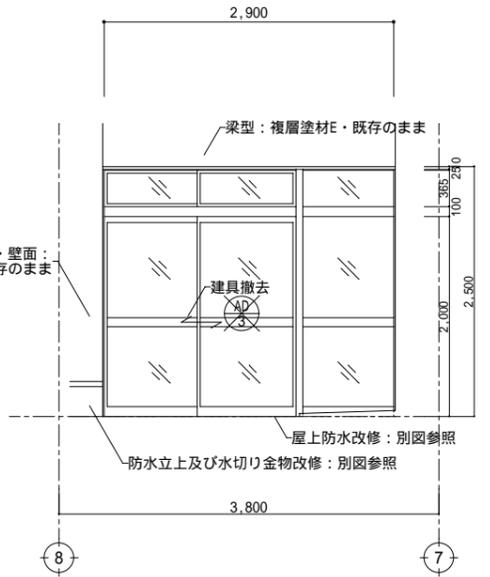
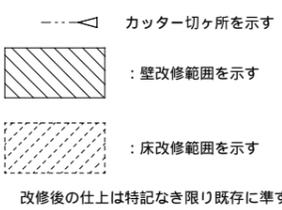
記号	AD 3	2枚引違い戸 + FIX	新設	1
数量				
見込	70			
材質	アルミ			
枠材質	アルミ			
ガラス	線入磨板ガラス t=6.8			
仕上	電解着色			
付属金物	クレイト・アングル・ス・付属金物一式			
備考				



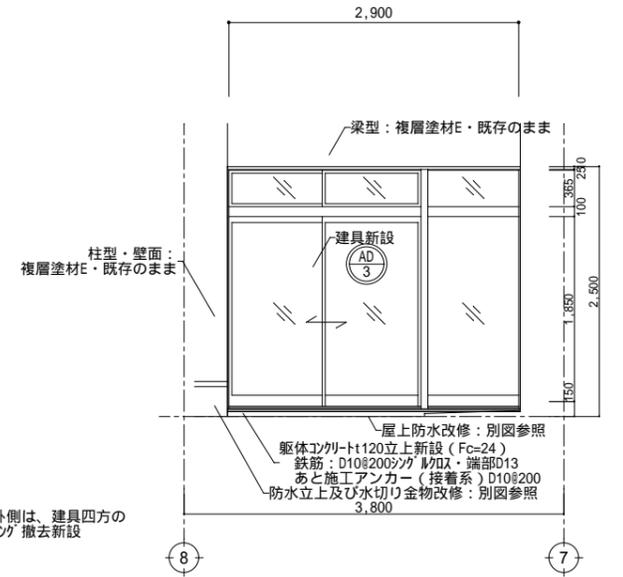
3F北廊下-テラス断面図 (撤去図) 1/50



3F北廊下-テラス断面図 (改修図) 1/50



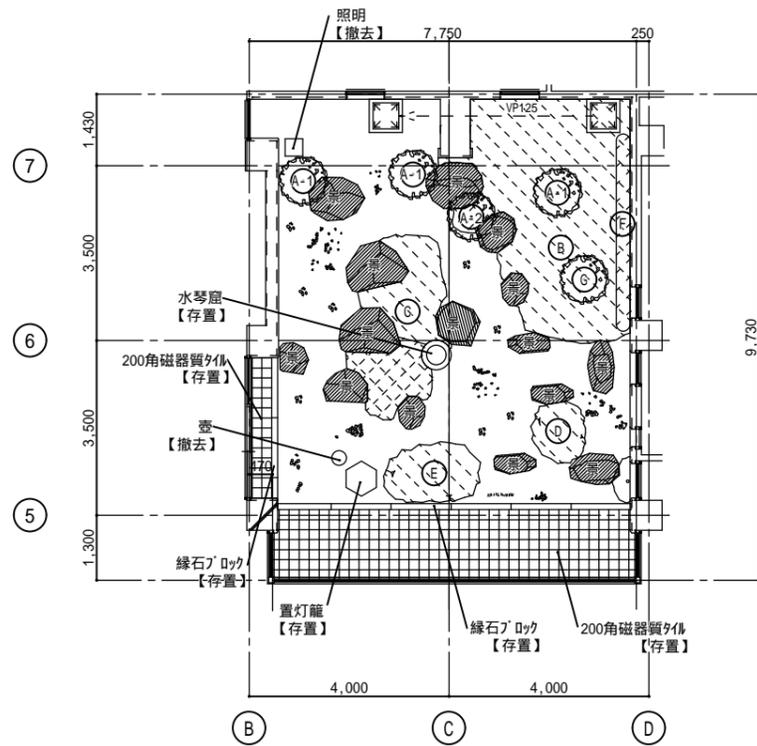
3F外部展開図 (撤去図) 1/50



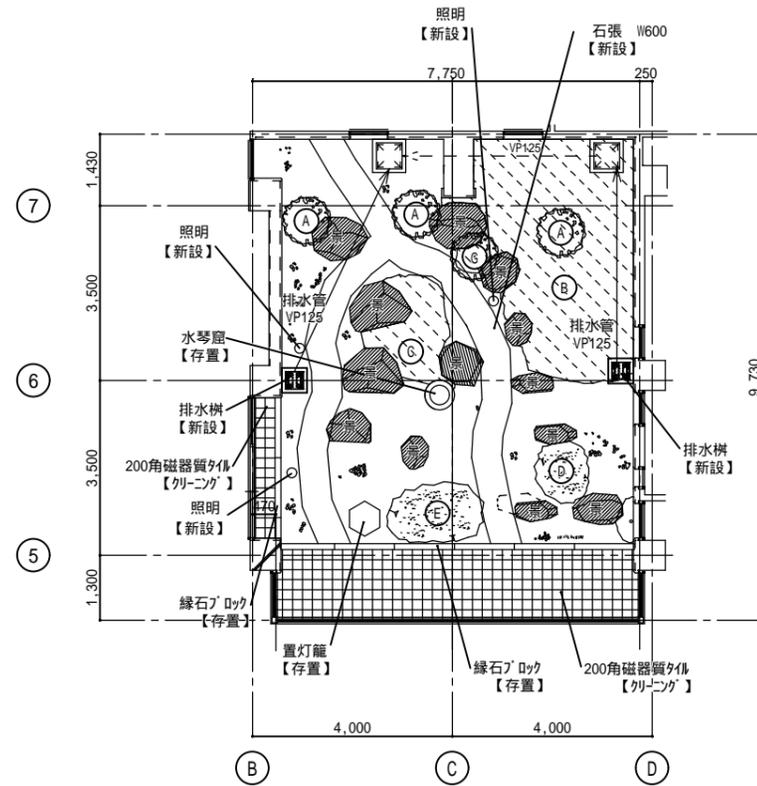
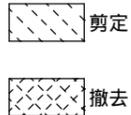
3F外部展開図 (改修図) 1/50

番号	項目	種別	見え掛り寸法(WxDxH)
	景石	撤去	600 x 500 x 250
	景石	移設	800 x 600 x 400
	景石	存置	600 x 400 x 250
	景石	存置	1100 x 800 x 800
	景石	移設	900 x 600 x 600
	景石	存置	1000 x 900 x 1000
	景石	存置	700 x 600 x 500
	景石	移設	700 x 400 x 150
	景石	存置	700 x 400 x 300
	景石	移設	700 x 350 x 200
	景石	存置	900 x 600 x 300
	景石	存置	1200 x 700 x 250
	景石	存置	1000 x 700 x 200
	景石	存置	300 x 300 x 150
	景石	撤去	1000 x 450 x 450

番号	樹種	種別	高さ	葉張り	本数
A-1	中木	剪定	2.5	1.5	中木(3本)
A-2	中木	伐採	2.5	1.5	中木(1本)
B	シダ系	剪定	0.5	0.4	低木(12.9㎡)
C	シダ系	一部撤去 剪定	0.5	0.4	低木(5.4㎡)
D	ササガ	剪定	0.5	0.4	低木(1.5㎡)
E	ササガ	剪定	0.5	0.4	低木(2.0㎡)
F	笹	撤去	1.5	0.4	低木(2.5㎡)
G	ミズ	移設	2.5	1.5	中木(1本)



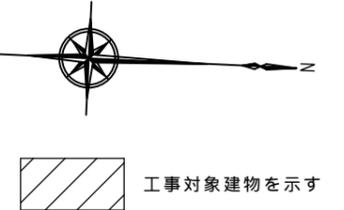
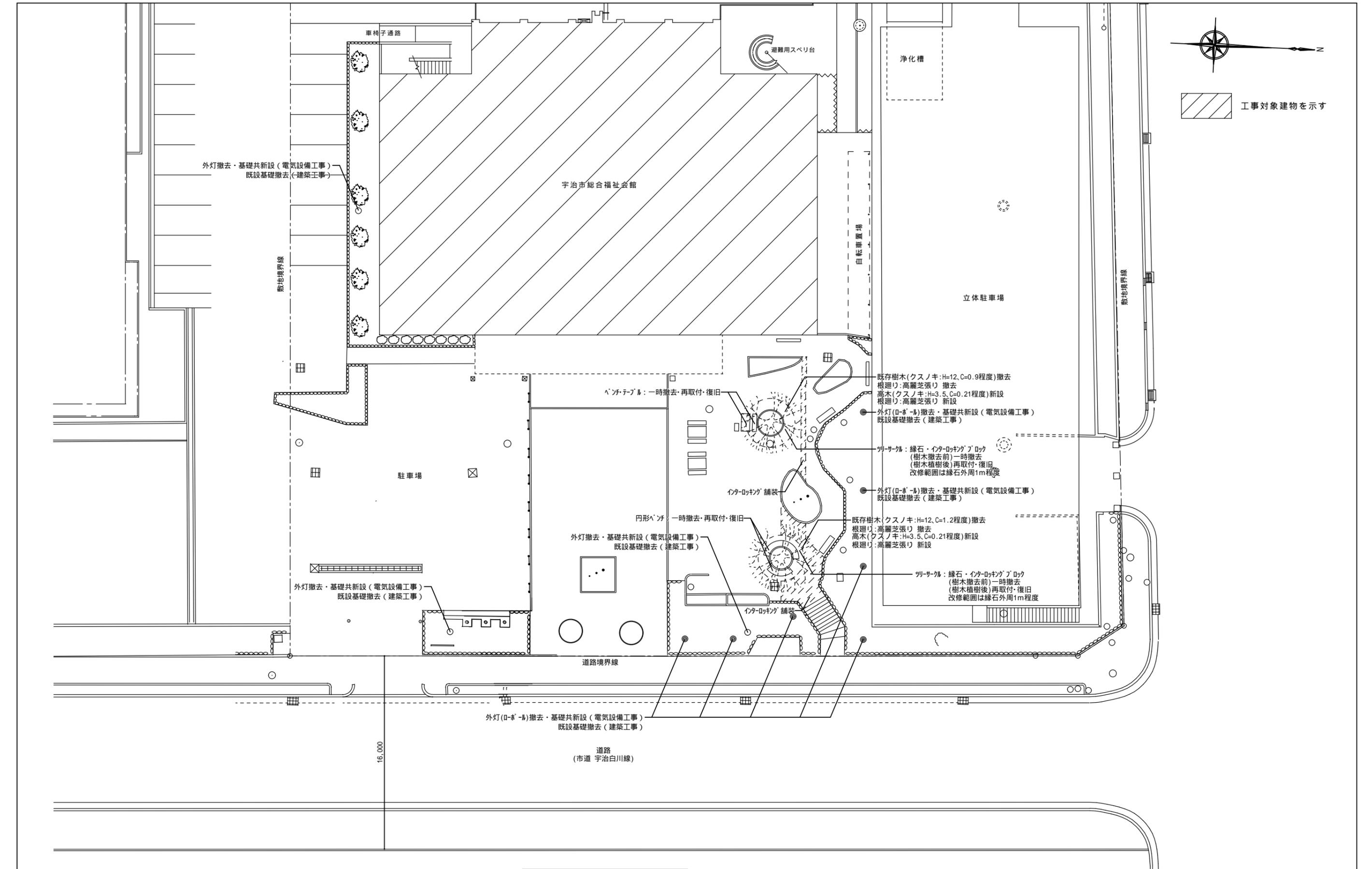
中庭詳細図(現況) 1/100



中庭詳細図(改修) 1/100

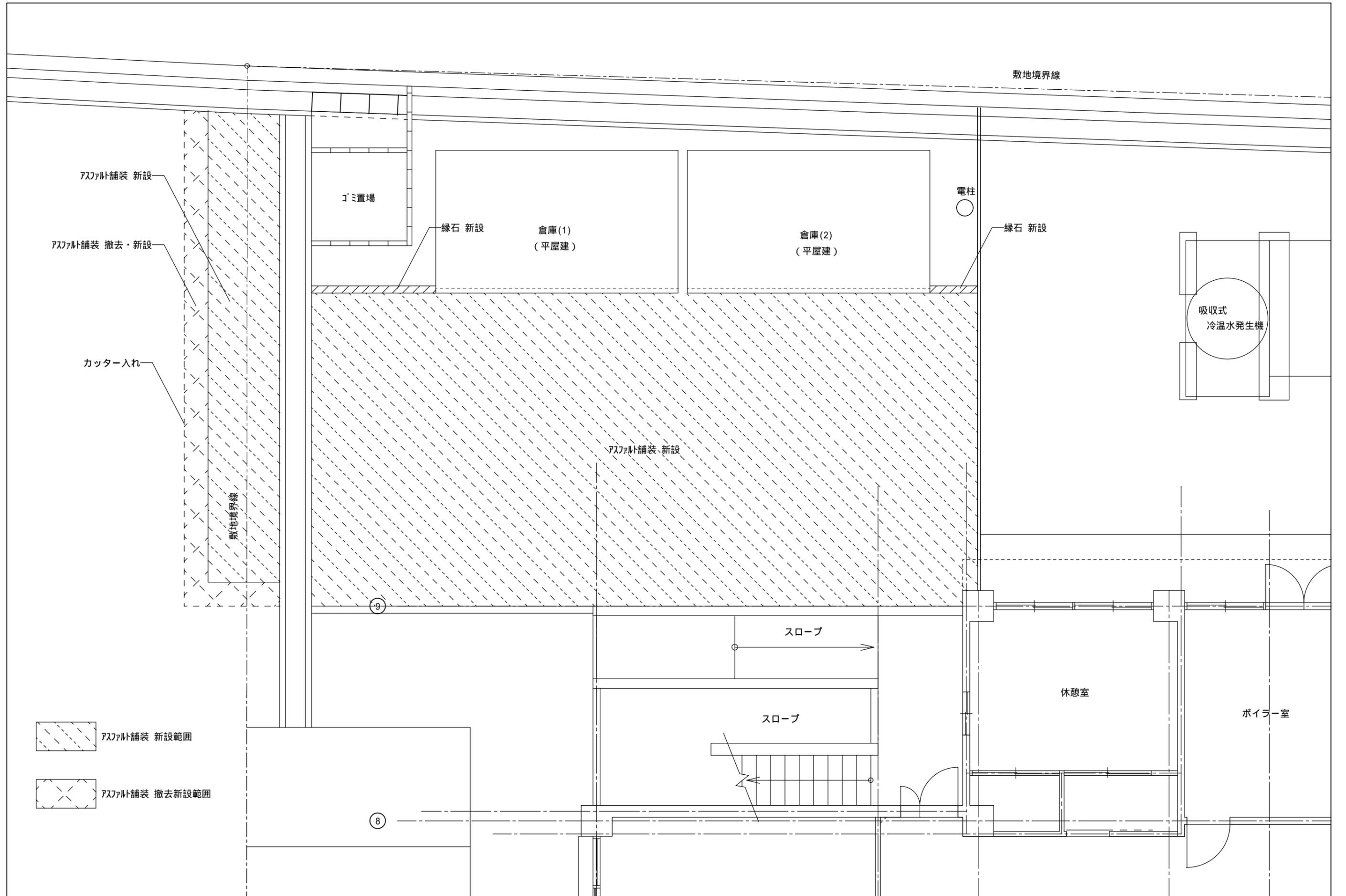


記 事	-----		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 3 6
	-----			-----	-----		-----	
						図面名称	(現況・撤去・改修)中庭詳細図	



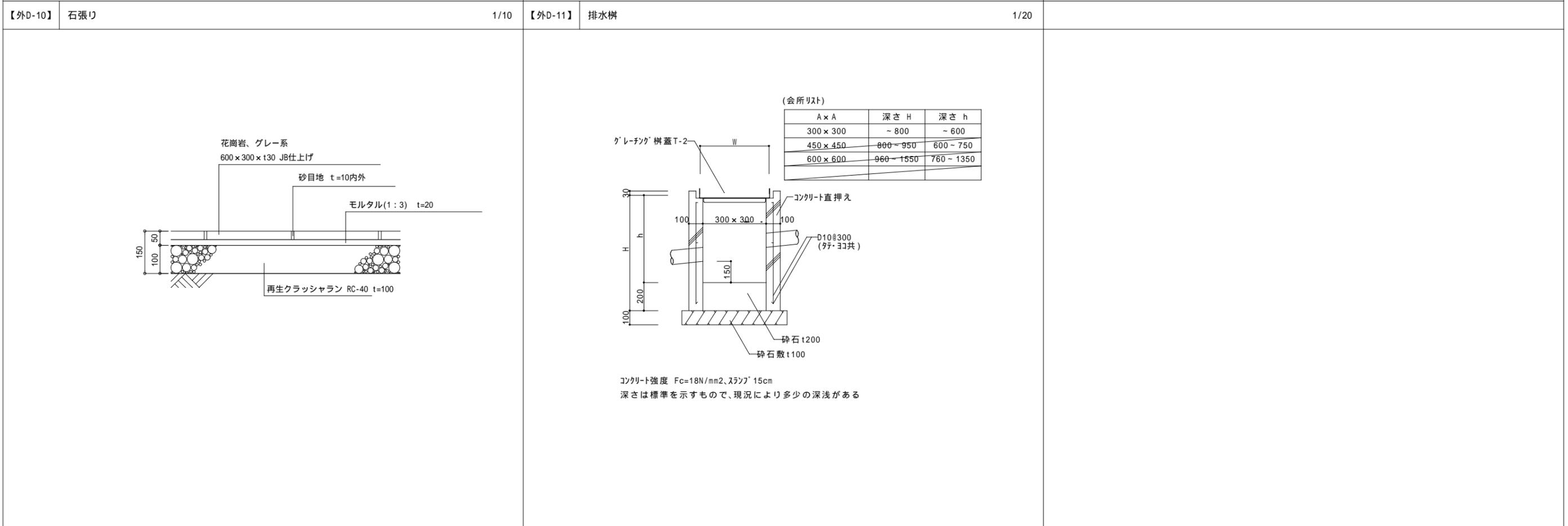
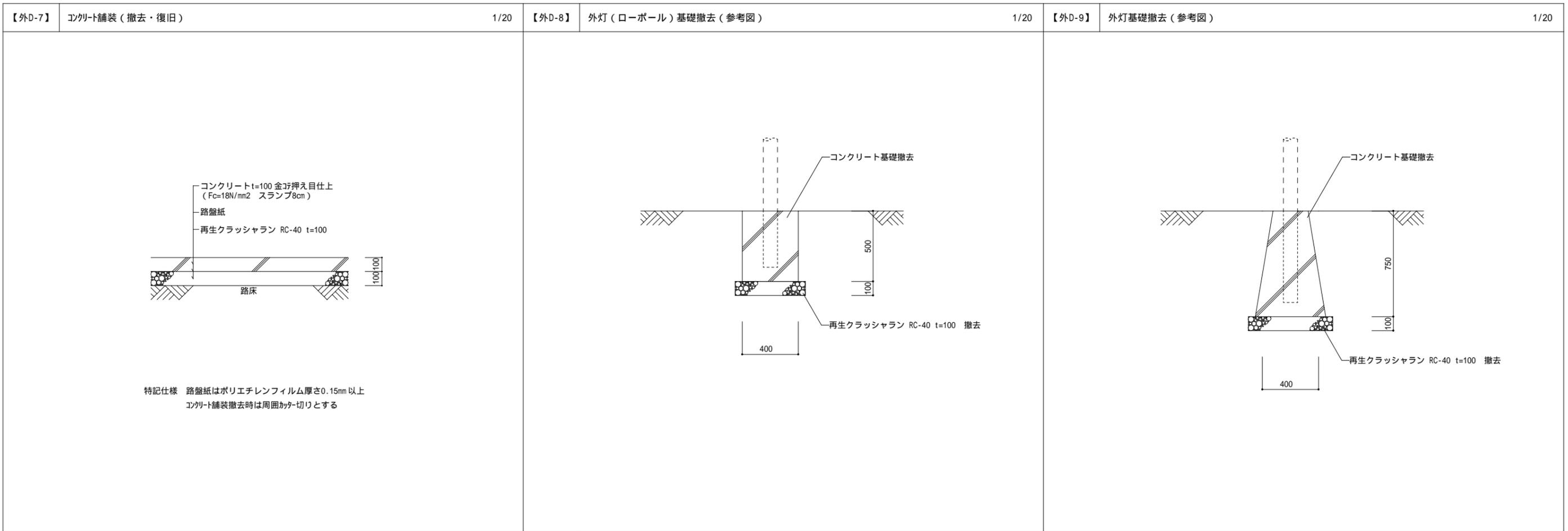
外構図 S:1/200

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 37
			担当	担当		担当	
図面名称						(現況・撤去、改修)外構計画図 - 1	



-  アスファルト舗装 新設範囲
-  アスファルト舗装 撤去新設範囲

記 事		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 3 8
			担当	担当		担当	
					図面名称 (現況・撤去、改修)外構計画図 - 2		



機械設備工事特記仕様書 1

【工事概要】

1 工事場所 宇治市宇治琵琶45番地

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積 (m ²)	消防法令別表第	耐震安全性の分類	備考
					甲 乙	工事区分を記載
					甲 乙	例：新築
					甲 乙	全館無人改修
					甲 乙	軟務並行改修

3 工事科目

印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	総合福祉会館
空調調設備		
換気設備		
排煙設備		
自動制御設備		
衛生器具設備		
給水設備		
排水設備		
給湯設備		
消火設備		
ガス設備		
さく井設備		
厨房機器設備		
浄化槽設備		
医療ガス設備		
撤去工事		

【特記事項】

1 一般事項

1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版（以下「標準図」という。）」及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。

2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び各工事の標準仕様書による。

2 特記事項

項目及び特記事項は、印をついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は、印を適用する。印と印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。

章	項目	特記事項
一般	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	機材の承諾	機材の承諾に際しては、原則として国土交通大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監修の機械設備工事機材承諾図様式集（最新版）によるものとする。
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	現場代理人	本工事の施工に当たっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
一般	電気保安技術者	適用する 適用しない
	技能士（一級）	配管（配管工事） 適用しない 建築板金（ダクト製作及び取付け） 適用しない 冷凍空調調和機器施工 適用しない
	工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
	官公営への手続き	官公営等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
一般	工事用仮設物	構内につくることができない
	足場・作業橋台	別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。
	監督職員事務所	設置しない 設置する（本工事 別途）
	監督職員事務所	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） ・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） ・機械設備工事監理指針 ・建築設備耐震設計施工指針 ・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） ・工事写真撮影ガイドブック（機械設備工事）
一般	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	建設副産物の処理 引き渡しを要するもの【 】 右記のほか、再生資源利用を図るもの【 】 現場説明書による。 特別管理産業廃棄物 P C B使用機器 異化リチウム
	建設発生土の処理	構外指定地に搬出処理（一財）城陽山砂利採取地整備公社 現場説明書による 構内指示場所に敷き均し
	再生資源利用（促進）計画・実施書の提出	詳細は現場説明書による。
	監督職員事務所	1) 「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。 2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物処理報告書」により監督職員に報告する。 3) 冷媒については関係法令に従い適切に破壊処分を行う（家電リサイクル法対象機器を除く）。（精込：本工事 別途、処分費：本工事 別途、運搬費：本工事 別途）
一般	アスベストの処理等	アスベストの処理等 1) 次の資機材のアスベスト含有の有無は以下による。 ダクトパッキン 含有 不含 要調査(分析資料数：) 配管エルボ部保温材 含有 不含 要調査(分析資料数：) 煙道の断熱材 含有 不含 要調査(分析資料数：) アスベスト成形板 含有 不含 要調査(分析資料数：) アスベスト成形板の処理等 施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認・アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認・施工範囲等の確認 ・アスベスト成形板の製造年等の確認 X線解析法 2) アスベスト含有調査は以下のとおりとする。 （ただし、調査費用は 本工事 別途 とする。） J I S A 1 4 8 1 - 2 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又は J I S A 1 4 8 1 - 3 「建材製品中のアスベスト含有方法-第3部：アスベスト含有率の X線回折定量分析方法」による。 3) アスベスト含有資機材は関係法令に従い適切に処理する。 調査の結果アスベスト含有が確認された場合の処理方法は監督職員との協議による。

章	項目	特記事項																																															
一般	工事関係書類	営繕工事契約関係書類提出書類書式集 一覧表により提出。 宇治市&A^>参照 <http://www.city.uji.kyoto.jp>																																															
	履行報告	月報 2部 3部 毎月末日に、翌月の5日までに提出する。																																															
	工事写真	1) 国土交通大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領（最新版）」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) 小黒板電子化については、現場説明書による。																																															
	完成図書	名 称 内 容 大きさ 部 数 完成図 金文字製本 A4版 1部 完成図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 施工図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書 諸官庁提出書類 副 本 1式 原 因 完 成 図 1部 完成写真 アルバム綴り 2部																																															
一般	著作権等	電子納品については、現場説明書による。 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																															
	付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表による。																																															
	総合試運転調整（測定結果は報告書にて提出）	風量調整（測定共） 水量調整（測定共） 室内外空気の温湿度測定 室内気流及びじんあいの測定 騒音の測定 飲料水の水质の測定（項目） 雑用水の水质の測定（項目）																																															
	耐震施工	1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により、計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 2) 下記の設計用水平震度（KH）により、機器製作固定を行う。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.0(1.5)</td> </tr> <tr> <td>中 間 階</td> <td>1.5(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>0.6(1.0)</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.4(0.6)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般水櫃</th> </tr> <tr> <th>主要水櫃</th> <th>一般水櫃</th> <th>主要水櫃</th> <th>一般水櫃</th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>中 間 階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> </table> 注1 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設を、乙類の建物は一般の施設を適用する。屋外に設置する機器は建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。 注2 ()内の数値は、防振支持の機器の場合に適用する。 注3 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 注4 上層階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上階2階。 注5 重要機器（水櫃類）は、下記に示すものとする。（水櫃類にはオイルタンク等を含む。） 注6 「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」による形鋼振れ止め支持を行う場合は、S種とする。ただし、取付け金物については標準図に準ずる。	設置場所	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)	中 間 階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)	1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)	設置場所	特定の施設		一般水櫃		主要水櫃	一般水櫃	主要水櫃	一般水櫃	上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	2.0	1.5	中 間 階	1.5	1.0	1.5	1.0	1階及び地下階	1.5	1.0	1.5
設置場所	特定の施設			一般の施設																																													
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																													
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)																																													
中 間 階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)																																													
1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)																																													
設置場所	特定の施設		一般水櫃																																														
	主要水櫃	一般水櫃	主要水櫃	一般水櫃																																													
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	2.0	1.5																																													
中 間 階	1.5	1.0	1.5	1.0																																													
1階及び地下階	1.5	1.0	1.5	1.0																																													
一般	一般用弁	標準仕様書第2編2.2.1(ア)～(シ)によるほか、下記による。 1) 水道直結部及び図面特記部の耐圧は10K以上、その他は5K以上とする。 2) 給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。 機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、銅板に対してはペローズ形、FRPに対しては合成ゴム製とする。																																															
	フレキシブルジョイント	機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、銅板に対してはペローズ形、FRPに対しては合成ゴム製とする。																																															
	鋼管用伸縮管継手	ペローズ形 スリーブ形																																															
	溶接接合	溶接部の非破壊検査は、適用しない 適用する（放射線透過検査 浸透深傷検査又は磁粉深傷検査）																																															
一般	地中埋設配管及び埋設表示用テープ	1) 給水管 地中埋設（要 不要） 埋設表示用テープ（要 不要） 2) 消火管 地中埋設（要 不要） 埋設表示用テープ（要 不要） 3) ガス管 地中埋設（要 不要） 埋設表示用テープ（要 不要） 4) 油 管 地中埋設（要 不要） 埋設表示用テープ（要 不要） 5) プライ管 地中埋設（要 不要） 埋設表示用テープ（要 不要） 用途表示のあるテープ（幅は150mm以上）で、2倍長以上重ね合わせて使用する。																																															
	防食処理	地中埋設の排水用塩ビラインング配管は、防食処置を行う。																																															
	保温	1) 保温材の仕様は、下記による。 給水管・排水管 ポリスチレンフォーム保温材 排煙ダクト・煙道、排気筒 ロックウール保温材 その他 グラスウール保温材 2) 鋼板製タンクの保温 必要 不要 3) 保温を施す膨張タンク等の蓋の保温 必要 不要 4) エア抜管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲はエア抜弁までとする。 5) 露出配管の保温外装種別は、下記による。 ・屋内 合成樹脂カパー1 合成樹脂製カパー2 カラー亜鉛鉄板 ・屋外 ステンレス鋼板（つや消し） 6) 弁、ストレーナ等の金属製カパー外装種別は、下記による。 ・屋内 カラー亜鉛鉄板 ステンレス鋼板 ・屋外 カラー亜鉛鉄板 ステンレス鋼板 7) 車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。 8) 合成樹脂製支持受 硬質ウレタンフォームに準ずるもの ピース法ポリスチレンフォームに準ずるもの																																															
	塗装（露出施工部）	標準仕様書によるほか、下記により塗装（指定色）を行う。ただし、保温を行うものは除く。 屋外（ダクト 配管） 屋内居室（ダクト 配管） 廊下（ダクト 配管） 屋内P S ・ E P S（ダクト 配管） 屋内機械室・電気室（ダクト 配管）																																															
一般	吹出口及び吸込口ボックス	ボックスの材質について、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製とする場合は J I S A 4 0 0 9（空調調和及び換気設備用ダクトの構成部材）によるものとし、厚さ0.6mm以上の亜鉛鉄板で補強を施したものである。 ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これにない場合は監督職員との協議による。																																															
	ステン製ダクトの板厚	ステンレス製ダクトの板厚は J I S A 4 0 0 9 2 0 1 7による																																															
	ボックス	P F管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。																																															
	容量等の表示	機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機出力及び圧力損失は、表示された数値以下とする。																																															
一般	誘導電動機	電動機出力が0.75kW以上の低圧三相誘導電動機の規格は、J I S C 4 2 1 3（低圧三相誘導電動機-低圧トランジスタモータ）による。																																															
	開放形膨張タンク等	開放形膨張タンク、補給水タンク及び消火用充水タンクの材質は次による 鋼板製 ステンレス鋼板製																																															
	電線及び電線管	電線及び電線管については標準仕様書第4編第1章第5節による																																															

章	項目	特記事項
一般	はつり及び穴開け	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。
	インサート及びアンカー	あと施工アンカー等を行う場合は、改修標準仕様書第2編第5章による。 施工後確認試験 行う（国土交通大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）8章1.2節8.1.2.7による。） 行わない
	防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	復帰方式は 遠方復帰式（電気式（定格入力 DC24V 0.6A以下）） 手動復帰式
	消音内貼	ダクト及びチャンパー、消音エルボの内貼り（箇所図示）は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は 不要 必要 ・チャンパーの寸法は、外形寸法を示す。 （ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。） ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。
一般	ドレン抜き	外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパー類に必要に応じ設ける。
	取付枠	防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは網枠を使用する。
	機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿室等（溶融亜鉛めっき2種35 ステンレス鋼製（SUS304）） ・その他（一般品） 機器側の材質がSUS製の場合は、SUS製とする。
	防火区画	平面階 図示
一般	掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。
	天井仕上区分	() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	給油設備	オイルタンク 地下 屋内 遠隔油量指示計 設ける 設けない 副指示計 設ける 設けない オイルサービスタンク 油面計 ゲージ式 ガラス管式 油面制御装置の機能は下記による。 給油ポンプの起動、停止制御用 返油ポンプの起動、停止制御用 満油警報 遠隔警報（減油 満減油） 油管（露出、トラフ内） 配管用炭素鋼鋼管（黒） 油管（地中） ポリエチレン被覆鋼管
	建物導入部配管	標準図施工4(a)（フレキシブルジョイント 埋設用フレキシブルジョイント） 標準図施工5(b)（ボールジョイント） 標準図施工5(c)（スリークッション）
一般	鋼材	屋外露出部分 溶融亜鉛めっき2種35 ステンレス鋼製（SUS304）
	制御及び操作盤	構成 進相コンデンサー 運転時間計 表示等 運転（赤色）及び停止（緑色）表示 保護継電器の動作表示 接点及び端子 遠方発停用端子 湿度調節器用端子 運転時間表示用端子 温水出入口温度用端子 冷水出入口温度用端子 消費電力表示用端子（ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用） 給水量表示用端子（ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用） 燃料消費量表示用端子（ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用）
	主方式	全空気方式（中央 各階ユニット） ファンコイル・ダクト併用方式 個別方式
	主要熱源機器	吸収冷水水機 チリングユニット 空気熱源ヒートポンプユニット 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調調和機（EHP GHP）
一般	設計時の温湿度条件	場 所 屋 外 屋内（調整目標値） 一般居室 時 期 温度（DB）湿度（RH） 温度（DB）湿度（RH） 温度（DB）湿度（RH） 冬 期 -2.9 51.1% 22.0 50% % 夏 期 35.8 69.9% 26.0 50% %
	長方形ダクトの工法	アングルフランジ工法 コーナーボルト工法（共板フランジ工法 スライドオンフランジ工法）
	ダクトの分岐方法	割込み工法 直付け工法
	配管材料（図面特記部分は除く）	冷水水管 配管用炭素鋼鋼管（白） 一般配管用ステンレス鋼鋼管（SUS304） 冷却水管 配管用炭素鋼鋼管（白） ドレン管 硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA、SGP-FVA） 配管用炭素鋼鋼管（白）（ねじ接合 MDジョイント） 水配管用亜鉛めっき鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡3層管（RF-VP） 蒸気配管 給気管 配管用炭素鋼鋼管（黒） 選 管 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒） 補給水管 配管用炭素鋼鋼管（白） 膨張管 配管用炭素鋼鋼管（白） エア抜管 配管用炭素鋼鋼管（白） 加湿給水管 硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA、SGP-FVA） 一般配管用ステンレス鋼鋼管（SUS304） 冷媒管 鋼管 断熱材被覆鋼管（ガス管：ハイグレード仕様）
一般	温度計	パッケージ形空調調和機の2次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。 工業用バイメタル式温度計 ガラス製棒状温度計 ガラス製二重管温度計
	定風量ユニット	メカニカル形
	変風量ユニット	風速センサー形（プロペラ形センサー 熱線センサー）
	カセット形ファンコイルユニット	風量分配ダクト 結露防止措置を施した亜鉛鉄板製 自己消火性のポリスチレンフォーム
一般	ボイラー-燃焼制御方式	オン・オフ制御式（直接始動式 低燃費始動式） ハイ・ロー・オフ制御式 比例制御式
	遠心・スクリュウ-冷凍機	電動機盤 進相コンデンサー（要 不要）
	吸収式冷水水機	排熱投入型再生器 有り 無し
	高温再生器の構造	図面による。
一般	コージエネレーション装置	発電方式 原動機、発電機 燃料電池 熱回収装置 温水熱交換機 排ガスボイラー 排ガス熱交換機 熱回収ポンプ その他 その他装置等 補機付制御装置 冷却塔（放熱用）
	集中管理リモコン	表示機能 屋外機込温度 空調エネルギー使用量按分 運転時間積算 室内温度 データ管理機能 屋外機込温度 空調エネルギー使用量按分 運転時間積算 室内温度 外部記憶媒体への出力

記	校 閲				主 査	工 事 名 称	宇治市総合福祉会館大規模改修工事（その2）		作 成 年 月 日	図 面 番 号
	担 当	担 当	担 当	担 当			R06.03	M - 0 1		
事	株式会社 前田都市設計					図 面 名 称	機械設備工事特記仕様書 - 1		縮 尺	-
	一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎									

機械設備工事特記仕様書 2

章	項目	特記事項
空	鋼板製煙道 (ボイラー)	厚さ 3.2mm 4.5mm ばい煙濃度計の取付座 ばいじん量測定口 伸縮継手 掃除口
	ばい煙濃度計 (ボイラー)	送風機付き 送風機なし (電源は熱源機器付属制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む)
調	瞬間流量計	固定形 個 本体 個
	保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠ぺい部 不要 必要 露出部 保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) ・屋外 ステンレス鋼板 保温化粧ケース (樹脂製 アルミ合金製 ステンレス鋼板製 溶融亜鉛めっき鋼板製) ・保温化粧ケースの下部カバー 必要 不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加温用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。
換	ダクトの工法	アングルフランジ工法 コーナーボルト工法 (共板フランジ工法 スライドオンフランジ工法) スパイラルダクト アルミフレキシブルダクト
	ダクトの分岐方法	給気ダクト 翻込み方式 直付け方式 排気ダクト 翻込み方式 直付け方式
設	厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。
	ダクトの長さ	板厚
備	排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ステンレス鋼板 (補強共) 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 本工事 別途工事 3) グリスフィルターの予備 不要 必要
	保温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 不要 必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第2編第3章第1節による。
排	排煙対象部分	廊下 事務室 図示 最大面積 m ²
	ダクトの種類	高圧1ダクト 高圧2ダクト
設	ダクトの工法	アングルフランジ工法
	ダクトの材料	亜鉛鉄板製 鋼板製 (1.5mm以上)
備	排煙口	1) 形状 スリットフェース形 パネル形 ダンパー形 2) 排煙口の開放 手動 (機械式 電気式) 煙感知器連動 3) 復帰装置 手元復帰式 (手動式 電気式) 遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。
	保温	床下及び暗渠内の保温 不要 必要 (図示) 図面による。
衛	小便器用節水装置	電気供給方式 A C電源 乾電池 自己発電
	自動水栓	電気供給方式 A C電源 乾電池 自己発電 手動スイッチ 無し 有り
設	大便器用洗浄弁	操作方式 手動式 電気閉閉式 (センサー式 タッチスイッチ式)
	水石けん入れ	手洗器一体型 手洗器分離型
備	車椅子使用者用器具	1) 大便器洗浄弁 センサー式 タッチスイッチ式 レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。
	給水方式	水道直結方式 高置タンク方式 水道直結増圧方式 (水道用直結加圧形ポンプユニット) ポンプ直送方式 (小型給水ポンプユニット) 受水タンク及び加圧ポンプ
給	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 一般配管用ステンレス鋼管 (SUS304) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (SGP-PB、SGP-FPA) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA)
	地中配管 [屋内]	一般配管用ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (50A以下) (1種 2種) (接合方法 メカニカル 電気融着) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD)
水	地中配管 [屋外]	一般配管用ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (50A以下) (1種 2種) (接合方法 メカニカル 電気融着) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (SGP-PD、SGP-FPD) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD、SGP-FVD)
	緊急遮断弁装置	必要 不要 駆動方式 電気式 機械式
備	量水器	現地表示式 (直読式) 遠隔表示式 (パルス式)

章	項目	特記事項
給	水栓柱	合成樹脂製 (70x70x1300H) ステンレス製 () アルミニウム合金製 () 不凍水栓柱 () 特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。
	管の埋設深さ	1) 一般敷地 300mm 2) 構内車両通路 600mm 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
設	埋戻し及び盛土	良質土 再生コンクリート砂 山砂
	加入金・負担金	不要 必要 (別途 本工事)
備	本管引込工事	本工事 (舗装本復旧まで 舗装仮復旧まで) 別途工事
	排水方式	汚水と雑排水 [屋内] 分流式 合流式 汚水・雑排水と雨水 [屋外] 分流式 合流式 ポンプアップ排水 有り (雑排水 汚水 雨水 湧水 浄化槽2次側) 無し
排	放流式	汚水 直放流下水管 浄化槽 雑排水 直放流下水管 浄化槽 別途樹・側溝 雨水ポンプアップ排水 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹 湧水ポンプアップ排水 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹
	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内雑排水管 水道用亜鉛めっき鋼管 配管用炭素鋼管 (白) (ねじ接合 MDジョイント) 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) 排水・通気用耐火二層管 (VP)
水	屋内汚水管	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) 排水・通気用耐火二層管 (VP)
	通気管	配管用炭素鋼管 (白) (ねじ接合 MDジョイント) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) 排水・通気用耐火二層管 (VP)
設	地中配管 [屋内]	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU)
	地中配管 [屋外]	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP VU) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU)
備	鋼管類のポンプアップ排水用の配管は、硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA) (地中配管はSGP-VD、SGP-FVD) とし、継手はフランジ接合とする。	
	負担金	不要 必要 (別途 本工事)
給	本管接続工事	本工事 (舗装本復旧まで 舗装仮復旧まで) 別途工事
	給湯方式	中央式 局部式
設	配管材料	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-HVA) 一般配管用ステンレス鋼管 鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) 被覆鋼管
	保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2-3.5による。
消	消火設備の種類	屋内消火栓 スプリンクラー 泡消火 不活性ガス消火 () 連絡送水管
	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 配管用炭素鋼管 (白) 圧力配管用炭素鋼管 (白 Sch 40) 一般配管用ステンレス鋼管 地中配管 [屋内] [屋外] 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS) 消火用ポリエチレン管 (PE)
備	保温	消火用充水タンクの保温を 施工する (膨張タンクによる) 施工しない 消火用呼水タンクの保温を 施工しない 施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を 施工しない 施工する (Rofu-1保温+SUS鋼板 (つや消し)) 屋内露出管の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる) トレンチ内の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる)
	ガスの種類	都市ガス (発熱量 45,000kJ/Nm ³ kJ/Nm ³) 液化石油ガス (50kg 本立 20kg 本立)
ガ	ガスメーター	親メーター 貸与品 購入 子メーター 購入 貸与品 計量方式 (寒測式 パルス式)
	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 配管用炭素鋼管 (白) 地中配管 [屋内] [屋外] ポリエチレン被覆鋼管 ガス用ポリエチレン管 都市ガスの場合は、供給者仕様による。
設	地中配管の接合方法	SGM工法 ネジ工法 PE工法
	ビット内施工法	溶接工法
備	負担金	不要 必要 (別途 本工事)
	本管接続工事	本工事 (舗装本復旧まで 舗装仮復旧まで) 別途工事
設	排水弁設備	バーカッション式 ローター式 ダウンザホールハンマ式 回転振動式
	掘削工法	掘削工法 深度 () m ケーシング材質 配管用炭素鋼管 (黒) 配管用ステンレス鋼管
備	地中熱交換弁設備	回転振動式 ローター式 ダウンザホールハンマ式 ロータリーバーカッション式
	掘削工法	図面による。
設	厨房機器	

章	項目	特記事項
浄	形式	ユニット形 現場施工形
	処理方法	小規模合併処理 (図面による) 合併処理 (図面による)
医		図面による。

その他	コア抜き (クイックドリル穴明け)	鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 参考メーカー 日本無機機 ハンディサーチRCレーダー NJJ-85型同等品
	校正記録	試験機器類の校正記録を提出する。
	交通誘導員	機器類搬入時、撤去材搬出時、外部掘削時に配置する。
	保安器材	カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。
	鉄板敷き	1,524x6,096x厚22mm

別表 付属品・予備品

工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スパー、ハンマー)	
マンホールフック バイブレンチ ポンププライヤー ラバーカップ (大、小)	
イーザーキャビネット 箱 キーボックス	
盤類予備品 (ランプ及びヒューズの100%)	

試験・検査

水圧試験	排水満水試験	排水通水試験			
気密試験	点火試験	機器類動作試験	風量測定	吹出口温度測定	
騒音測定	振動測定	絶縁試験			
消防設備試験	水質検査	水槽水張り試験	アンカー引張試験		

記	校閲	主査	工事名称	宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日	図面番号
	担当	担当	担当	担当	R06.03	M-02
事	株式会社 前田都市設計			図面名称	縮 尺	
	一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎			機械設備工事特記仕様書 - 2		

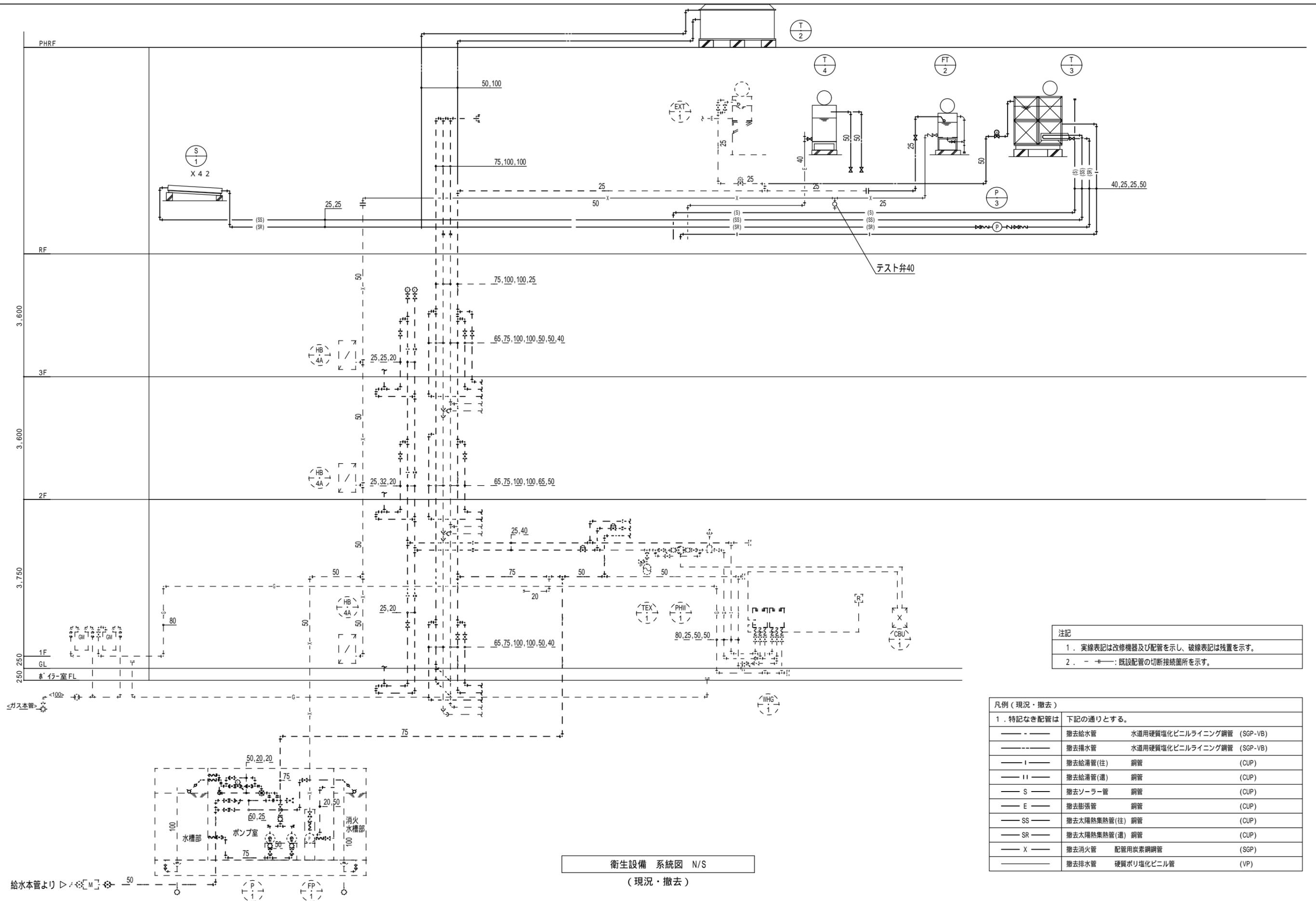
既設衛生機器表(現況・撤去)

機器番号	機器名称	機 器 仕 様	台数	設置場所	備 考
T-2	高架水槽	鋼板製水槽 2.2mX2.6mX1.9mH 有効容量 7m3 鋼製架台撤去は建築工事	1	屋上 塔屋階	撤去
T-3	貯湯槽	ステンレス水槽(複合板) 現場組立タイプ 2.0mX2.0mX2.0mH 有効容量 6.0m3 鋼製架台撤去は建築工事	1	屋上階	撤去
T-4	膨張水槽	ステンレス水槽 一体形 1.0mX1.0mX1.5mH 有効容量 1.2m3 鋼製架台撤去は建築工事	1	屋上階	撤去
FT-2	消火用補給水槽	鋼板製 一体形 0.8mX0.8mX1.0mH 有効容量 200L 鋼製架台撤去は建築工事	1	屋上階	撤去
P-3	集熱循環ポンプ	ラインポンプ 40A X 42L/min X 14m X 3 - 200V X 0.4kW 付属品 屋外カバー、付属品一式	1	屋上階	撤去
S-1	太陽集熱器	真空ガラス管形 強制循環式 集熱面積 1.8m2 集熱板寸法 2950 X 1000 X 177H 鋼製架台、コンクリート基礎撤去は建築工事	42	屋上階	撤去
P-1	自動給水装置	推定末端圧一定制御(インバータ)方式 自動交互運転方式 ステンレス製 赤水対策仕様 制御盤付 国土交通省仕様 異常表示、外部信号、運転表示、少量停止機能、緊急遮断弁回路付 能力 65 x 65 x 320L/min x 25m 付属品一式共	1	屋外ポンプ室	既設のまま
FP-1	屋内消火栓設備用ポンプ	形式 屋内消火栓ポンプユニット 能力 50 x 90L/min x 45m 付属品 制御盤、流量試験装置他標準付属品共	1	屋外ポンプ室	既設のまま
HB-4A	屋内消火栓格納箱	形式 広範囲型2号消火栓 外形寸法 0.75 x 0.2 x 1.3H 消火栓開閉弁 25A、ホース 25A x 30m、棒状・噴霧切替ノズル 25A、 起動スイッチ、付属品一式共 警戒範囲 2.5m以下、放水量 80L/分以上起動スイッチ、付属品一式共	3	1-3階 ホール	既設のまま
EXT-1	膨張水槽	ステンレス製 角型 300L 0.7mX0.7mX0.73mH 付属品 マンホール、アングル架台、他付属品一式	1	屋上階	既設のまま

 今回撤去機器をあらわす

衛生機器表(改修)

機器番号	機器名称	機 器 仕 様	台数	設置場所	備 考
FT-1	消火用補給水槽	ステンレス製 有効水量 200L 以上 600x600x900H ボールタップ付 床置ステンレス製(H-500)架台共 耐震KH= 2.0G 既設コンクリート基礎再利用	1	屋上階	

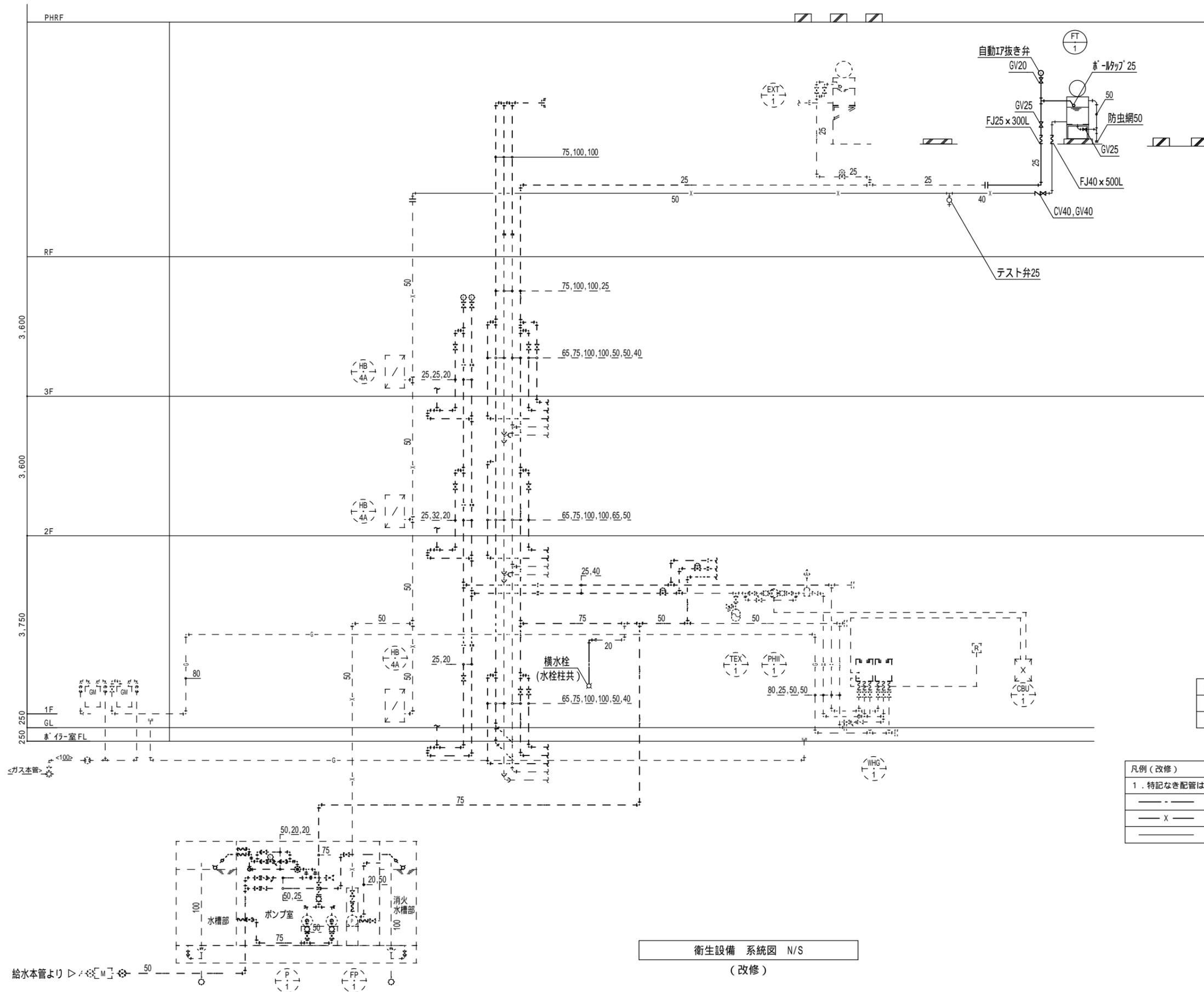


テスト弁40

注記	
1.	実線表記は改修機器及び配管を示し、破線表記は残置を示す。
2.	-#-: 既設配管の切断接続箇所を示す。

凡例（現況・撤去）		
1. 特記なき配管は	下記の通りとする。	
— — — — —	撤去給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)
— · — · — · —	撤去揚水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)
— I — — —	撤去給湯管(往)	銅管 (CUP)
— II — — —	撤去給湯管(還)	銅管 (CUP)
— S — — —	撤去ソーラー管	銅管 (CUP)
— E — — —	撤去膨張管	銅管 (CUP)
— SS — — —	撤去太陽熱集熱管(往)	銅管 (CUP)
— SR — — —	撤去太陽熱集熱管(還)	銅管 (CUP)
— X — — —	撤去消火管	配管用炭素鋼管 (SGP)
— — — — —	撤去排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

衛生設備 系統図 N/S
(現況・撤去)

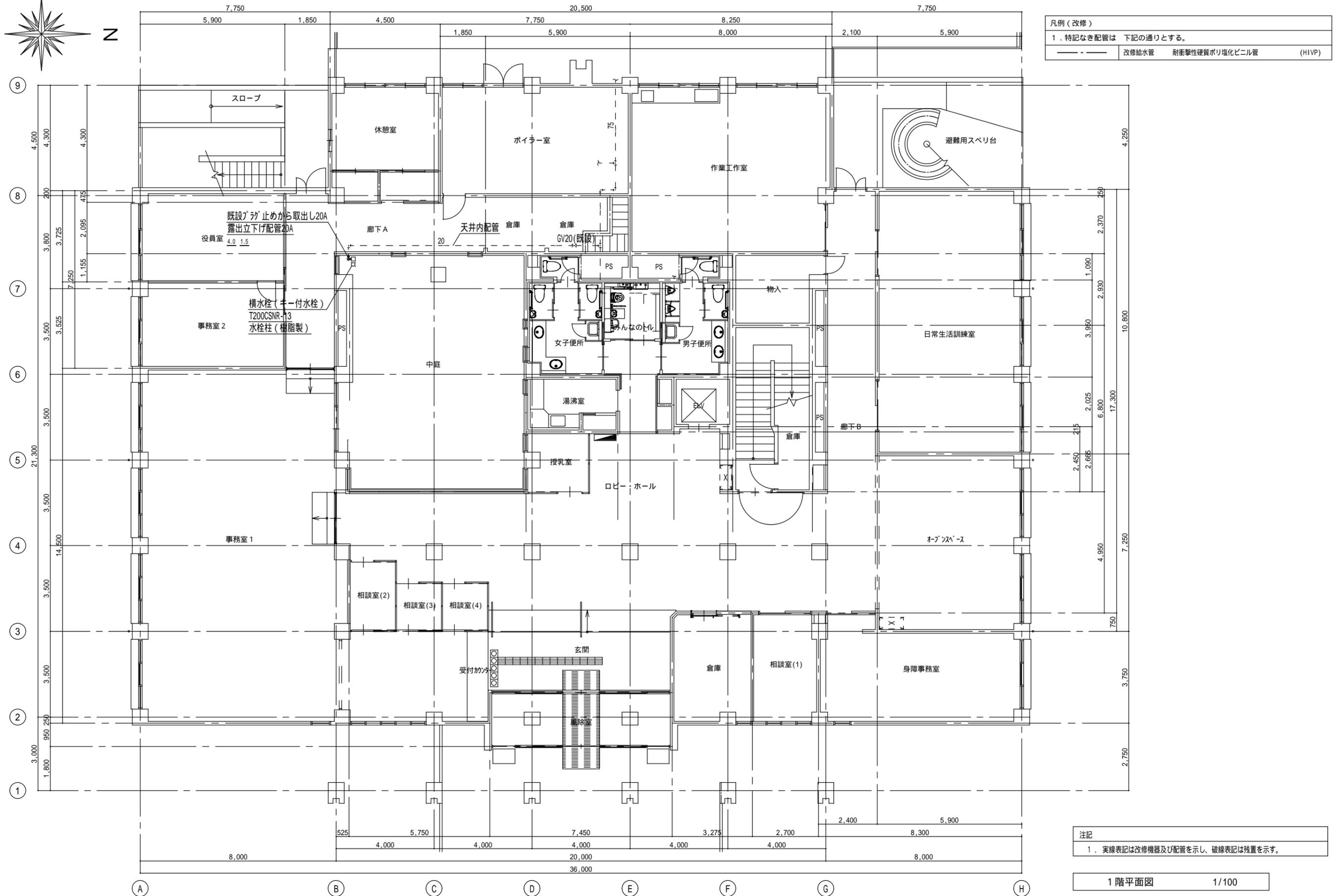
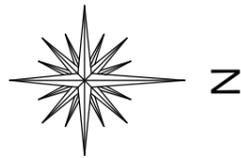


注記	
1.	実線表記は改修機器及び配管を示し、破線表記は残置を示す。
2.	- # - : 既設配管の切断接続箇所を示す。

凡例 (改修)			
1. 特記なき配管は	下記の通りとする。		
— — — — —	改修給水管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	(HIVP)
— X — — —	改修消火管	配管用炭素鋼管	(SGP)
— — — — —	改修排水管	硬質ポリ塩化ビニル管	(VP)

衛生設備 系統図 N/S
(改修)

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 M - 05
			担当	担当	担当	担当		縮 尺	
							図面名称 衛生設備 系統図 (改修)		

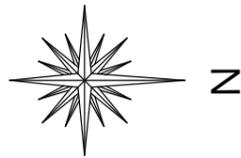


凡例(改修)		
1. 特記なき配管は 下記の通りとする。		
	改修給水管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP)

注記
1. 実線表記は改修機器及び配管を示し、破線表記は残置を示す。

1階平面図 1/100

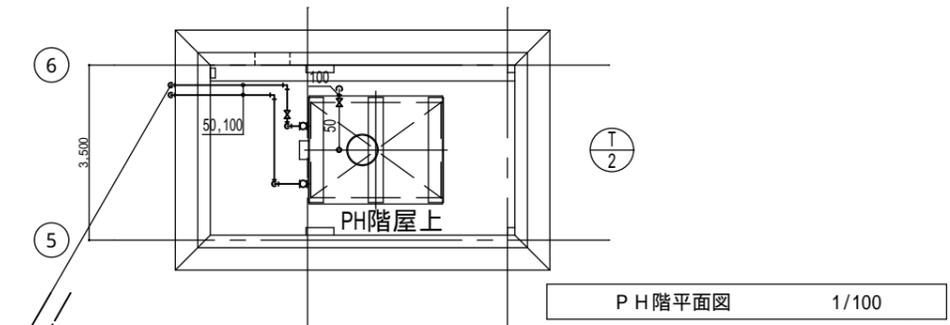
記 事		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎				校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 M-06
		担当	担当	担当	担当	図面名称 衛生設備 1階平面図(改修)	縮尺 1/100			



凡例 (現況・撤去)

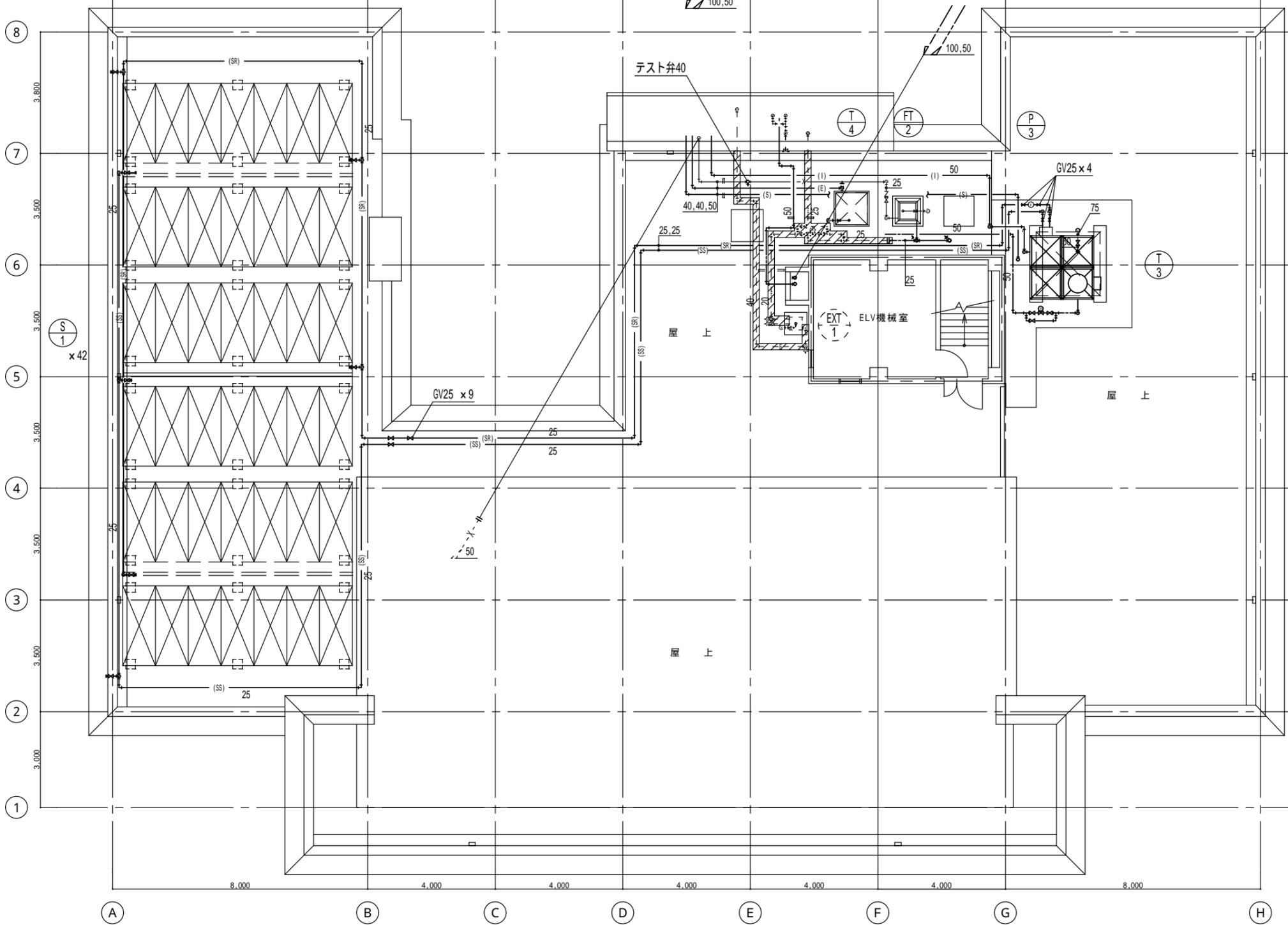
1. 特記なき配管は 下記の通りとする。

— — — —	撤去給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)
— — — —	撤去排水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)
— I — —	撤去給湯管(往)	銅管 (CUP)
— S — —	撤去ソーラー管	銅管 (CUP)
— E — —	撤去膨張管	銅管 (CUP)
— SS — —	撤去太陽熱集熱管(往)	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)
— SR — —	撤去太陽熱集熱管(還)	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)
— X — —	撤去消火管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)
— — — —	撤去排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)



バルブリスト(撤去)

機器名			T-2 高置水槽	
種別	弁類	個数	その他	個数
給水	GV100	1		
	FJ(球形)100	1		
揚水	FJ(球形)50	1		
排水	GV50	1	防虫網100	1



バルブリスト(撤去)

機器名			T-3 貯湯槽	
種別	弁類	個数	その他	個数
給湯	GV50	3		
	電動弁50	1		
	FJ50	1		
集熱	GV25	4		
排水	GV50	1		

バルブリスト(撤去)

機器名			T-4 膨張水槽	
種別	弁類	個数	その他	個数
膨張管	GV40	1		
排水	GV40	1	防虫網75	1

バルブリスト(撤去)

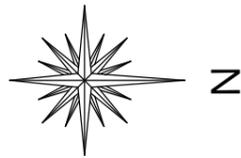
機器名			FT-2 消火用補給水槽	
種別	弁類	個数	その他	個数
給水	GV32	1		
消火	GV25	1		
	CV25	1		1
排水	GV25	1	防虫網40	1

バルブリスト(既設のまま)

機器名			EXT-1 空調用膨張水槽	
種別	弁類	個数	その他	個数
補給水	GV20	2	ボールタップ20	1
	電磁弁装置20	1		
膨張管	GV40	1		
排水	GV50	1	防虫網50	1

注記

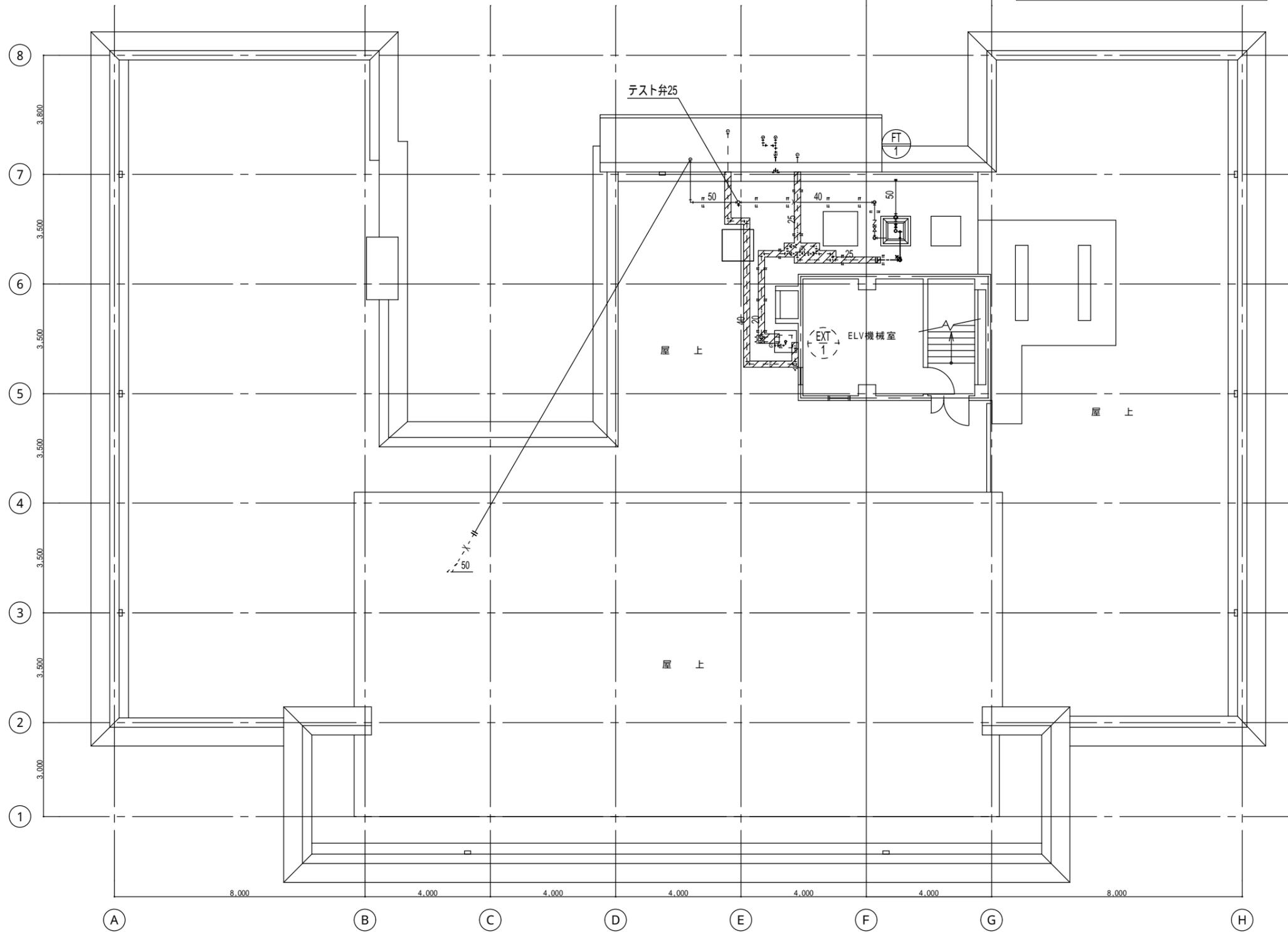
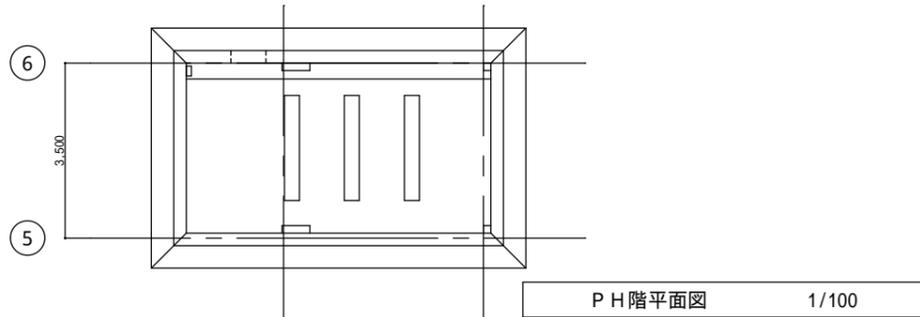
1. 実線表記は改修機器及び配管を示し、破線表記は残置を示す。
2. - - - - - : 既設配管の切断接続箇所を示す。
3. [斜線]: 保温のみ撤去範囲を示す。



凡例(改修)

1. 特記なき配管は 下記の通りとする。

— — — —	改修給水管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	(HIVP)
— X — —	改修消火管	配管用炭素鋼管	(SGP)
— — — —	改修排水管	硬質ポリ塩化ビニル管	(VP)



バルブリスト(改修)

機器名		FT-2 消火用補給水槽		
種別	弁類	個数	その他	個数
給水	GV20	1		
	GV25	1		
	自動17抜弁20	1		
	FJ25 x 300L	1	ボールタップ25	1
消火	GV40	1		
	CV40	1		
	FJ40 x 500L	1		
排水	GV25	1	防虫網50	1

バルブリスト(既設のまま)

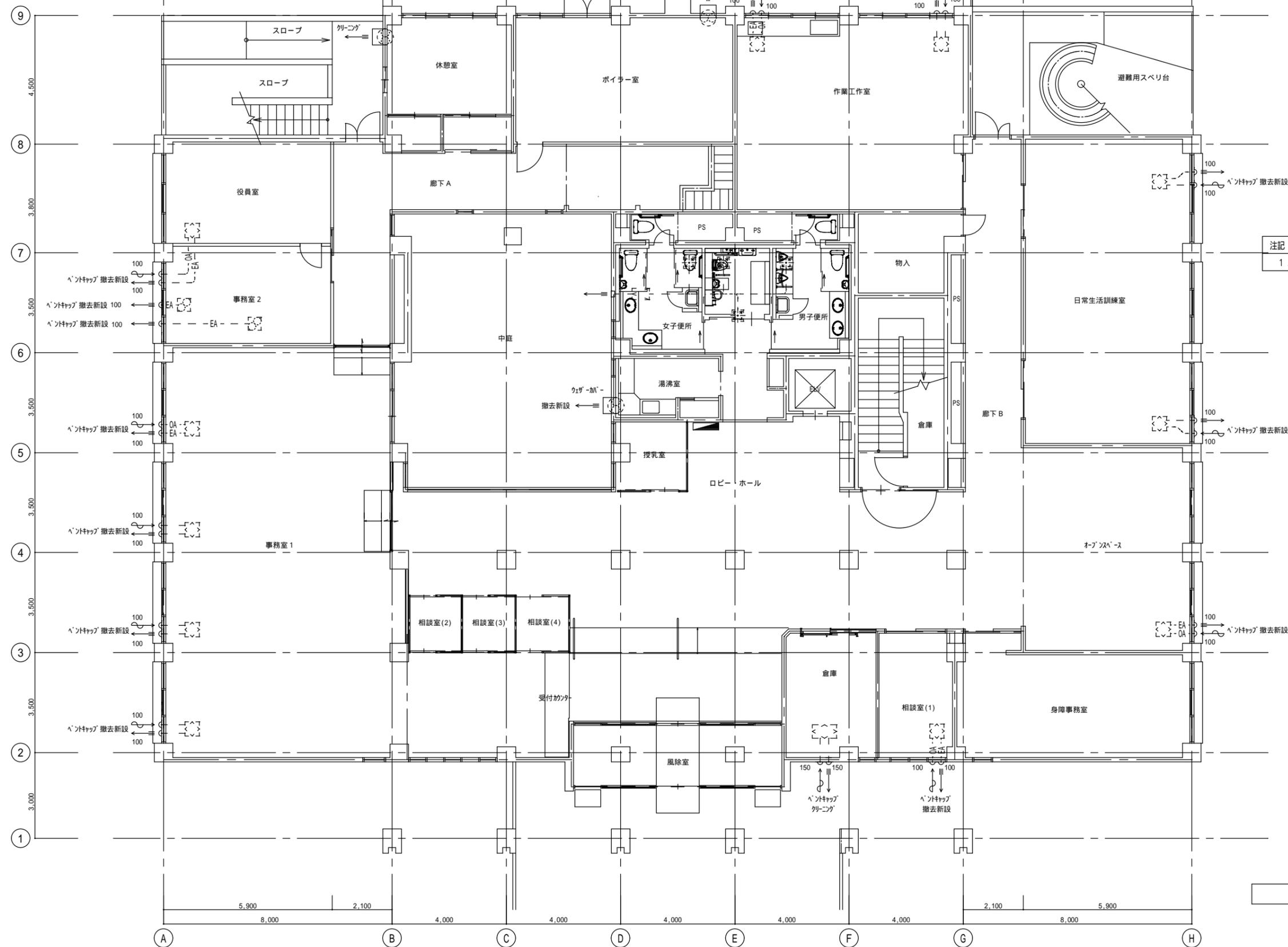
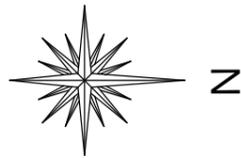
機器名		EXT-1 空調用膨張水槽		
種別	弁類	個数	その他	個数
補給水	GV20	2	ボールタップ20	1
	電磁弁装置20	1		
膨張管	GV40	1		
排水	GV50	1	防虫網50	1

注記

1. 実線表記は改修機器及び配管を示し、破線表記は残置を示す。
2. - + - : 既設配管の切断接続箇所を示す。
3. [斜線]: 保温のみ改修範囲を示す。

R 階平面図 1/100

記 事	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎		校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 M-08
	担当	担当	担当	担当		縮尺 1/100	
図面名称 衛生設備 R階平面図(改修)							

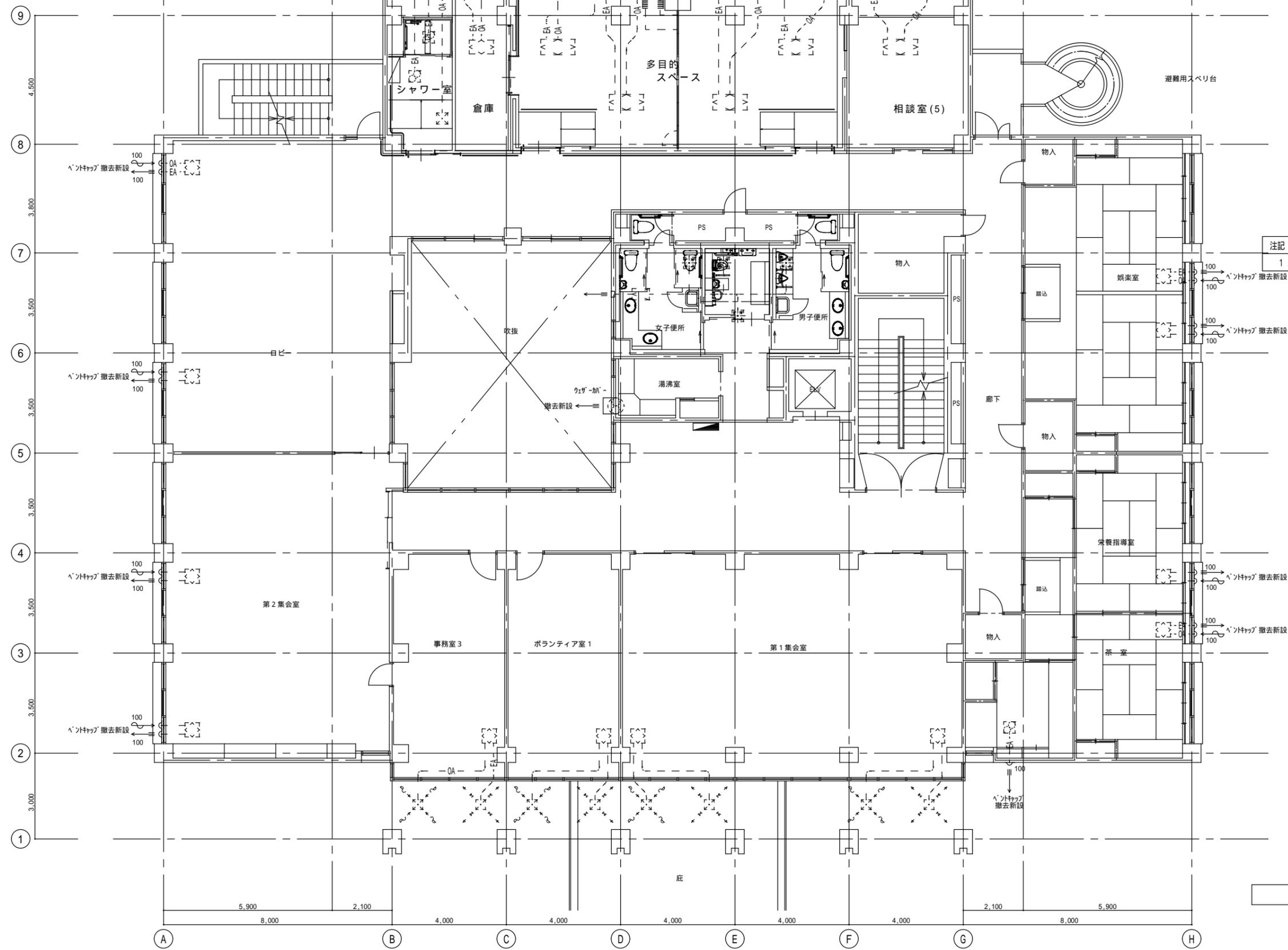
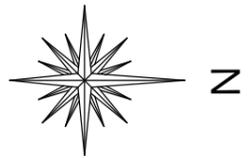


凡例	
— OA —	外気ダクト
— 排気ダクト	排気ダクト
● FD	防火ダンパ
← 100	ベントキャップ
⊗	壁付換気扇
⊙	天井埋込形換気扇
⊠	全熱交換型換気扇
⊞	送風機
⊞	吹出口 (天井付)
⊞	吸込口 (天井付)

注記
1. 外気ダクトベントキャップは防虫網付とする。

1階平面図 1/100

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 M-09
			担当	担当	担当	担当			

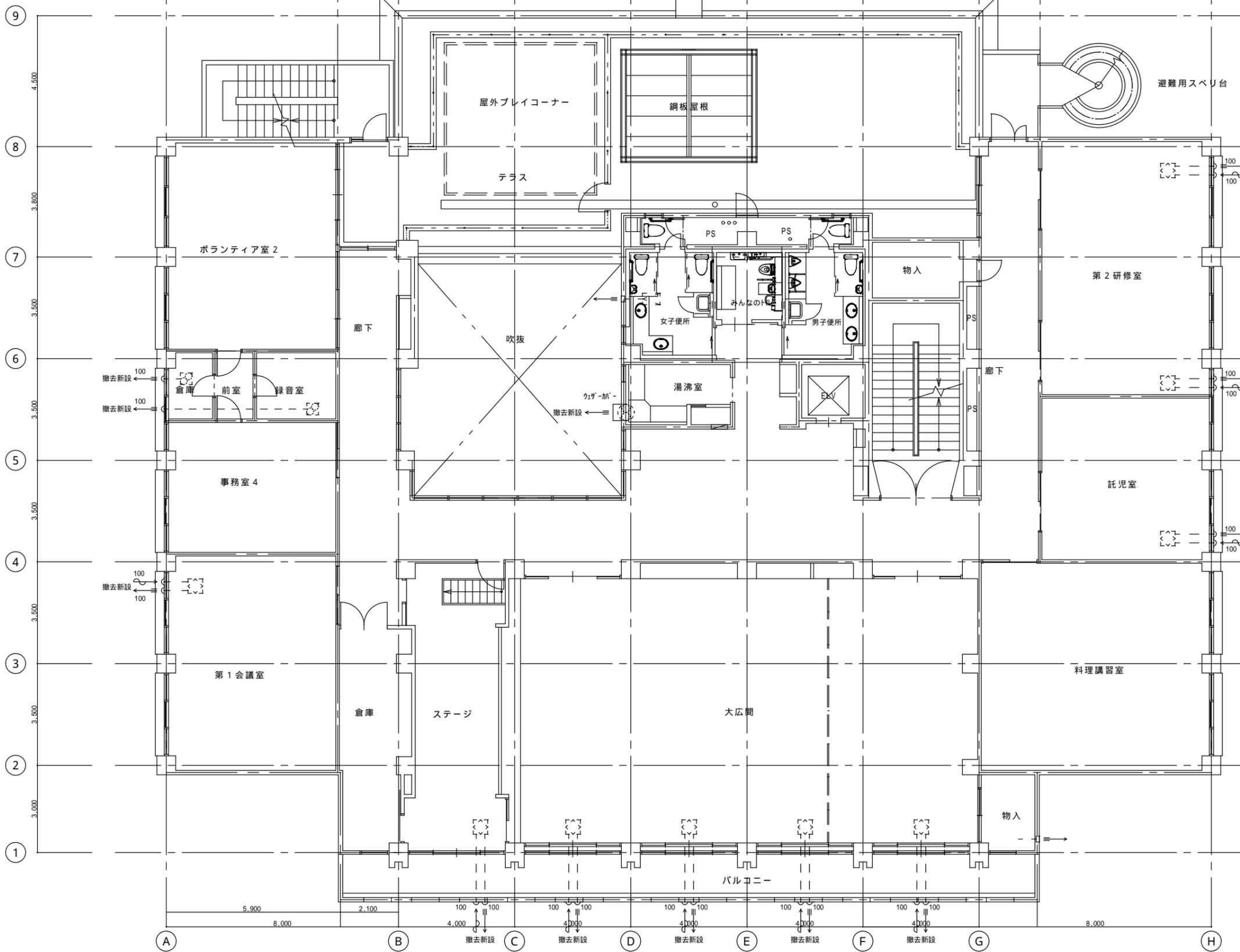
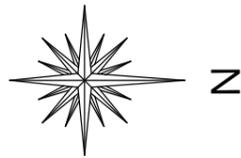


凡例	
— OA —	外気ダクト
— 排気ダクト —	排気ダクト
● FD	防火ダンパ
↑ ベントキャップ	ベントキャップ
⊗	壁付換気扇
⊗	天井埋込形換気扇
⊗	全熱交換型換気扇
⊗	送風機
⊗	吹出口(天井付)
⊗	吸込口(天井付)

注記
1. 外気ダクトベントキャップは防虫網付とする。

2階平面図 1/100

記 事		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2) 図面名称 換気設備 2階平面図(改修)	作成年月日 R06.03	図面番号 M-10
			担当	担当		担当	

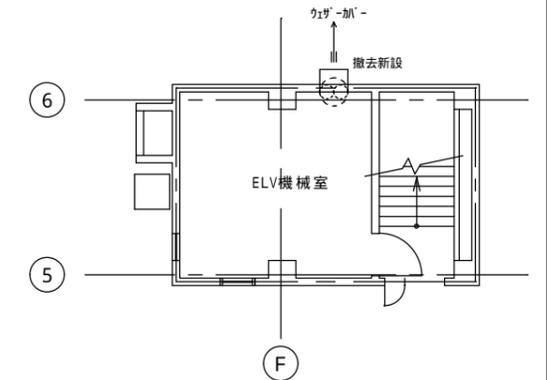


凡例

— OA —	外気ダクト
— —	排気ダクト
●	防火ダンパ
—▷	ベントキャップ
⊗	壁付換気扇
⊠	天井埋込形換気扇
⊞	全熱交換型換気扇
⊞	送風機
⊞	吹出口(天井付)
⊞	吸込口(天井付)

注記

1. 外気ダクトベントキャップは防虫網付とする。



3階平面図 1/100

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 M-11
			担当	担当	担当	担当			
図面名称 換気設備 3階平面図(改修)								縮尺 1/100	

電気設備工事特記仕様書-1

【工事概要】

- 1 工事場所
- 2 建物概要

建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法令別第一耐震安全性の分類	備考
				甲 乙	工事区分を記載 例：新築
				甲 乙	全館無人改修
				甲 乙	執務並行改修

3 工事科目

工事科目	建物名称	総合福祉会館
電灯設備		
動力設備		
雷保護設備		
受変電設備		
電力貯蔵設備		
発電設備		
構内情報通信網設備		
構内交換設備		
情報表示設備		
映像・音響設備		
拡声設備		
誘導支援設備		
テレビ共同受信設備		
監視カメラ設備		
駐車管理設備		
防犯・入退室管理設備		
火災報知設備		
中央監視制御設備		
医療関係設備		
構内配電線路		
構内通信線路		
電線調査		
撤去工事		

【特記事項】

- 1 一般事項
 - 1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」(以下、「標準仕様書」という。)、公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)令和4年版」(以下、「標準図」という。))及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」による。
 - 2) 工事項目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
- 2 特記事項
 - 項目及び特記事項は、印をついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は、印を適用する。

章	項目	特記事項
一般事項	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員に承諾を受ける。
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、「(社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(最新版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	電気工事士	契約電力500kW以上の場合も、第1種電気工事士による施工を行う。
	工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
	官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	工事用仮設物	構内につくることができる できない
	足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が設置したものは、無償で使用できる。
	監督職員事務所	設置しない 設置する(本工事 別途)
	備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) ・電気設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針 ・工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)
工事	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	引き渡しを要するもの【再生資源利用を図るもの】 右記のほか、 現場説明書による。
	建設発生土処分	構外指定地に搬出処理 (一財)城陽山砂利採取地整備公社 右記のほか、 現場説明書による。
	再生資源利用(促進)計画・実施書の提出	詳細は現場説明書による。
	1)「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。	
	アスベスト成形板の処理等(以下のほか、現場説明書による)	施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認 確認範囲 成形板の製造年等の確認 X線解析法 処理方法 非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

章	項目	特記事項
一般事項	工事関係書類	営繕工事契約関係提出書類書式集 一覧表により提出。 宇治市ホームページ参照 <http://www.city.uji.kyoto.jp> 月報 2部 3部 毎月末に提出。翌月の5日までに提出する。
	履行報告	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領(最新版)」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) 小黒板情報電子化については、現場説明書による。
	工事写真	
	完成図書	名称 内容 大きさ 部数 完成図 金文字製本 A4版 1部 完成図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 施工図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書 諸官庁提出書類 副本 1式 原因 完成図 1部 完成写真 アルバム綴り 2部 電子納品については、現場説明書による。
	著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表による。
	耐震施工	1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。 設置場所 特定の施設 一般の施設 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 上層階、屋上及び塔屋 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5) 中間階 1.5(1.5) 1.0(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0) 1階及び地下階 1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6) 設置場所 特定の施設 一般の施設 水 槽 水 槽 上層階、屋上及び塔屋 2.0 1.5 中間階 1.5 1.0 1階及び地下階 1.5 1.0
	注	注1 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設、乙類の建物は一般の施設を適用する。 注2 屋外に設置する機器は、建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。 注3 ()内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。 注4 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の√2とする。 注5 上層階の定義は、6階建以下の場合是最上階、7~9階建の場合は上階2階。 注6 重要機器(水槽類含む)は、下記による。(水槽類にはオイルタンク等を含む。) 配電盤 直流電源装置 自家発電装置 交換機 電算用電源 中央監視装置 UPS装置 自動火災報知装置 注7 操作車は本体を床又は壁にアンカーボルトで固定できるように固定金具を備えたものとし、車上機器は、転倒防止用の措置を講じたものとする。
	風圧力に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分Vo(30 3.2 3.4) 地表面粗度区分()
	風圧力(耐風力)	建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力(耐風力)検討(計算)書を監督職員に提出する。なお、検討(計算)範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 受雷部システム及び引下げ導線システム 太陽光アレイ及び接続箱 〇風力発電装置 テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト
工事	電線類	1) 特記なきものは、EM-I Eとする。 2) EM電線、EMケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 EM-アクセスフロア JCS4502(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンスケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-E E)及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-C E)を示す。 EM-M E E S JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
	電線管	電線管 P F管 ただし、露出部分は鋼製電線管とする。 分電盤等の2次側で第1ボックスまでは(鋼製電線管 P F管)とする。 ねじなし電線管 1) 雨線外及び湿気が多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は、厚鋼電線管とする。 2) スラブ厚の1/4を越える外径の配管及び(P F 2.2)又は(E 2.5)相当を越えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階の埋込配管 最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。 下記の露出配管は塗装(指定色塗装)を行う。 屋外(屋上を除く) 屋内居室 屋内P S・E P S 屋内機械室・電気室 〇廊下
	電線本数、管路等	分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員に承諾を受けて変更することができる。
	ボックス	樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。
	予備配管	分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合(2.5)を1本、5個以上の場合(2.5)を2本天井内まで立上げる。ケーブルラックの防火貫通部に(5.1)を1本以上立上げる。
	フラッシュプレート	和室 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製) その他 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製)
	床配線器具等	床用配線器具の形式は以下による。(図面特記のあるものを除く。) 二重床 インナー形 〇飛び出し形 〇内部固定形 〇外部固定形 二重床以外 飛び出し形 〇引出し形 〇内部固定形 〇外部固定形 (フロアベースは水平高低調整式(空転防止リング付) 砲金製 〇アルミ製とする。)
	機器	寸法 盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 接続 電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト アンカーボルト、全ネジ及びナットは、下記による。 屋外・多湿室等(溶融亜鉛メッキ SUS) その他(一般品 SUS)
	注	

章	項目	特記事項
一般事項	あと施工アンカー	施工後確認試験 行う 行わない 試験方法 引張試験機による引張試験とし、国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)「8.12.7 施工確認試験」による。 確認強度 監督職員との協議による。
	機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 分電盤 O A盤 実験盤 閉閉器箱 制御盤 キュービクル式配電盤 直流電源装置 交流無停電電源装置(UPS)(簡易型を除く)
	はつり	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。
	再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛り部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。
	その他	屋外の盤類・閉閉器箱 SUS 鋼板製 屋外のプルボックス SUS 鋼板製
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	電気方式	幹線 単相3線式 100V/200V 直流2線式 100V 分枝 単相2線式 100V 200V 直流2線式 100V
	照明制御による効果の評価	一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。
	照明制御装置	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を付属させる。
	多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を付属させる。
工事	LED制御装置の種類	図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあってはL X又はL Z、それ以外はL N又はL Jとする。
	R P又はM P形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。
	非常用照明の形式	電池内蔵形 電池別置形
	フロアコンセント	引出し形 飛び出し形 内部固定形 外部固定形 O Aフロア用
	分電盤等	1) 本工事の分電盤、O A盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、J I S C 8 2 0 1 - 2 - 1「回路遮断器」、同付属書J「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、J I S C 8 2 0 1 - 2 - 2「漏電遮断器」、同付属書J「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」による1種サイズのものとする。 2) S P D分離器(配線用遮断機)は(警報接点付 警報接点無)とする。 3) S P D分離器は、監督職員に承諾を受けて、S P D内蔵とすることができる。 O A盤の端子盤部に 通気口 冷却ファン を設ける
	照明用ポール	閉閉器を設ける(配線用遮断器 カットアウトスイッチ) 閉閉器を設けない
	一般照明の照度測定	実施 する しない
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	電気方式	幹線 三相3線式 200V 分枝 三相3線式 200V
	制御盤	1) 制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 2) インバータ発熱対策用冷却装置を扉面に取り付けた場合、開扉時に冷却装置を休止させる。 3) インバータ発熱対策用冷却装置の故障を扉面に表示(させる させない)
工事	監視方法	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視
	インターロック	自動火災報知設備の受信機、運動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空調機を停止させる。
	インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.7 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11 インバータ効率(%) 88.0 88.5 89.2 89.5 90.4 90.4 90.4 90.4 電動機出力(kW) 1.5 1.8 2.2 3.0 3.7 4.4 5.5 7.5 インバータ効率(%) 95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 備考) 1) 電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2) インバータ効率は、1.00%負荷時の値とする。
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	保護レベル	受雷部システム 突針支持管 鋼製 ステンレス製
	接地システム	A型接地極(板状接地極 垂直接地極 放射状接地極) B型接地極(環状接地極 網状接地極) 構造体利用接地極(構造体底部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を〇設ける 設けない)
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	電気方式	高圧 三相3線式 6kV 低圧 三相3線式200V 単相3線式100V/200V 三相3線式 V 三相4線式 V/V
	配電盤形式	屋内キュービクル式配電盤 屋外キュービクル式配電盤 開放形配電盤 変圧装置 コンデンサ盤 高圧スイッチギア(C X形 C W形 P W形) 低圧スイッチギア(C X形 C S形 C W形 F W形)
	変圧器の規格〔グ〕	1) 変圧器(スコット結線変圧器、モールド変圧器)でH絶縁材料を使用するもの、一次電圧が低圧または特別高圧のものを除く。)、は、グリーン購入法による特定調達品目の判断基準を満たすものとする。 2) ガイヤル温度計は、最高温度指針付とする。
監視方式	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視	
基礎	本工事 別途工事 既設	
付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。	
その他	低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。 低圧配電盤の裏面に負荷側引出し端子を設ける。 低圧配電盤に内部点検空間を設ける。(幅600mm以上・高さ1,800mm以上) 盤内照明器具はLEDとする。 換気扇を設ける場合は回転センサ付とする。(盤面警報ランプ共)	

電気設備工事特記仕様書-2

Table with columns: 項目, 特記事項, 配管, 配線, 機器取付. Includes sections for 電力貯蔵設備, 発電機, 太陽光発電装置, 通信機設備, 制交換設備, 情報表示設備, 映像機器, 拡声設備, 誘導支援設備, and テレビ共同受信設備.

Table with columns: 項目, 特記事項, 配管, 配線, 機器取付. Includes sections for 監視カメラ, 管制設備, 防火報知設備, 中央監視, 医療関係設備, 構内通信設備, 配線, 電線, and 構内通信線路.

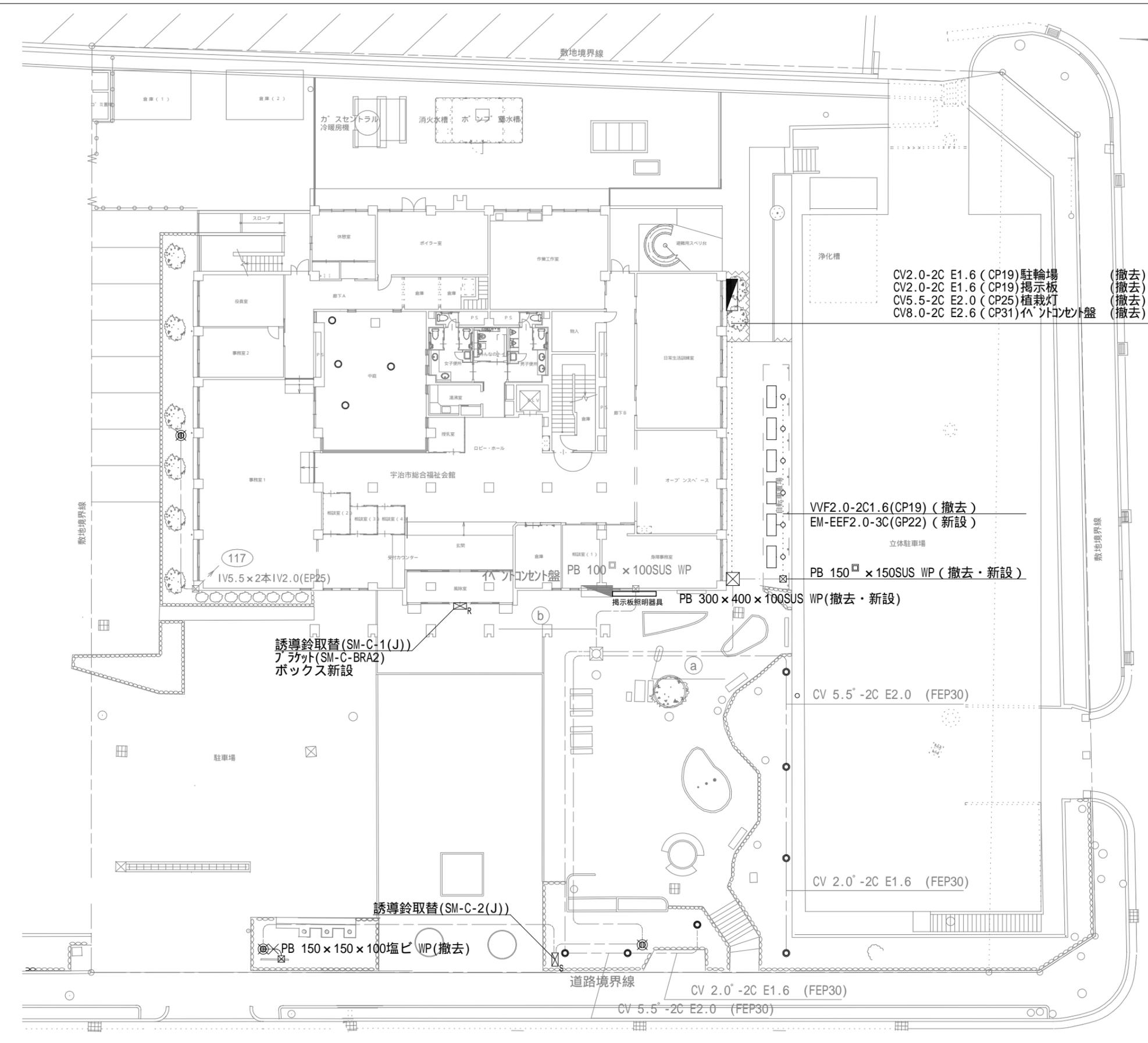
Table with columns: 項目, 特記事項. Includes 調査報告 and 別表 付属品・予備品.

Table listing accessories and spare parts: イージーキャビネット, キーボックス, テスター, マンホールフック, etc.

Table for 試験・検査一覧 (Test/Inspection List) with columns for 項目 and 内容. Includes items like 工事完了確認, 接地抵抗測定, etc.

Table for 其他 (Others) with columns for 項目 and 内容. Includes 試験機器類の校正記録, 停電工事の必要な時, etc.

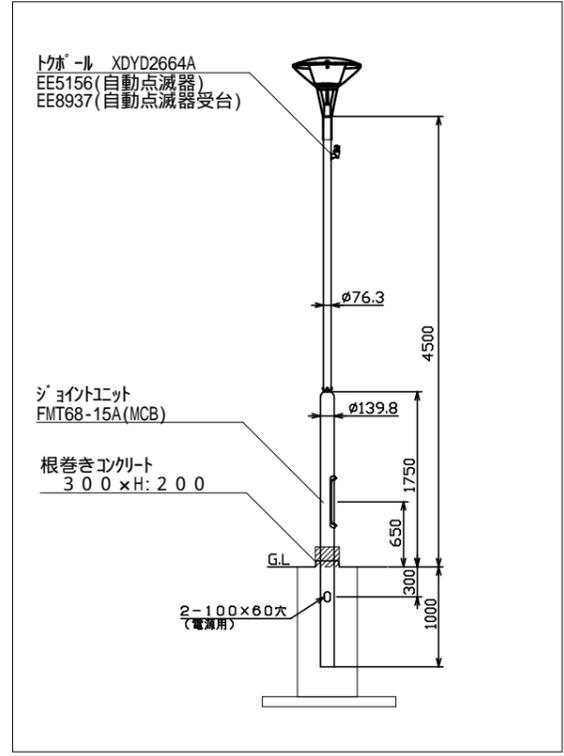
Table for 機器取付高さ (Equipment Installation Height) with columns for 名称, 測点, 取付高 (mm), 名称, 測点, 取付高 (mm). Lists various electrical components and their heights.



階	室名	照明器具	台数	備考
1階	屋外(駐輪場)	H-201 (ウォールライト)	6	新設(更新)
	屋外(駐輪場)	FL207 防水防湿型 (HIT25T)	6	撤去
	屋外(中庭)	-60 (LEDスタンド) LGH45509F	3	新設
	屋外(中庭)	庭園灯(松月)602FS	1	撤去
	屋外(西側)	P-600-B-緑付(LPT1-02)基礎含む	7	新設(更新)
	屋外(西側)	ガーデンライト(Y2160)基礎含む	7	撤去
	屋外(東側)掲示板	T-40-1 笠なし型 INF41030JLE9	1	新設(更新)
	屋外(東側)掲示板	笠なし 40W x 1型	1	撤去
	屋外(東側)	Q-300NY22694LE9(XDYD2664A)基礎含む	2	新設(更新)
	屋外(東側)	HF100w(ポール) H=5.0m 基礎含む	2	撤去
屋外(南側)	Q-300NY22694LE9(XDYD2664A)基礎含む	1	新設(更新)	
屋外(南側)	HF100w(ポール) H=5.0m 基礎含む	1	撤去	

(特記事項)
1) 凡例は、R階平面図参照

CV2.0-2C E1.6 (CP19) 駐輪場	(撤去)	CE2.0-2C E1.6 (GP22) 駐輪場	(新設)
CV2.0-2C E1.6 (CP19) 掲示板	(撤去)	CE2.0-2C E1.6 (GP22) 掲示板	(新設)
CV5.5-2C E2.0 (CP25) 植栽灯	(撤去)	CE5.5-2C E2.0 (GP28) 植栽灯	(新設)
CV8.0-2C E2.6 (CP31) イントロセント盤	(撤去)	CE8.0-2C E5.5 (GP42) イントロセント盤	(新設)
		CE2.0-2C E1.6 (仮設) 駐輪場	(新設・撤去)
		CE2.0-2C E1.6 (仮設) 掲示板	(新設・撤去)
		CE5.5-2C E2.0 (仮設) 植栽灯	(新設・撤去)
		CE8.0-2C E5.5 (仮設) イントロセント盤	(新設・撤去)

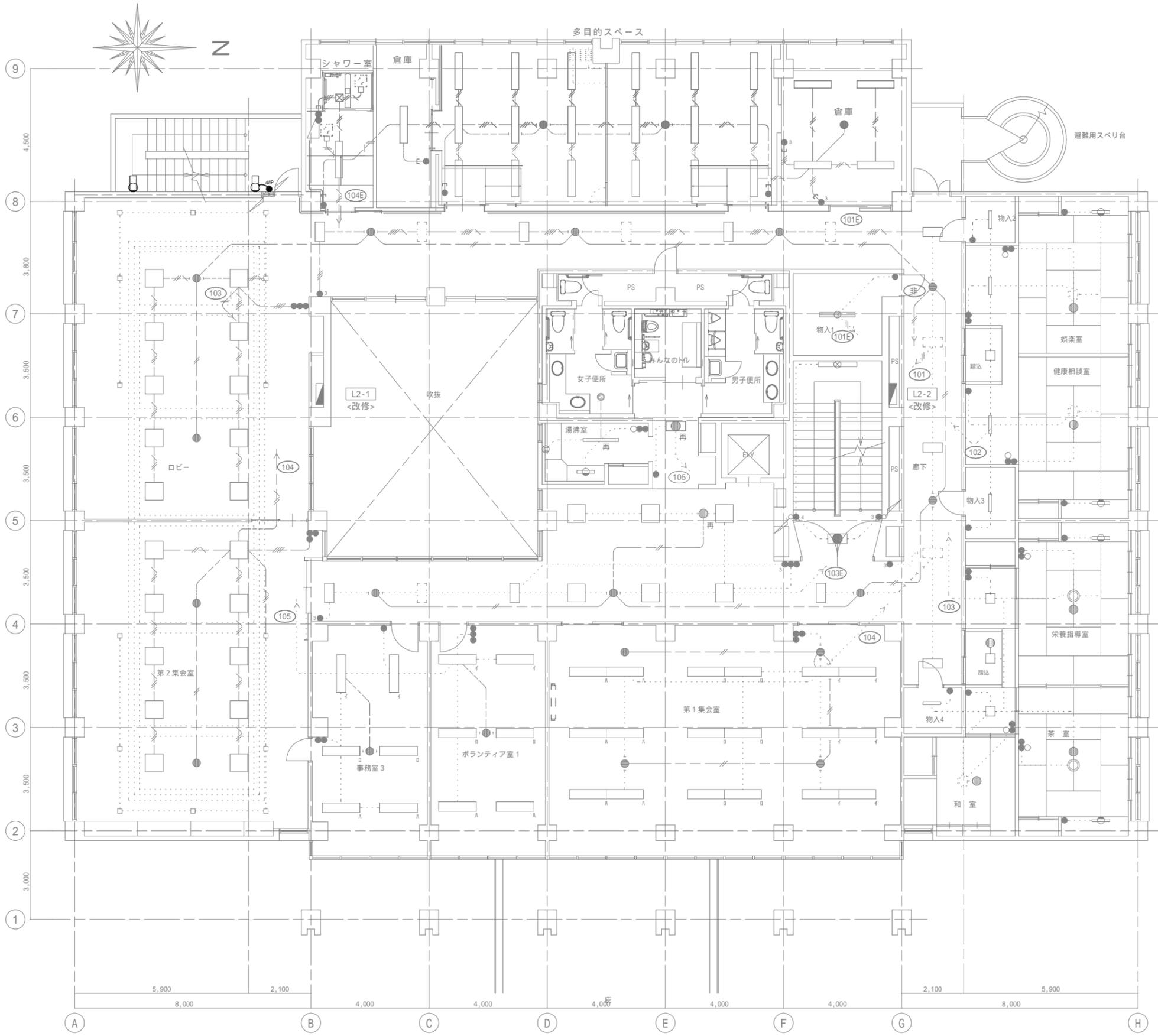


a	屋外(駐輪場)	CV8.0sq-2C E2.6	(FEP30)	イントロセント盤
	屋外(駐輪場)	CV2.0sq-2C E1.6	(FEP30)	掲示板
b	屋外(中庭)	CV2.0sq-2C E1.6	(FEP30)	駐輪場
	屋外(中庭)	CV5.5sq-2C E2.0	(FEP30)	植栽灯
	屋外(西側)	CV8.0sq-2C E2.6	(FEP30)	イントロセント盤
	屋外(西側)	CV2.0sq-2C E1.6	(FEP30)	掲示板

印 新設
印 既設撤去取替
印 既設機器一時撤去清掃後再取付
印 撤去

外構電気設備図 S: 1/200

G	LEDシーリング	H	LED照明器具 (ウォールライト)	O	LED照明器具 (LEDスタンド)	T	LED照明器具	P	LED照明器具 (ローボールライト) 基礎																																													
G-60	LED照明器具 (コップ形)	H-201	LED照明器具 (20形)	O-60	40形電球1灯器具相当	T-40-1	LDL40x1 笠なし型	P-60																																														
○				○	パナソニック LGW45509F		パナソニック NNF41030JLE9	●																																														
<p>電球色 (2700K)、Ra80 器具光束309lm、消費電力4.3W、電圧100V 壁面・天井面取付専用 ネジ込み方式・防湿型・防雨型 プラスチック (シルバーグレースメタリック) カバー: ガラス (乳白) カバーキャッチ付</p>		<p>公: LBF3MP/RP-2-13</p>		<p>電球色 (2700K)、高演色Ra90 器具光束145lm、消費電力5W、電圧100V 器具高: 約400mm、少電圧方式 キャッチャーケーブル5m付、電源プラグ付 パネル: ガラス (乳白) ステンレス (黒色・シルバー仕上げ)</p>		<p>適合ランプ: 直管LEDランプ用 電圧180~242V ランプ素材: ガラス製、Ra: 84 反射板: 高反射板 (白色) 光束維持時間4000時間 (光束維持率85%)</p>		<p>根巻きコンクリート 300xH:100</p>																																														
M	LEDシーリングライト (直付形)	P	LED照明器具 (ローボールライト)	Q	LED街路灯 (エバライト140形相当)	<p>既設分電盤 (L-1)</p>																																																
M-100	LED照明器具 (シーリングライト)	P-60		Q-300	NNY22694LE9																																																	
○		●			公共品番 LST2-60																																																	
<p>電球色 (2700K)、Ra83 器具光束410lm、消費電力5.9W、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型 カバー: アクリル (乳白)、(ライトナチュラル仕上)</p> <p>パナソニック LGB51522LE1 (相当品)</p>		<p>ランプ別売 (E26)、防雨型、100V 光束維持時間4000時間 (光束維持率70%) 本体・ガード: アルミダイカスト (ミディアムグレースメタリック) グローブ: ポリカーボネート (透明) 天板: アルミ (ミディアムグレースメタリック) ポール: ステンレス (ミディアムグレースメタリック) 幅 120・地上高958、保護等級: IP23 パナソニック NNY2267K 公: LPT1-02LN</p>		<p>光束9100lm、消費電力98W 電圧100~242V 昼白色、5000K、Ra70 光束維持時間6万時間 (光束維持率70%) 本体: アルミダイカスト (ミディアムグレースメタリック) グローブ: ポリカーボネート (透明) 天板: アルミ (ミディアムグレースメタリック) 上方光束比5~15% 耐雷サージ15kV、耐風速60m 落下防止ワイヤー付</p>																																																		
Q	外灯ポール	R	誘導用電子チャイム (玄関)	S	誘導用電子チャイム (玄関)																																																	
Q-300	XDYD2664A		参考品番 SM-C-1(J) プラケット SM-C-BRA2		参考品番 SM-C-2(J)																																																	
<p>トポール XDYD2664A EE5156 (自動点滅器) EE8937 (自動点滅器受台)</p> <p>ジョイントユニット FMT68-15A (MCB)</p> <p>根巻きコンクリート 300xH:200</p> <p>本体: ポリエステル樹脂粉体焼付塗装 コーヒングラックアタッチメント付</p>		<p>SM-C-1(J)、2(J)、15(J)、16(J)用 7ヶ所全面 鏡板 (鏡付塗料) 外4色</p>				<p>分岐電圧全てAC100V</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>機器名</th> <th>個数</th> <th>品番</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主幹</td> <td>ELB3P100/75A</td> <td>1</td> <td>BKE37535</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分岐</td> <td>MCB1P 50/20A (NS付)</td> <td>4</td> <td>BBNS1206</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分岐</td> <td>MCB2P 50/50A</td> <td>1</td> <td>BBK250</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御機器</td> <td>MC (MC-20)</td> <td>4</td> <td>S-F20DP</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御機器</td> <td>TB 20A</td> <td>8</td> <td>TB1P20A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御機器</td> <td>TB 15A</td> <td>3</td> <td>TB1P15A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御機器</td> <td>BRD5213</td> <td>4</td> <td>BRD5213H</td> <td></td> </tr> <tr> <td>制御機器</td> <td>TB261201K</td> <td>2</td> <td>TB261201K</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	機器名	個数	品番	備考	主幹	ELB3P100/75A	1	BKE37535		分岐	MCB1P 50/20A (NS付)	4	BBNS1206		分岐	MCB2P 50/50A	1	BBK250		制御機器	MC (MC-20)	4	S-F20DP		制御機器	TB 20A	8	TB1P20A		制御機器	TB 15A	3	TB1P15A		制御機器	BRD5213	4	BRD5213H		制御機器	TB261201K	2	TB261201K	
区分	機器名	個数	品番	備考																																																		
主幹	ELB3P100/75A	1	BKE37535																																																			
分岐	MCB1P 50/20A (NS付)	4	BBNS1206																																																			
分岐	MCB2P 50/50A	1	BBK250																																																			
制御機器	MC (MC-20)	4	S-F20DP																																																			
制御機器	TB 20A	8	TB1P20A																																																			
制御機器	TB 15A	3	TB1P15A																																																			
制御機器	BRD5213	4	BRD5213H																																																			
制御機器	TB261201K	2	TB261201K																																																			



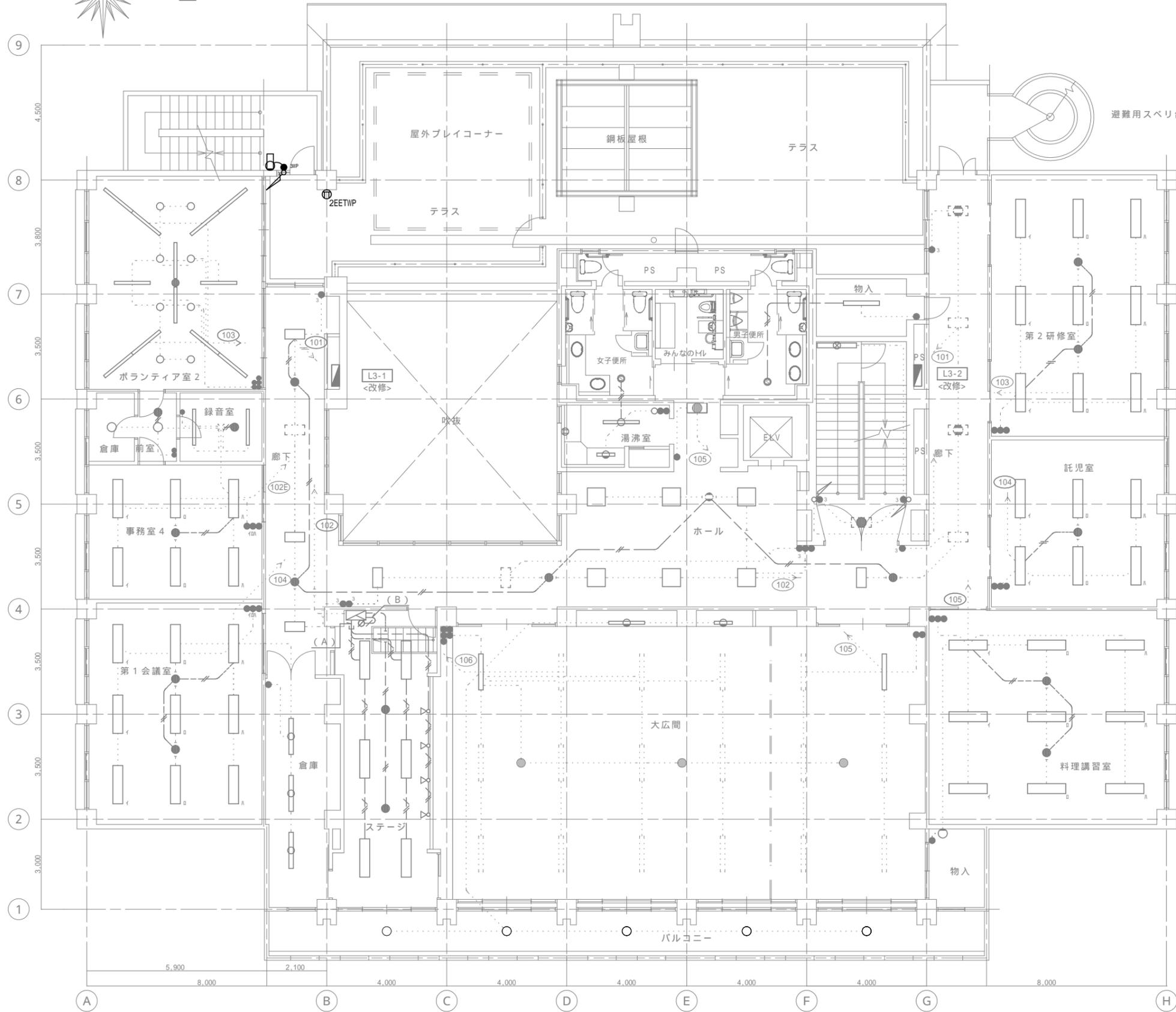
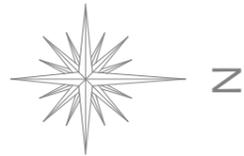
階	室名	照明器具	台数	備考
2階	屋外階段	H-201 (ウォールライト)	2	新設(更新)
	屋外階段	4路スイッチ IP	1	新設(更新)

(特記事項)
 1) 凡例は、R階平面図参照

印 新設
 印 既設撤去取替
 印 既設機器一時撤去清掃後再取付

2階平面図 1/100

記 事		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 E-06
			担当	担当	担当	担当			



階	室名	照明器具	台数	備考
3階	屋外階段	H-201 (ウォールライト)	1	新設(更新)
	バルコニー	M-100 (シーリングライト)	5	新設(更新)
	屋外階段	2EETW IP	1	新設(更新)
	屋外階段	3路M付 IP	1	新設(更新)

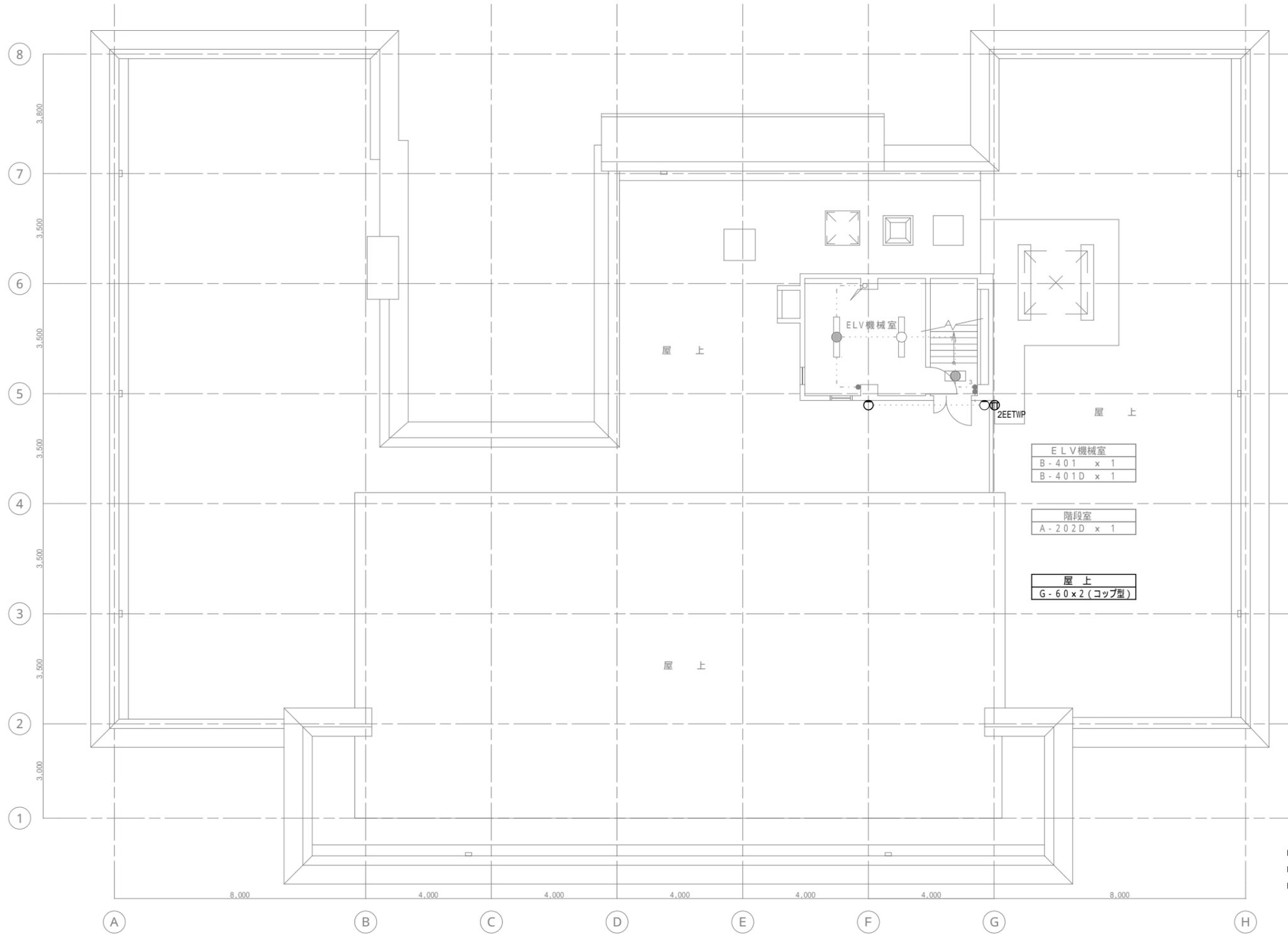
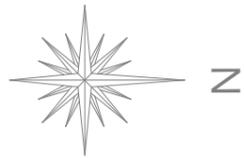
(特記事項)

1) 凡例は、R階平面図参照

- 印 新設
- 印 既設撤去取替
- 印 既設機器一時撤去清掃後再取付

3階平面図 1/100

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 E-07
			担当	担当	担当	担当			



記号	名称	備考
■	分電盤	
○	照明器具 (LED)	
○	照明器具 (LED) 姿図参照	
○	照明器具 (LED)	
○	照明器具 (LED) 姿図参照	
○	照明器具 (LED)	
○	非常照明器具 (LED)	
○	照明器具 (LED)	
○	照明器具 (LED)	
○	照明器具 (LED)	
○	照明器具 (LED)	
○	照明器具 (LED)	
○	照明器具 (LED)	
○	照明器具 (LED)	
○	照明器具 (LED) 姿図参照	
○	自動点滅器 (100V - 3A)	
○	スイッチ (1P15A x 1)	
○	スイッチ (1P15A x 2)	
○	スイッチ (1P15A x 3)	
○	スイッチ (1P15A x 4)	
○	スイッチ (1P15A x 5)	
○	スイッチ (1P15A x 2 + 1P15AL x 1)	
○	スイッチ (3W15A x 2)	
○	スイッチ (1P15A x 1 + 3W15A x 1)	
○	スイッチ (3W15A x 1) WP	
○	スイッチ (4W15A x 1) WP	
○	リモコンスイッチ (フル2線 2回路)	
○	リモコンスイッチ (フル2線 4回路)	
○	リモコンスイッチ (フル2線 5回路)	
○	リモコンスイッチ (フル2線 9回路)	
○	コンセント (2P15A x 1)	
○	調光ユニット	
○	防雨カバー	

ELV機械室	
B-401	x 1
B-401D	x 1

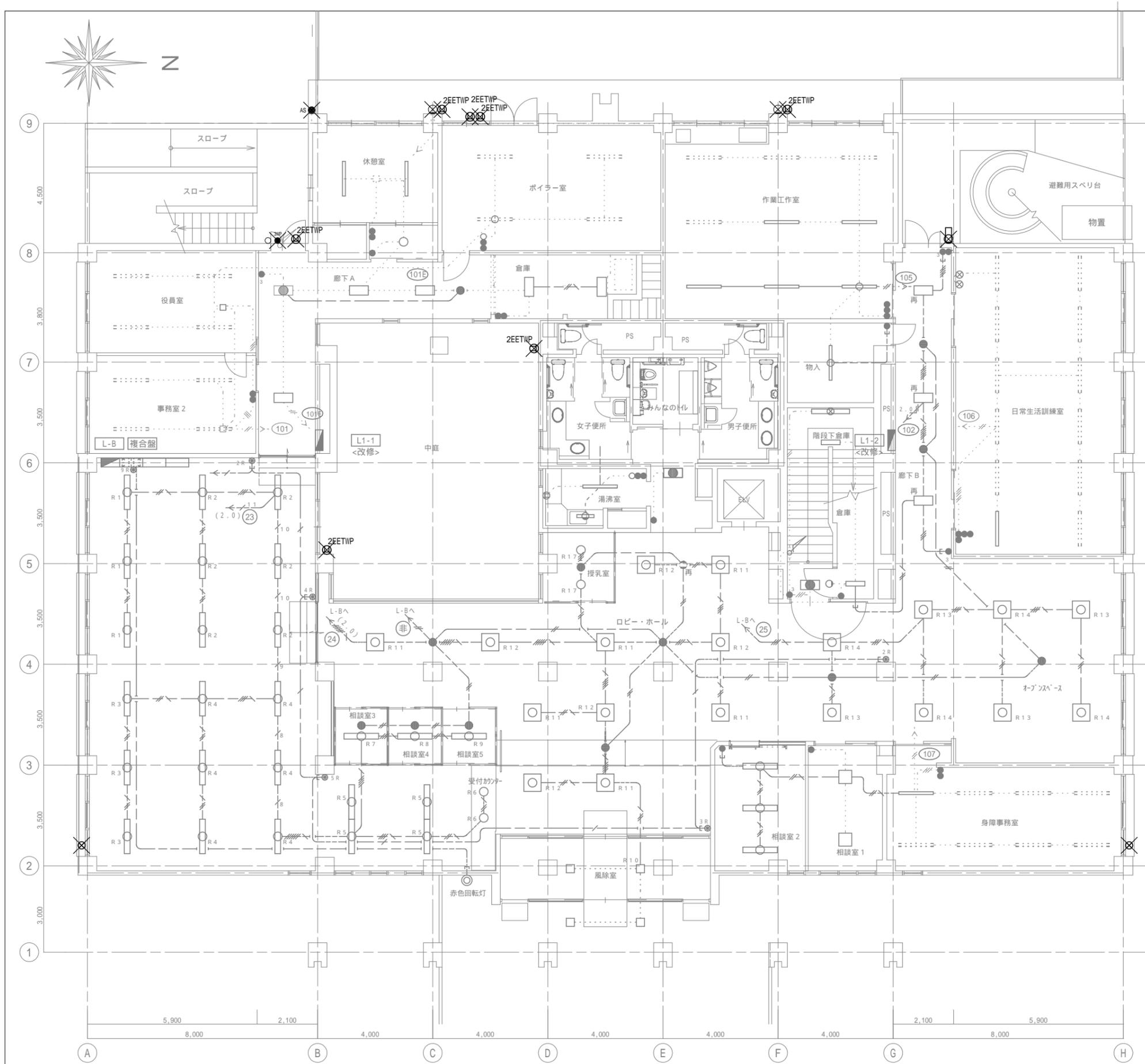
階段室	
A-202D	x 1

屋上	
G-60 x 2 (コップ型)	

階	室名	照明器具	台数	備考
R階	屋外	G-60 (コップ型)	2	新設 (更新)
	屋外	2x2EET WP	1	新設 (更新)

印 新設
 印 既設撤去取替
 印 既設機器一時撤去清掃後再取付

R階平面図 1/100



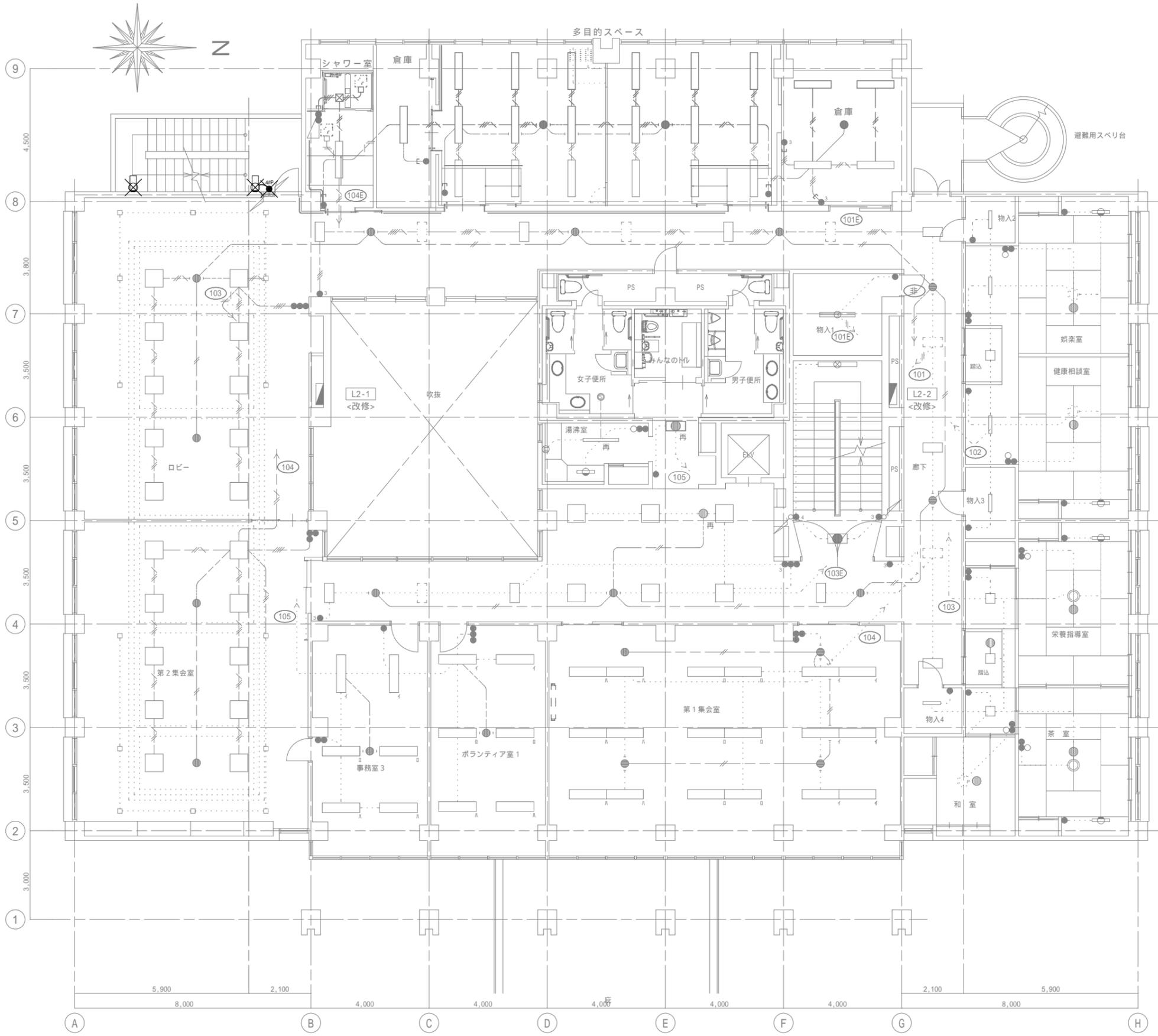
階	室名	照明器具	台数	備考
1階	屋外(スベリ台側)	H-201 FL20W-1灯	1	撤去(更新)
	屋外(西側)	G-60 IL40W(コップ型)	2	撤去(更新)
	屋外(西側)	ヒヤライト	1	一時撤去
	屋外(西側)	3路スイッチ	1	撤去(更新)
	屋外(西側)	自動点滅器	1	撤去(更新)
	屋外(西側)	エレクトロニクス	5	撤去(更新)
	屋外(北側)	防雨カバー	1	撤去(更新)
	屋外(南側)	防雨カバー	1	撤去(更新)
	屋外(中庭)	エレクトロニクス	2	撤去(更新)

(特記事項)
 1) 凡例は、R階平面図参照

× 撤去を表す

印 既設機器一時撤去清掃後再取付

1階平面図 1/100



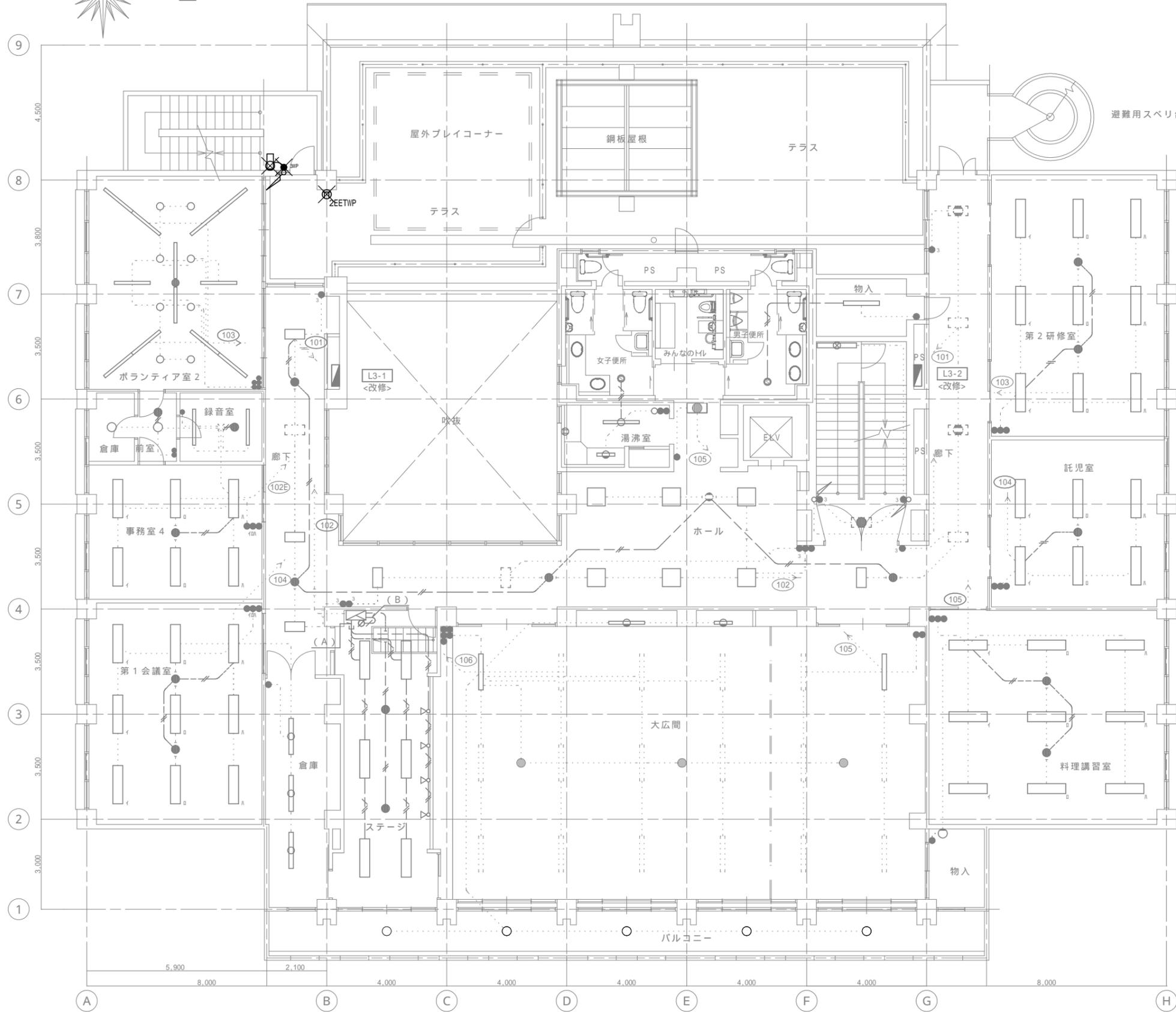
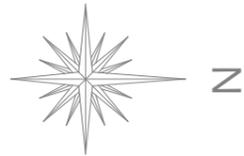
階	室名	照明器具	台数	備考
2階	屋外階段	H・201 FL20W・1灯	2	撤去(更新)
	屋外階段	4路2灯 IP	1	撤去(更新)

(特記事項)
 1) 凡例は、R階平面図参照

✕ 撤去を表す

2階平面図 1/100

記事		<p>株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日	図面番号 E-10
			担当 担当 担当 担当	担当 担当		R06.03	
図面名称 電灯設備 2階撤去図							



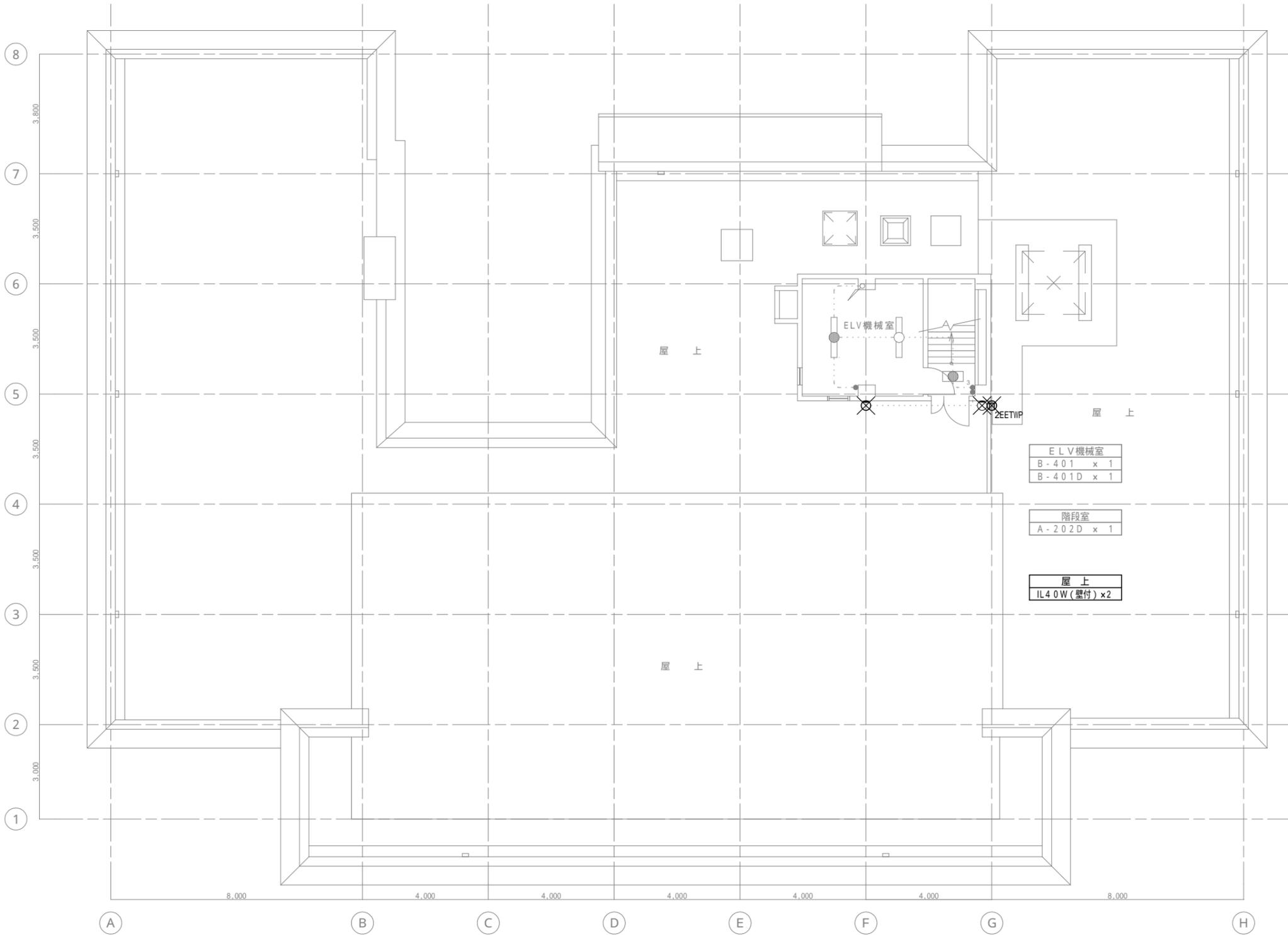
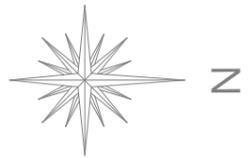
階	室名	照明器具	台数	備考
3階	屋外階段	H-201 FL20W-1灯	1	撤去(更新)
	バルコニー	G-60 IL100W(スポットライト)	5	撤去(更新)
	屋外階段	1灯/2EET WP	1	撤去(更新)
	屋外階段	3灯/1灯 WP	1	撤去(更新)

(特記事項)
 1) 凡例は、R階平面図参照

× 撤去を表す

3階平面図 1/100

記事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 E-11
			担当	担当	担当	担当			



ELV機械室
B-401 x 1
B-401D x 1

階段室
A-202D x 1

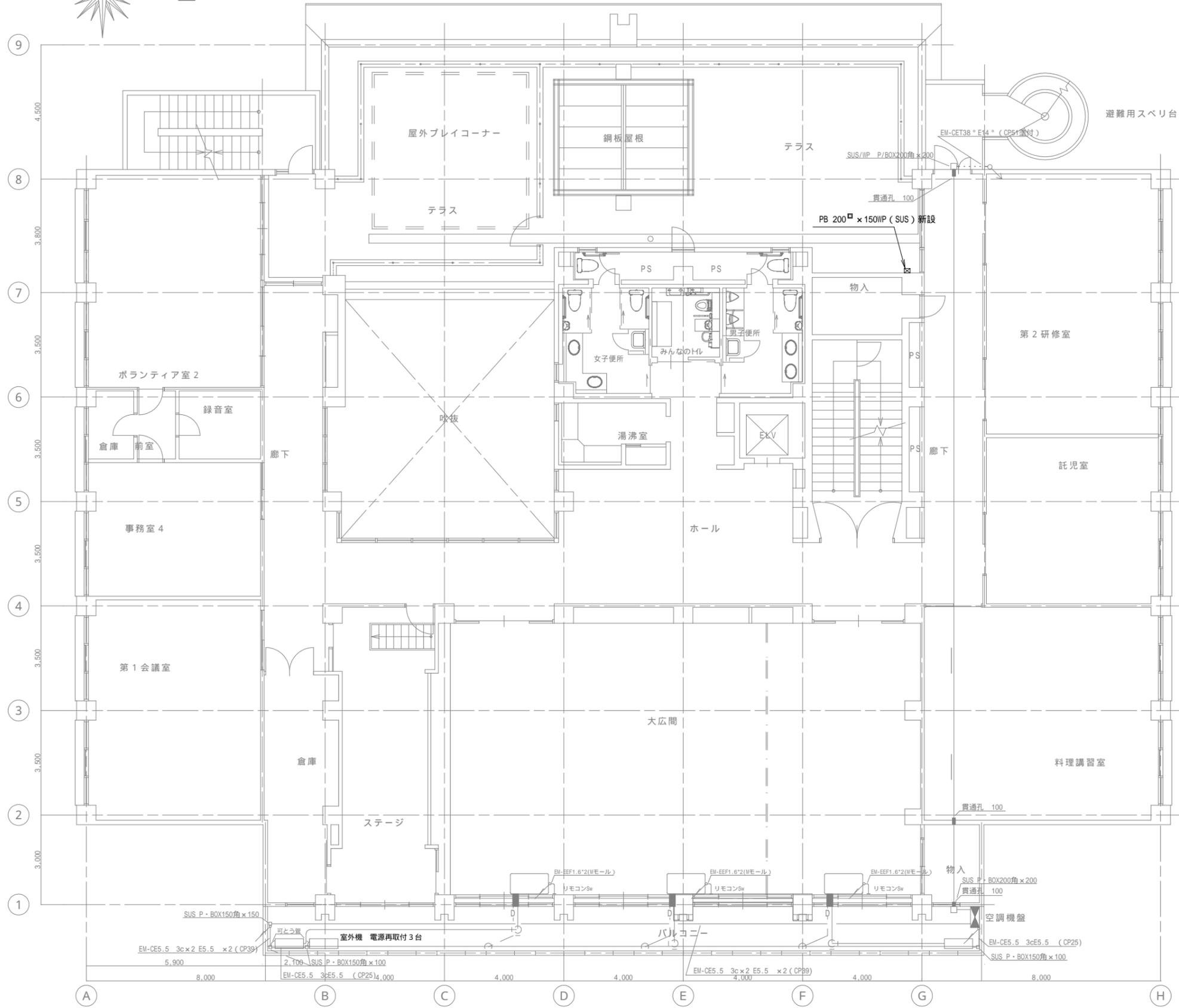
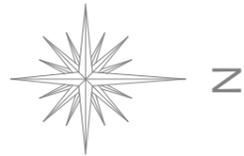
屋上
IL40W(壁付) x 2

記号	名称	備考
	分電盤	
	照明器具 (LED)	
	照明器具 (LED) 姿図参照	
	照明器具 (LED)	
	照明器具 (LED) 姿図参照	
	照明器具 (LED)	
	非常照明器具 (LED)	
	照明器具 (LED)	
	照明器具 (LED)	
	照明器具 (LED)	
	照明器具 (LED)	
	照明器具 (LED)	
	照明器具 (LED)	
	照明器具 (LED) 姿図参照	
	自動点滅器 (100V - 3A)	
	スイッチ (1P15A x 1)	
	スイッチ (1P15A x 2)	
	スイッチ (1P15A x 3)	
	スイッチ (1P15A x 4)	
	スイッチ (1P15A x 5)	
	スイッチ (1P15A x 2 + 1P15AL x 1)	
	スイッチ (3W15A x 2)	
	スイッチ (1P15A x 1 + 3W15A x 1)	
	スイッチ (3W15A x 1) WP	
	スイッチ (4W15A x 1) WP	
	リモコンスイッチ (フル2線 2回路)	
	リモコンスイッチ (フル2線 4回路)	
	リモコンスイッチ (フル2線 5回路)	
	リモコンスイッチ (フル2線 9回路)	
	コンセント (2P15A x 1)	
	調光ユニット	
	調光スイッチ	
	防雨カバー	

階	室名	照明器具	台数	備考
R階	屋外階段	IL40W(壁付)	2	撤去(更新)
	屋外階段	カバーZET WP	1	撤去(更新)

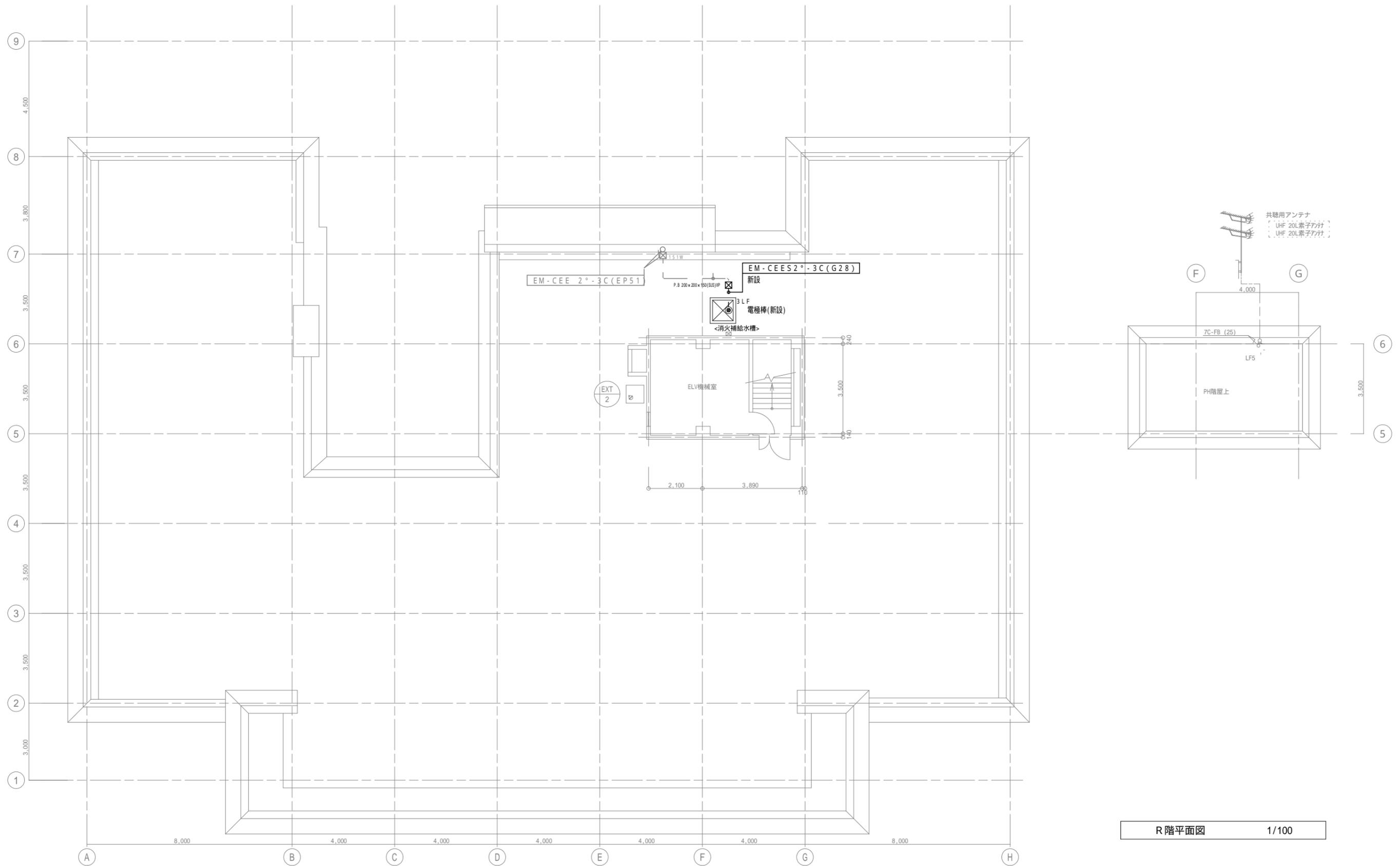
× 撤去を表す

R階平面図 1/100



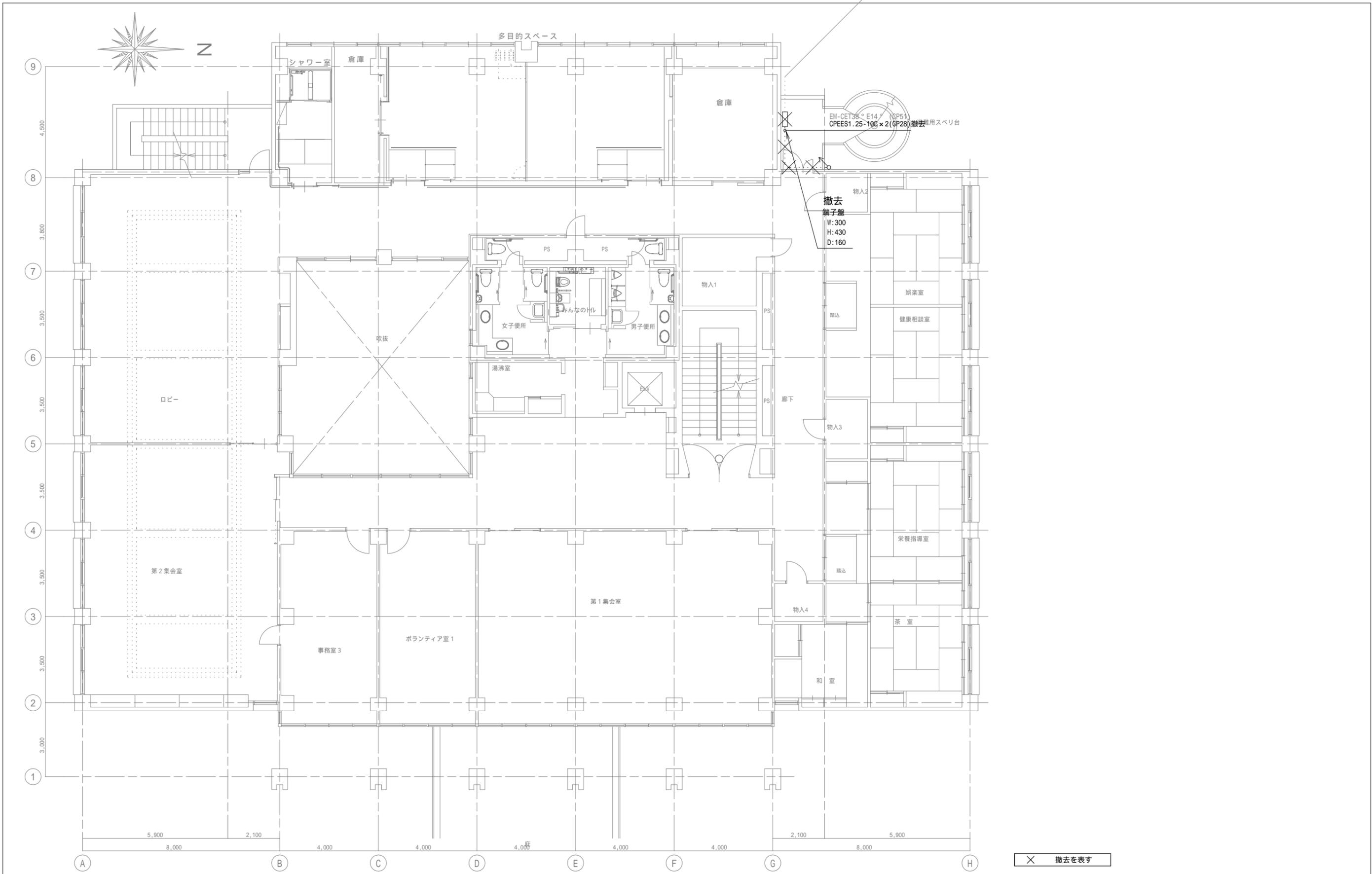
3階平面図 1/100

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 E - 13
			担当	担当		担当	
					図面名称	弱電設備 3階改修図	



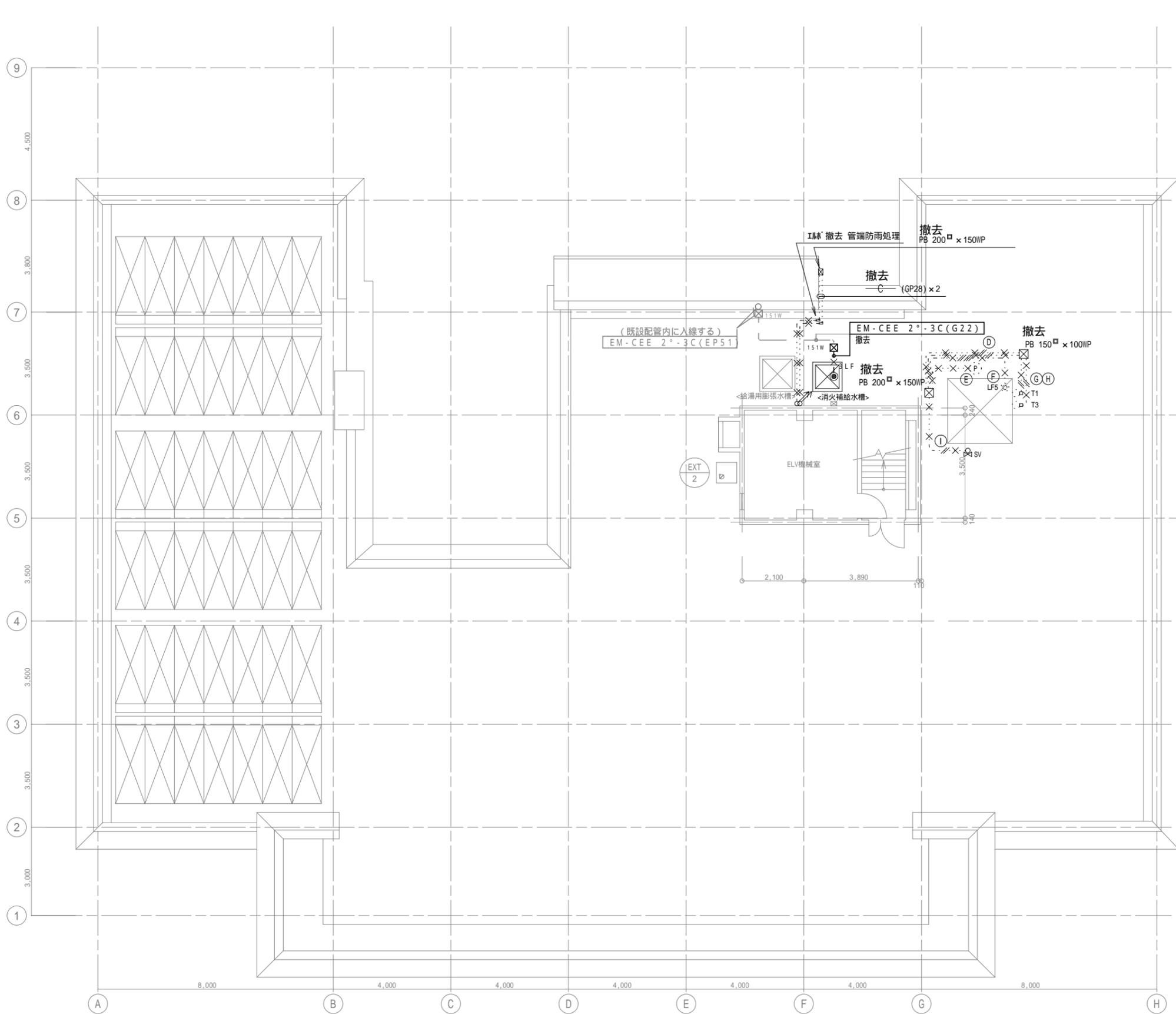
R階平面図 1/100

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日	図面番号 E-14
			担当	担当		担当	
			図面名称		弱電設備 R階改修図		

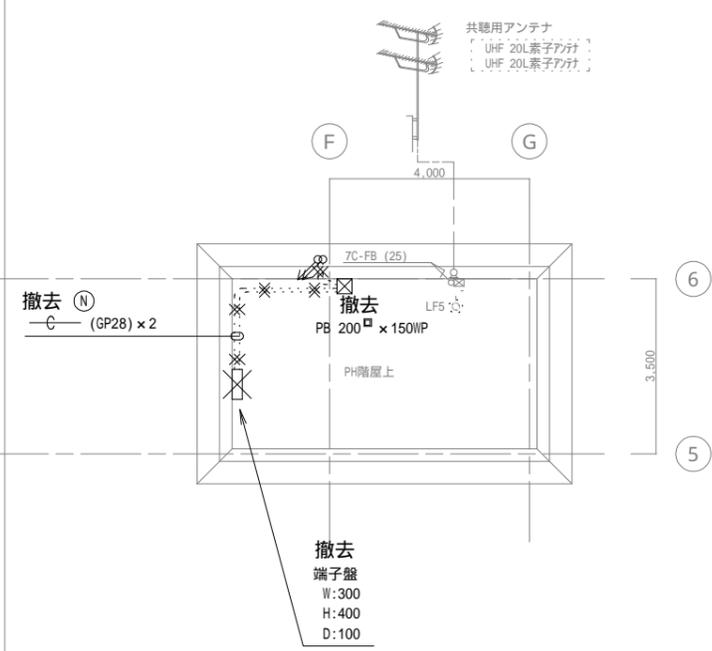


2階平面図 1/100

記事		<p>株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲	主査	工事名称	宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日	図面番号
			担当	担当				
						図面名称	弱電設備 2階撤去図	
								1/100



Ⓓ	CV2- 2C	(GP16)	T1
	CV2- 2C	(GP16)	T3
Ⓔ	CV 3.5'-4C	(GP22)	不明
Ⓕ	CV2- 5C	(GP16)	SP 電機
Ⓖ	IV2.0'- 2C	(GP22)	電磁弁装置
Ⓚ	CV2- 5C	(GP28)	不明
Ⓛ	CV2- 2C	(GP22)	T2
Ⓜ	CV2- 2C	(GP16)	SV
Ⓝ	CV2- 2C	(GP16)	T1
Ⓗ	CV2- 2C	(GP16)	T3
Ⓜ	CV2- 5C	(GP28)	SP 電機

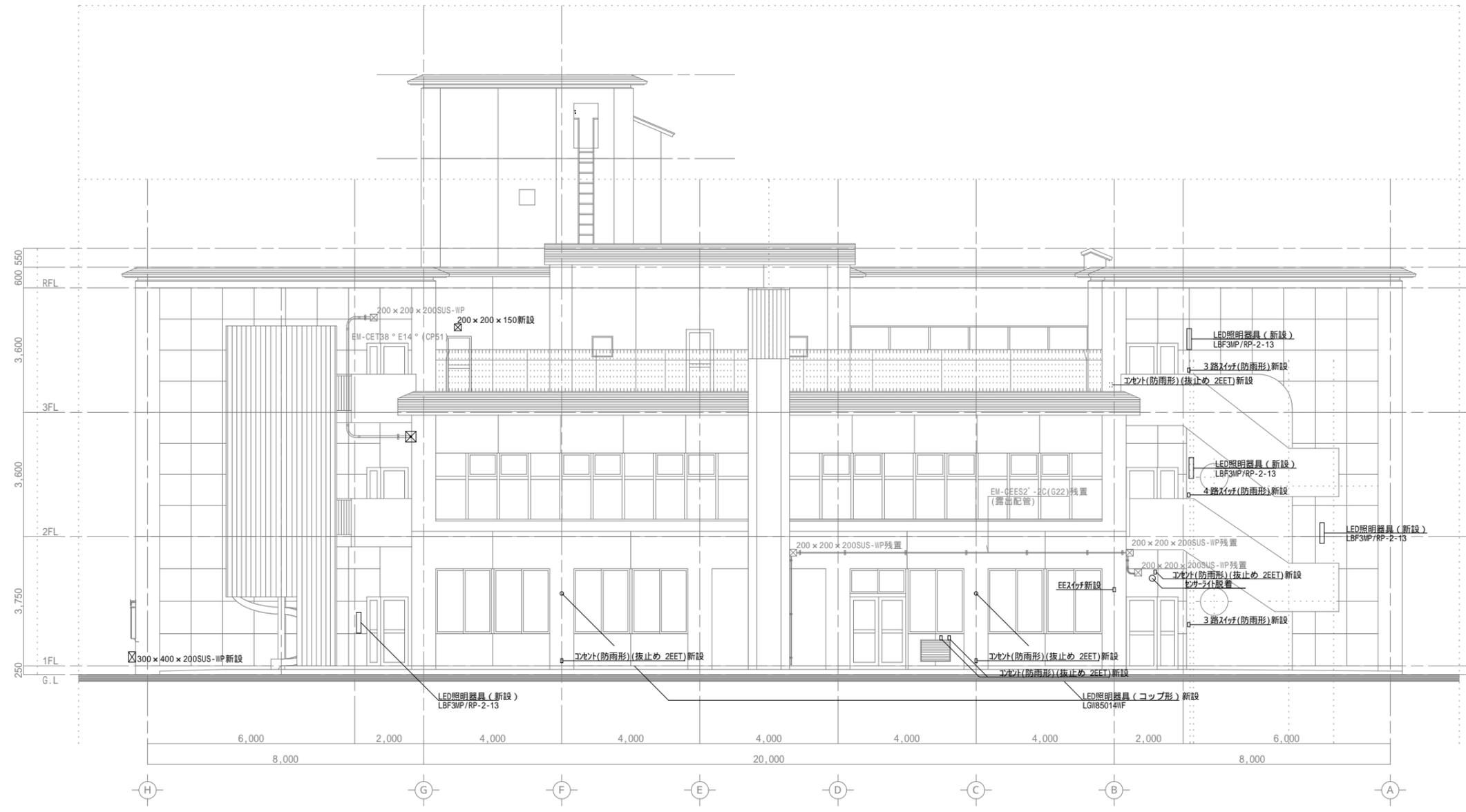


× 撤去を表す

記載なき配管配線は、下記に依る。

— / —	CV 2' -3C E1.6	(GP22)
— // —	CV 2' -2C	(GP16)
— ### —	CV 2' -5C	(GP22)

R階平面図 1/100



西面立面図 1/100

記 事		<p align="center">株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03 縮尺 1/100	図面番号 E-18
			担当	担当	担当	担当			



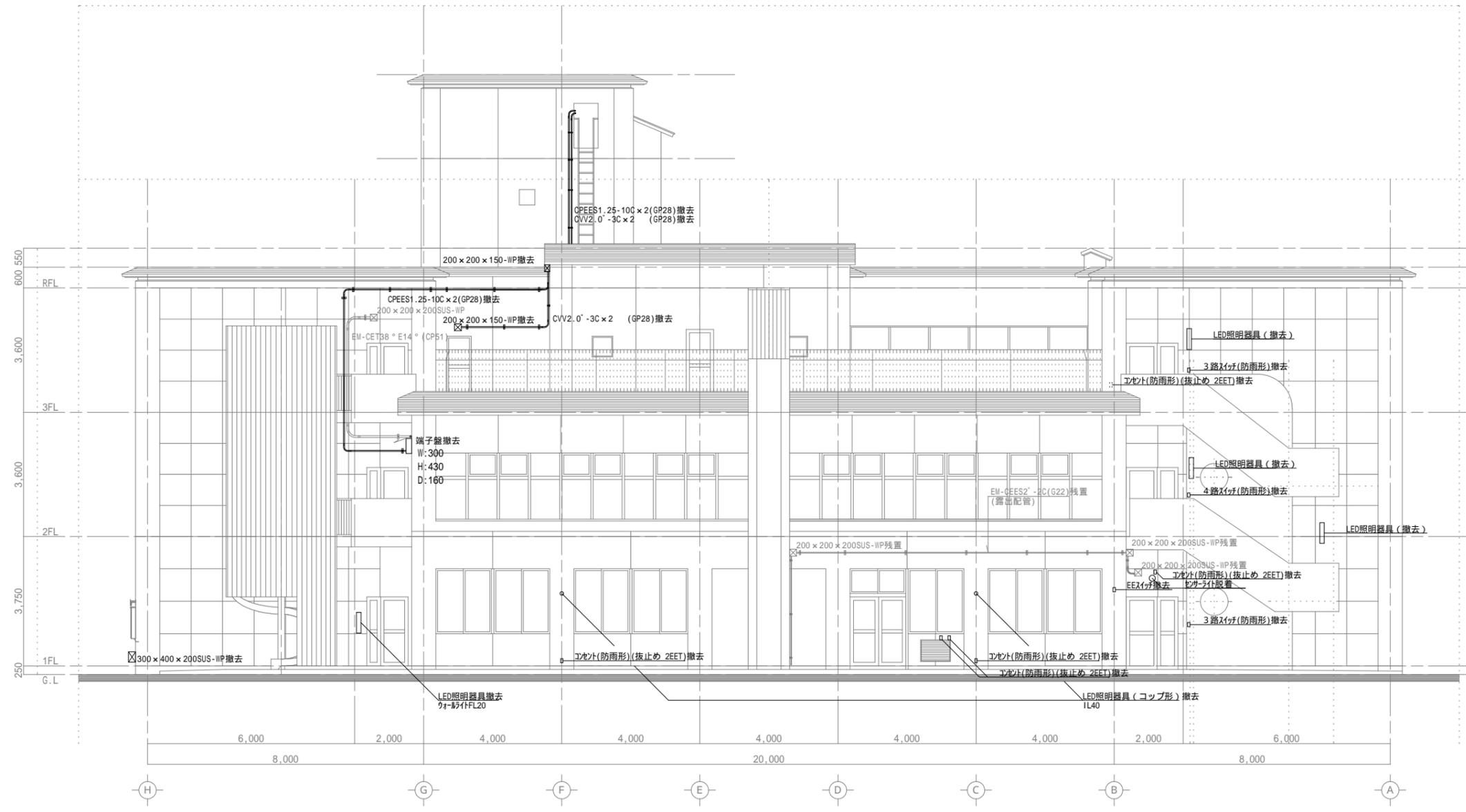
南面立面図 1/100

記 事		<p style="text-align: center;">株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 E - 20
			担当	担当	担当	担当			



北面立面図 1/100

記 事		<p align="center">株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲	主査	工事名称	宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日	図面番号
			担当	担当				
						図面名称	北面立面図(改修)	
							1/100	



西面立面図 1/100

記 事		<p>株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲	主査	<p>工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)</p>	作成年月日 R06.03	<p>図面番号 E - 2 2</p>
			<p>担当 担当</p>	<p>担当 担当</p>		<p>図面名称 西面立面図(撤去)</p>	



南面立面図 1/100

記 事		<p>株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 E - 24
			担当	担当	担当	担当			



北面立面図 1/100

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館大規模改修工事(その2)	作成年月日 R06.03	図面番号 E - 2 5
			担当	担当		担当	
					図面名称	北面立面図(撤去)	